日産車故障診断アプリケーション
Version 10.1.5

取扱説明書

ご利用の前に

・この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
・この取扱説明書は、製品と一緒に大切に保管してください。

警告

(1)　故障診断機本体から煙が出る、異臭がするなどの異常がある場合は、ただちに車両のイグニッションスイッチと診断機本体の電源をOFFにして、ダイアグケーブルを抜いてください。
※　火災の原因となります。

注意

(1)　本アプリケーションは故障診断機専用です。販売元が認定する診断機以外の他メーカーの診断機には使用できません。
※　診断機本体、アプリケーションソフトの故障の原因となります。

(2)　本アプリケーションは日産車専用です。他メーカーの車両には使用できません。
※　他メーカーの車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

(3)　車を修理する場合は、カーメーカー発行の整備マニュアルに基づき修理を行なってください。

(4)　販売元で認定している故障診断機用アプリケーションソフト以外のソフトやデータ類を、付属のCFカードにインストールしないでください。
※　診断機本体の誤作動や故障の原因となります。

(5)　診断機本体にCFカードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
※　アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態でCFカードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。

(6)　診断機本体に拡張計測ボードや拡張通信ボードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
※　アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態で拡張計測ボードや拡張通信ボードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。

(7)　CFカードを抜いた状態で故障診断機を長時間、放置しないでください。
※　CFスロット(挿入口)を開放したままにすると、本体内部にホコリや水滴が入り、故障となる原因を誘引します。

(8)　CFカードを水に濡らしたり、曲げたり、落としたり、衝撃を与えないでください。
※　故障の原因となります。

(9)　CFカードを挿入する時は、診断機に向きを合わせ挿入してください。
※　向きを間違えると故障の原因となります。

(10)　CFカードを分解、改造しないでください。
※　故障の原因となります。

(11)　CFカードのコネクタ部分または内部に異物を入れないでください。
※　故障の原因となります。

(12)　CFカードを直射日光のあたる場所、温度の高い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所に放置しないでください。
※　故障の原因となります。

(13)　CFカードのコネクタ端子に指で直接触れないでください。
※　故障または接触不良の原因となります。

(14)　ケーブルの抜き差しは、コネクタハウジングをつかんで行ってください。
※　ケーブルを直接引っ張ると断線の原因となります。

目　次

1.　サポート範囲 1
1.1.　対象車種 1
1.2.　診断項目 2
1.3.　使用言語 5
2.　準備 6
2.1.　接続 6
2.2.　各種設定 7
3.　操作 8
3.1.　車両故障診断/点検メニュー 8
3.2.　車両対応メニュー 9
3.3.　対応車種 9
4.　1998年以降対応 10
4.1.　車両故障診断メニュー 10
4.2.　全システムのダイアグコード点検 11
4.2.1.　エンジンの選択 11
4.2.2.　全システムのダイアグコード表示 12
4.2.3.　全システムのダイアグコード消去 12
4.3.　システム選択メニュー 13
4.4.　システム診断メニュー 14
4.5.　ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検 15
4.5.1.　ダイアグコードの点検メニュー 15
4.5.2.　ダイアグコードの点検処理 15
4.5.3.　ダイアグコードの点検 16
4.5.4.　ダイアグコードのクリア 17
4.5.5.　フリーズフレームデータ表示 17
4.5.6.　データ保存 19
4.6.　現在のデータ表示/保存 21
4.6.1.　データ表示 22
4.6.2.　ランモード 23
4.6.3.　ホールドモード 25
4.6.4.　レンジ変更 26
4.6.5.　選択項目保存 27
4.6.6.　トリガ設定 28
4.6.7.　データ保存 29
4.6.8.　選択項目読出し 30
4.6.9.　現在のデータ表示/保存(選択項目) 31
4.7.　現在のデータ表示/保存(高速通信) 32
4.7.1.　モニタ項目選択指示画面 32
4.7.2.　モニタ項目選択メニュー 33
4.7.3.　モニタ項目選択画面 34
4.8.　ECU部品番号の表示 35
4.9.　アクティブテスト 36
4.9.1.　アクティブテストメニュー 36
4.9.2.　テスト値の設定 37
4.9.3.　テスト実行(エンジン、ABS、4WD、オートレベライザ) 39
4.9.4.　テスト実行(ボディ、IPDM E/R、HVAC、ドライブポジショナ、インテリジェントキー、ソナー) 40
4.9.5.　テスト条件監視 41
4.10.　作業サポート 42

4.10.1.　作業サポートメニュー......42
4.11.　急速TAS学習クリア......44
4.11.1.　実行前準備......44
4.11.2.　クリア実行画面......44
4.11.3.　クリア実行......45
4.11.4.　クリア結果確認......46
4.12.　空燃比学習......47
4.12.1.　内容説明......47
4.12.2.　モニタ画面......47
4.12.3.　クリア実行......48
4.12.4.　クリア結果確認......48
4.13.　燃圧除去......49
4.13.1.　作業内容説明......49
4.13.2.　状態設定実行......49
4.14.　点火時期補正......50
4.14.1.　作業内容説明......50
4.14.2.　調整値設定......50
4.15.　アイドル回転補正......51
4.15.1.　作業内容説明......51
4.15.2.　調整値設定......51
4.16.　排気側V/T調整......52
4.16.1.　作業内容説明......52
4.16.2.　モニタ画面......53
4.16.3.　処理要求......53
4.16.4.　処理結果表示......54
4.17.　アクセル全閉位置クリア......55
4.17.1.　作業指示......55
4.17.2.　処理要求......55
4.17.3.　処理結果表示......56
4.18.　スロットル全閉位置学習......57
4.18.1.　作業指示......57
4.18.2.　処理要求......57
4.18.3.　処理結果表示......58
4.19.　VVELポジションセンサ調整準備......59
4.19.1.　作業指示......59
4.19.2.　処理要求......59
4.19.3.　処理結果表示......60
4.20.　M/Tニュートラル位置学習......61
4.20.1.　作業指示......61
4.20.2.　処理要求......61
4.20.3.　処理結果表示......62
4.21.　スタータ作動回数クリア......63
4.21.1.　作業指示......63
4.21.2.　処理要求......63
4.21.3.　処理結果表示......64
4.22.　バッテリ放電電流積算クリア......65
4.22.1.　作業指示......65
4.22.2.　処理要求......65
4.22.3.　処理結果表示......66
4.23.　スロットルセンサ調整......67
4.23.1.　内容説明......67
4.23.2.　モニタ画面......67

4.24. 点火時期調整 68
4.24.1. 作業内容説明 68
4.24.2. モニタ画面 68
4.25. アイドル目標回転数調整 69
4.25.1. 作業内容説明 69
4.25.2. モニタ画面 69
4.26. V／T調整 70
4.26.1. 作業内容説明 70
4.26.2. モニタ画面 71
4.26.3. 処理要求 72
4.26.4. 処理結果表示 72
4.27. 燃料系点検 73
4.27.1. 作業内容説明 73
4.27.2. 状態設定実行 73
4.28. 点火時期固定 74
4.28.1. 作業内容説明 74
4.28.2. 状態設定実行 74
4.29. エバポ系統点検 75
4.29.1. 作業内容説明 75
4.29.2. 状態設定実行 75
4.30. CO調整 76
4.30.1. 作業内容説明 76
4.30.2. 調整値設定 76
4.31. エタノール推定混合比調整 77
4.31.1. 作業内容説明 77
4.31.2. 調整値設定 77
4.32. 燃料学習値書き込み 78
4.32.1. 作業内容説明 78
4.32.2. 調整値設定 78
4.33. Gセンサキャリブレーション 79
4.33.1. 作業内容説明 79
4.33.2. 処理要求 79
4.33.3. 処理結果表示 80
4.34. SCマグネットクラッチ締結回数クリア 81
4.34.1. 作業内容説明 81
4.34.2. 処理要求 81
4.34.3. 処理結果表示 82
4.35. CVTフルード劣化度確認 83
4.35.1. CVTフルード劣化度データ確認画面 83
4.35.2. CVTフルード劣化度データクリア 83
4.36. エンジンブレーキ調整 84
4.36.1. エンジンブレーキレベルの設定 84
4.36.2. エンジンブレーキ調整実行 84
4.36.3. エンジンブレーキ調整完了 85
4.37. Gセンサ調整 86
4.37.1. Gセンサ調整実行画面 86
4.37.2. Gセンサ調整実行 86
4.37.3. Gセンサ調整結果確認 87
4.38. エコモードリセット 88
4.38.1. 内容説明 88
4.38.2. リセット実行 88
4.39. 舵角センサ調整 89

4.39.1. 作業内容説明 89
4.39.2. 調整実行 89
4.39.3. 調整結果確認 90
4.40. 前後Gセンサキャリブレーション 91
4.40.1. 作業内容説明 91
4.40.2. 調整実行 91
4.40.3. 調整結果確認 92
4.41. ボディ制御設定 93
4.41.1. 内容説明 93
4.41.2. 設定画面 93
4.41.3. 設定変更 94
4.41.4. 設定変更結果確認 94
4.42. 設定値リセット 95
4.42.1. 内容説明 95
4.42.2. リセット確認 95
4.42.3. リセット実行 96
4.42.4. リセット結果確認 96
4.43. 室内アンテナ診断 97
4.43.1. 内容説明 97
4.43.2. 診断実行 97
4.43.3. 診断結果確認 98
4.44. ショートクランキング出力機能 99
4.44.1. 作業内容説明 99
4.44.2. 設定画面 99
4.44.3. 設定実行 100
4.44.4. 設定結果確認 100
4.45. リモコンID確認／インテリジェントキーID確認／ステアリングロックID確認 101
4.45.1. ID確認画面 101
4.46. ID読出し／キャンセル要因／自動キャンセル要因 102
4.46.1. ID確認画面 102
4.47. 防盗アラームトリガ設定（作動履歴） 103
4.47.1. 設定確認画面 103
4.48. ハイトセンサ初期化 104
4.48.1. 作業内容説明 104
4.48.2. 初期化実行 104
4.48.3. 調整結果確認 105
4.49. IPDM E/R制御設定 106
4.49.1. 内容説明 106
4.49.2. 処理要求 106
4.49.3. 処理結果表示 107
4.50. HVAC制御設定 108
4.50.1. 内容説明 108
4.50.2. 設定画面 108
4.51. 設定温度補正 109
4.51.1. 内容説明 109
4.51.2. 設定画面 109
4.52. アクチュエータ原点リセット 110
4.52.1. 内容説明 110
4.52.2. 処理要求 110
4.52.3. 処理結果表示 111
4.53. ドライブポジショナ制御設定 112
4.53.1. 内容説明 112

4.53.2. 設定画面 ... 112
4.54. インテリジェントキー制御設定 ... 113
4.54.1. 内容説明 ... 113
4.54.2. 設定画面 ... 113
4.55. オートバックドア位置初期化 ... 114
4.55.1. 内容説明 ... 114
4.55.2. 処理要求 ... 114
4.55.3. 処理結果表示 ... 115
4.56. ソナー制御設定 ... 116
4.56.1. 内容説明 ... 116
4.56.2. 設定画面 ... 116
4.57. AFS制御設定 ... 117
4.57.1. 作業内容説明 ... 117
4.57.2. 調整実行 ... 117
4.58. ストロークセンサ0点学習 ... 118
4.58.1. 作業内容説明 ... 118
4.58.2. 処理要求 ... 118
4.58.3. 処理結果表示 ... 119
4.59. トップビュー境目の強調表示 ... 120
4.60. カメラキャリブレ(フロント) ... 120
4.61. カメラキャリブレ(助手席サイド) ... 120
4.62. カメラキャリブレ(運転席サイド) ... 120
4.63. カメラキャリブレ(リヤ) ... 120
4.64. トップビュー微調整 ... 120
4.65. リヤワイドビュー目安線補正 ... 120
4.66. 警告文言語切替 ... 120
4.67. 予想進路線表示 ... 120
4.68. 回転半径補正 ... 120
4.69. ドアミラー部品有無設定変更 ... 120
4.70. ソナーOffポップアップ表示設定 ... 121
4.71. フロントワイドビュー目安線補正 ... 121
4.72. ZOOM機能 ... 121
4.73. カメラキャリブレーション初期化 ... 121
4.74. 舵角センサ中立点調整 ... 121
4.75. CANバス診断 ... 122
4.75.1. CANバス診断メニュー ... 122
4.75.2. CANバスモニタ画面 ... 122
4.75.3. AV通信モニタ画面 ... 123
4.76. キャリブレーションデータの表示 ... 123
4.77. メーター表示 ... 124
4.77.1. メーター表示項目選択メニュー ... 124
4.77.2. メーター表示 ... 124
4.78. 警告灯点灯要因 ... 125
4.79. 保存データの表示 ... 126
4.79.1. カテゴリー選択 ... 126
4.79.2. 保存データの表示 ... 127
4.80. 画面保存データの表示 ... 129
5. レトロ対応 ... 130
5.1. ダイアグケーブル注記画面 ... 130
5.2. 車両故障診断メニュー ... 131
5.3. システム選択メニュー ... 132
5.4. システム診断メニュー ... 133

5.5.　システム診断不可 134
5.6.　自己診断結果 135
5.6.1.　自己診断結果 135
5.6.2.　自己診断結果の消去 136
5.6.3.　フリーズフレームデータ表示 136
5.6.4.　データ保存 137
5.7.　データモニタ 139
5.7.1.　カテゴリー選択 139
5.7.2.　データ表示 140
5.7.3.　ランモード 141
5.7.4.　ホールドモード 142
5.7.5.　レンジ変更 143
5.7.6.　トリガ設定 144
5.7.7.　データ保存 145
5.8.　作業サポート 146
5.8.1.　作業サポートメニュー 146
5.8.2.　作業サポート指示画面 147
5.8.3.　作業サポート実行 147
5.8.4.　トリガ設定 148
5.8.5.　エンジンブレーキ調整 149
5.9.　アクティブテスト 151
5.9.1.　アクティブテストメニュー 151
5.9.2.　カテゴリ選択 152
5.9.3.　パワーバランステスト値の設定 153
5.9.4.　アクティブテスト実行 154
5.9.5.　非常停止 157
5.9.6.　トリガ設定 158
5.10.　C/U部品番号 159
5.11.　保存データの表示 160
5.11.1.　カテゴリー選択 160
5.11.2.　保存データの表示 161
5.12.　画面保存データの表示 163
5.13.　自己診断結果[記憶] 164
5.14.　故障履歴 164
6.　アクティブテスト項目一覧 165
6.1.　1998年以降対応 165
6.2.　レトロ対応 169
7.　作業サポート項目一覧 171
7.1.　1998年以降対応 171
7.2.　レトロ対応 174
8.　アナログ-ECU同時計測 175
8.1.　対応機能 175
8.2.　接続 175
8.3.　操作 176
8.3.1.　車両故障診断メニュー 176
8.3.2.　計測設定 177
8.3.3.　同時計測表示例 178
9.　排気ガス-ECU同時計測 179
9.1.　対応機能 179
9.2.　接続 179
9.3.　操作 180
9.3.1.　車両故障診断メニュー 180

9.3.2.　排気ガス計測設定 181
9.3.3.　排気ガス同時計測表示例 182

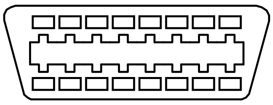
1.　サポート範囲

1.1.　対象車種

　本アプリケーションは、下記に示すすべての条件を満たす日産車のコントロールユニットで故障診断を行なうことができます。

［1998年以降対応］

- 1998年8月以降に発売された車両。
- 国際標準規格の診断コネクタ(SAE J1962のコネクタ)を装備した車両。
- 本アプリケーションが診断対象としているシステムで、かつK-LINE（7番端子）、CANで故障診断通信を行うコントロールユニット。
- 整備マニュアルにISOの規格に準拠した4桁の故障コードが記載されている車両。
（例：エアフローメータ ［P0100］）



[国際標準規格診断コネクタ]

［レトロ対応］

- DDL1通信によって故障診断を行うコントロールユニットを搭載した1989年以降の車両を対象とします。

1.2. 診断項目

本アプリケーションは、「1.1.対象車種」に記載の条件を満たすコントロールユニットに対して、下記の診断機能をサポートしています。

<システム別サポート診断機能>

[1998年以降対応]

診断システム	診断機能												
	全システムのダイアグコード点検	ダイアグコードの点検	ダイアグコードのクリア	フリーズフレームデータ表示	現在のデータ表示/保存	現在のデータ表示/保存(高速通信)	ECU部品番号の表示	アクティブテスト	作業サポート	CANバス診断	キャリブレーションデータの表示	メーター表示	警告灯点灯要因
エンジン(ガソリン)	○	○	○	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1		○ ※1	
エンジン(ディーゼル)	○	○	○		○ ※1		○ ※1					○ ※1	
エンジン(クリーンディーゼル)	○	○	○	○			○						
トランスミッション	○	○	○	○ ※1	○ ※1		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1		
ABS	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1					
エアバッグ	○	○	○										○ ※1
4WD	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1		○ ※1			
ボディ	○	○	○	○ ※1	○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1			
メータ/メータ&エアコンアンプ	○	○	○		○ ※1					○ ※1			○ ※1
オートレベライザ	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1				
IPDM E/R	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1			
HVAC	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1			
電動パワステ	○	○	○		○ ※1		○ ※1			○ ※1			
ドライブポジショナ	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1			
インテリジェントキー	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1			
オートバックドア	○	○	○		○ ※1		○ ※1		○ ※1	○ ※1			
マルチAV	○	○	○		○ ※1		○ ※1			○ ※1			
ソナー	○	○	○		○ ※1		○ ※1	○ ※1	○ ※1				
備考	4.2	4.5.3	4.5.4	4.5.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.10	4.75	4.76	4.77	4.78

※1 車両によっては表示されない場合があります。

［1998年以降対応］

診断機能	診断システム												
	全システムのダイアグコード点検	ダイアグコードの点検	ダイアグコードのクリア	フリーズフレームデータ表示	現在のデータ表示/保存	現在のデータ表示/保存 (高速通信)	ECU部品番号の表示	アクティブテスト	作業サポート	CANバス診断	キャリブレーションデータの表示	メーター表示	警告灯点灯要因
アクセルペダル アクチュエータ	○	○	○										
4WAS(フロント)	○	○	○										
AFS	○	○	○						○ ※1				
ハイビームアシスト	○	○	○										
アクティブノイズコントロール	○	○	○										
EHS	○	○	○										
オートスライドドア(左)	○	○	○										
オートスライドドア(右)	○	○	○										
AVM	○	○	○						○ ※1				
BSW/BUZZER	○	○	○										
テレマティックス	○	○	○										
ブレーキ	○	○	○						○ ※1				
EMCM	○	○	○										
CANゲートウエイ	○	○	○										
EV/HEV	○	○	○										
4WAS(メイン)/RAS/HICAS	○	○	○										
車間自動制御システム	○	○	○										
マルチディスプレイ	○	○	○										
シャシ制御	○	○	○										
HVバッテリ	○	○	○										
EVバッテリ	○	○	○										
レーンカメラ	○	○	○										
モータコントロール	○	○	○										
備考	4.2	4.5.3	4.5.4	4.5.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.10	4.75	4.76	4.77	4.78

［1998年以降対応］

診断機能	診断システム												
	全システムのダイアグコード点検	ダイアグコードの点検	ダイアグコードのクリア	フリーズフレームデータ表示	現在のデータ表示/保存	現在のデータ表示/保存(高速通信)	ECU部品番号の表示	アクティブテスト	作業サポート	CANバス診断	キャリブレーションデータの表示	メーター表示	警告灯点灯要因
充電器	○	○	○										
~~乗員検知システム~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~										
ポップアップフード	○	○	○										
プリクラッシュシートベルト	○	○	○										
PTCヒータ	○	○	○										
LASER	○	○	○										
~~バックビューモニタ~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~										
コンバーチブルルーフ	○	○	○										
DAST1	○	○	○										
DAST2	○	○	○										
DAST3	○	○	○										
シフト	○	○	○										
~~サイドブラインドモニタ~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~										
サイドレーダ左	○	○	○										
サイドレーダ右	○	○	○										
タイヤ空気圧警報	○	○	○										
VSP	○	○	○										
備考	4.2	4.5.3	4.5.4	4.5.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.10	4.75	4.76	4.77	4.78

［レトロ対応］

診断機能	診断システム						参照項
	ガスエンジン	AT	E-CVT	ABS	VDC	IVMS	
自己診断結果	○	○	○	○	○	○	5.6.1
自己診断結果の消去	○	○	○	○	○	○	5.6.2
フリーズフレーム	○	○ ※1	−	−	−	−	5.6.3
データモニタ	○	○	○	○	○	○	5.7
作業サポート	○	−	○ ※1	○ ※1	○	○	5.8
アクティブテスト	○	−	−	○	○	○	5.9
C/U部品番号	○	○	○	○	○	○	5.1
保存データの再表示	○	○	○	○	○	○	5.11
画面保存データの再表示	○	○	○	○	○	○	5.12

※1 ECUのタイプによってはサポートしていない場合があります。

1.3. 使用言語

本アプリケーションは、日本語のみを対象としています。

2.　準備

2.1.　接続

(1) 診断車両が対象車種(「1.1.対象車種」参照)であることを確認してください。

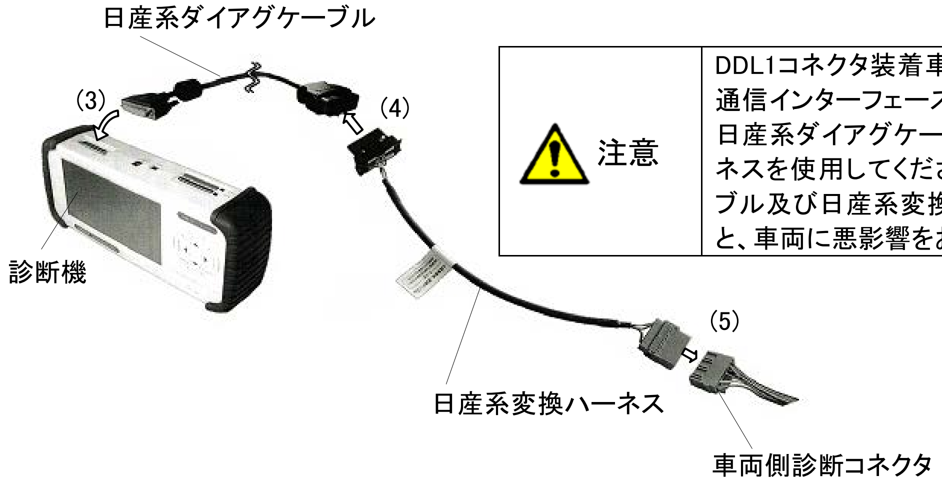
注意	対象車種以外の車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

なお、レトロ対応車種の診断を行うには、拡張通信インターフェースキットが必要となります。
拡張通信ボード　形式　　　：拡張通信インターフェースキット
　　　　　　　　品名コード　：51400392

拡張通信キットを本体に取り付ける際は電源がOFFであることを確認して取り付けてください。

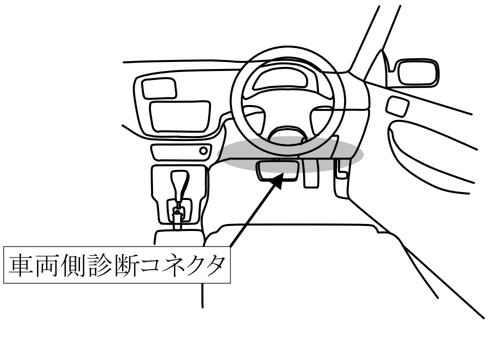
(2) 診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。
(3) 診断機にダイアグケーブルを接続してください。
※レトロ対応車種の診断を行う場合、ダイアグケーブルは日産系ダイアグケーブルとなります。また車種によっては日産系変換ハーネスが必要となります。

［日産系変換ハーネスを使用する場合］



注意	DDL1コネクタ装着車を診断する場合は、拡張通信インターフェースキットに同梱されている、日産系ダイアグケーブル及び日産系変換ハーネスを使用してください。日産系ダイアグケーブル及び日産系変換ハーネス以外を使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

(4) 車両のイグニッションスイッチがOFFであることを確認し、下図を参考にして車両側診断コネクタにダイアグケーブルまたは日産系変換ハーネスを接続してください。



(5) 車両のイグニッションスイッチをONにします。
車両側診断コネクタの詳細な位置については、カーメーカー発行の整備マニュアルをご参照ください。

2.2. 各種設定

故障診断を実行する前に「ダイアグモニタメニュー」より「ダイアグモニタの設定」を実行して、以下の項目を設定してください。設定方法等に関しては、診断機本体の取扱説明書をご参照ください。

項目	設定内容
日付・時刻の設定	日付時刻が違っていたら正しく設定しなおしてください。
キープッシュ音	キーを押した時のプッシュ音を設定してください。
単位の設定	国際単位系であるSI単位に設定してください。 [SI単位]　速度　km/h 温度　℃ 圧力　kPa 空気流量　g/s

3.　操作

3.1.　車両故障診断/点検メニュー

「ダイアグモニタメニュー」で「車両故障診断/点検をする」をYESで選択すると、車両故障診断メニューを表示します。

このメニューで「日産車の故障診断」をYESで選択してください。

「日産車の故障診断」を選択すると「アプリケーションロード中… しばらくお待ちください」と表示されます。CFカード内のアプリケーションを実行する準備を行なっていますので、電源を切らずに数秒間お待ちください。

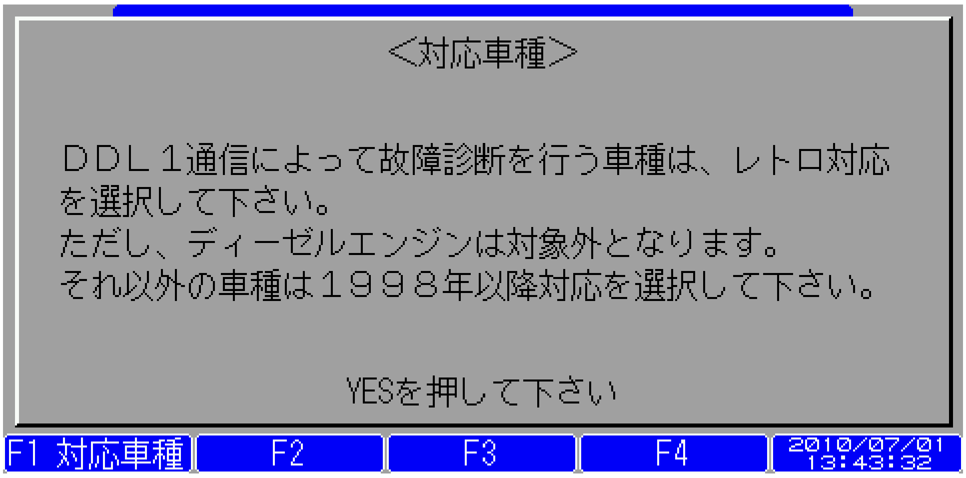
3.2. 車両対応メニュー

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
1998年以降対応	「4. 1998年以降対応」
レトロ対応	「5. レトロ対応」

F1キーを選択すると、「3.3.対応車種」を実行します。

3.3. 対応車種



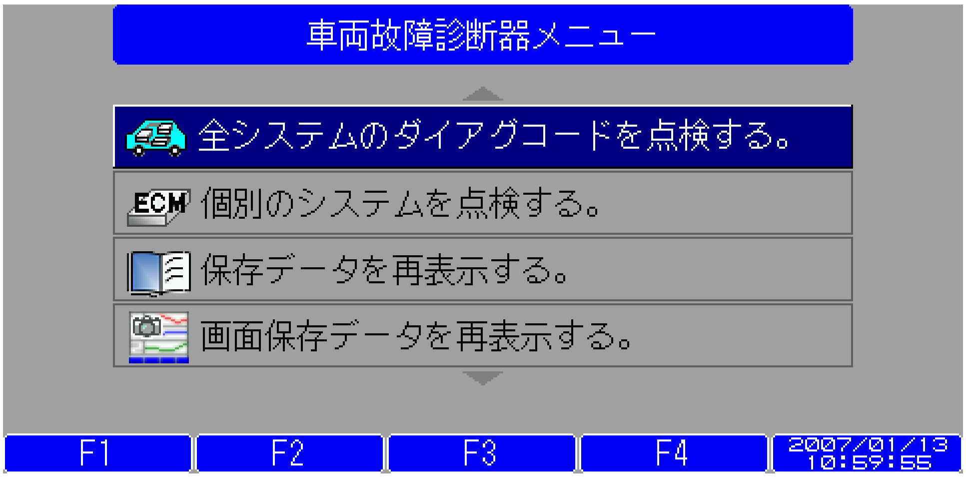
F1対応車種を選択すると、レトロ車種の対応車種を表示します。
診断する車種が上記に対応する場合は「レトロ対応」をそれ以外は「1998年以降対応」を選択して下さい。

<操作方法>

YES	車両対応メニューに戻ります。

4.　１９９８年以降対応

4.1.　車両故障診断メニュー



メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
全システムのダイアグコードを点検する	「4.2.全システムのダイアグコード点検」
個別のシステムを点検する	「4.3.システム選択メニュー」
保存データを再表示する	「4.79.保存データの表示」
画面保存データを再表示する	「4.80.画面保存データの表示」

4.2.　全システムのダイアグコード点検

本アプリケーションが対応する全システムと車両通信を行い、各システムが記憶している現在のダイアグコード（故障コード）を取得して一覧表示します。

4.2.1.　エンジンの選択

診断を行う車両が該当する項目を選択してください。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	「4.2.2.全システムのダイアグコード表示」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

4.2.2.　全システムのダイアグコード表示

取得したダイアグコードは、検出したシステム名を「システム」欄に表示し、コードと補足説明を「検出コード」の欄に表示します。 ダイアグコードが発生していない場合は「DTC無し」と表示されます。 また、車両に搭載されていない等の理由で車両通信に失敗したシステムは「通信不能」と表示されます。

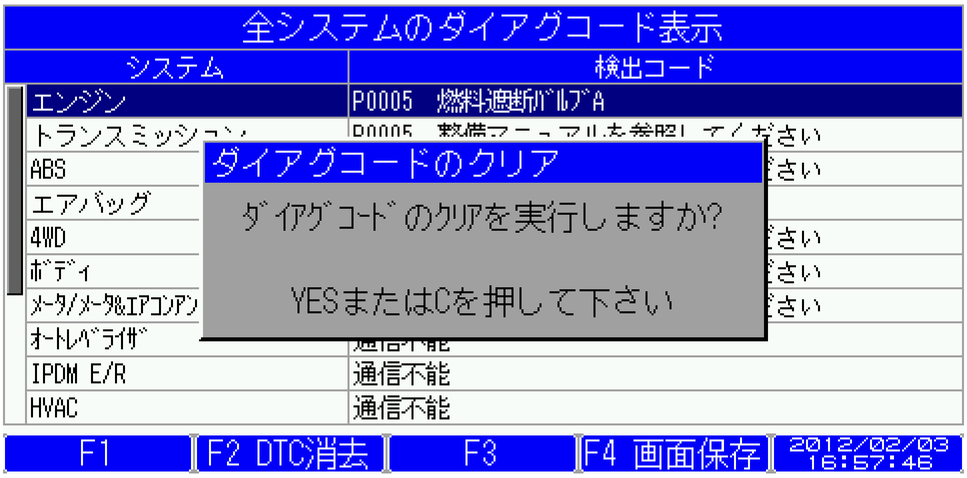
<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。 すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面がスクロールします。
C	前の画面に戻ります。
F2	「4.2.3.全システムのダイアグコード消去」を実行します。
F4	画面のハードコピーを保存します。

※　取得されたダイアグコードによっては補足説明がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「整備マニュアルを参照ください」と表示されますので、カーメーカーが発行した対象車両の整備マニュアルを参照してください。

4.2.3.　全システムのダイアグコード消去

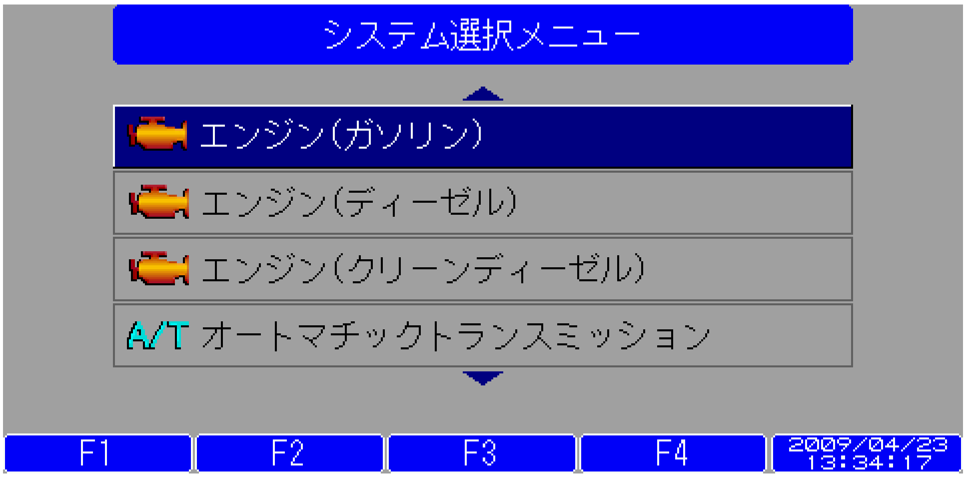
車両通信が成功した全システムに記憶されている過去の自己診断結果、フリーズフレームデータを消去します。



<操作方法>

YES	全システムのダイアグコード消去を実行します。
C	処理を中止し「4.2.2.全システムのダイアグコード表示」に戻ります。

4.3. システム選択メニュー



故障診断を行なうシステムをYESで選択してください。

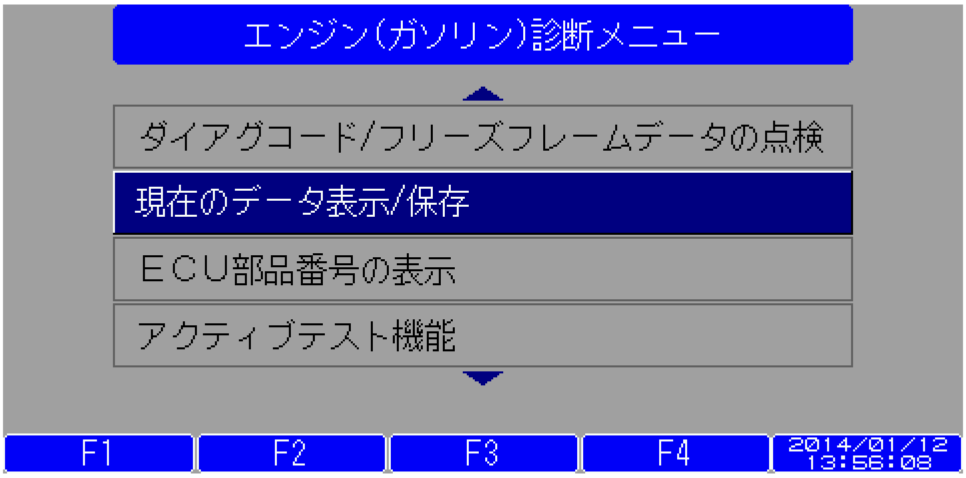
システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両のシステムと初期化通信を行ないます。
選択したシステムと初期化通信に成功した場合、「4.4.システム診断メニュー」を表示します。

初期化通信でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

① 故障診断コネクタの接触不良およびケーブル断線の確認。
② ダイアグケーブルとの接続の確認。
③ 対象車種の確認。

4.4.　システム診断メニュー

「4.3.システム選択メニュー」で選択したシステムで診断が可能な機能を表示します。
※　各システムの診断機能は、「1.2.診断項目」をご参照ください。



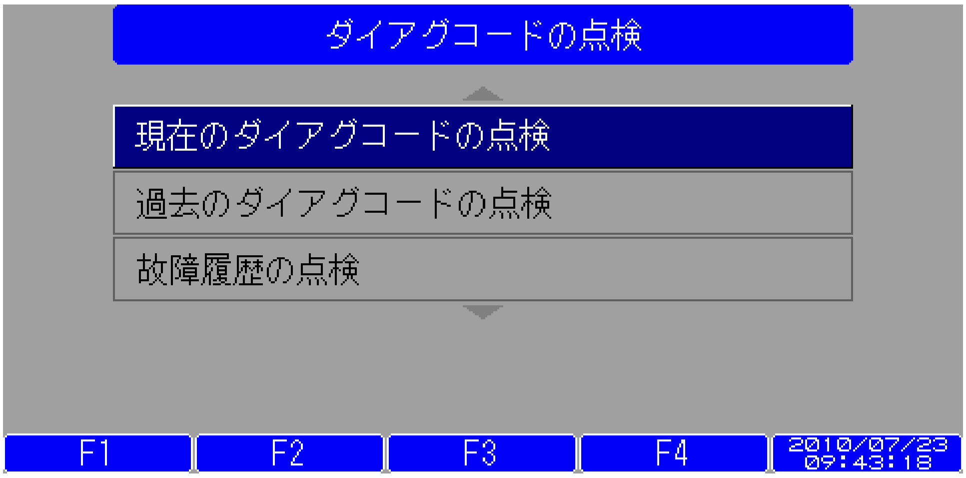
メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検	「4.5.ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検」
現在のデータ表示/保存	「4.6.現在のデータ表示/保存」
現在のデータ表示/保存(高速通信)	「4.7.現在のデータ表示/保存(高速通信)」
ECU部品番号の表示	「4.8.ECU部品番号の表示」
アクティブテスト機能	「4.9.アクティブテスト」
作業サポート	「4.10.作業サポート」
CANバス診断	「4.75.CANバス診断」
キャリブレーションデータの表示	「4.76.キャリブレーションデータの表示」
メーター表示	「4.77.メーター表示」
警告灯点灯要因	「4.78.警告灯点灯要因」
保存データを再表示する	「4.79.保存データの表示」

なお、車両側のシステムが選択した機能をサポートしていない場合は、「該当項目なし」画面を表示します。

4.5. ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検

4.5.1. ダイアグコードの点検メニュー

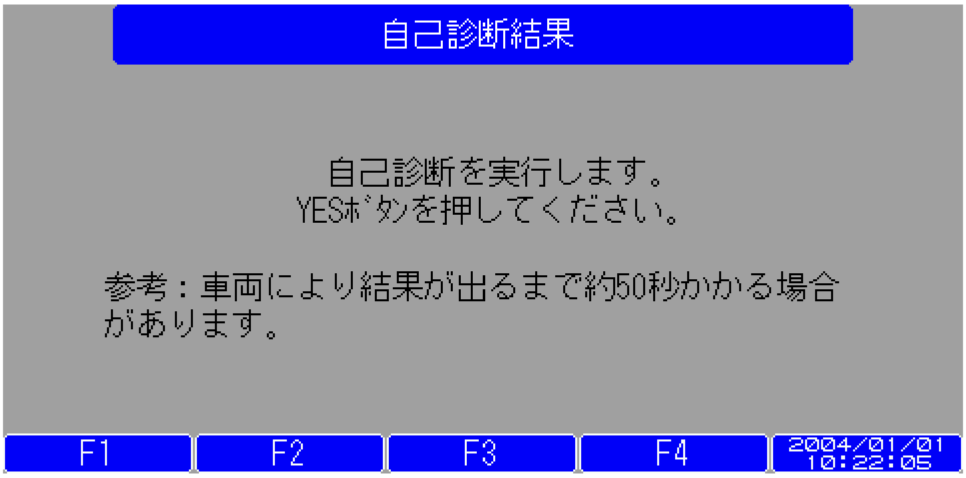


メニュー項目をYESで選択すると、以下の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	機能
現在のダイアグコードの点検	表示対象コードを現在故障に絞り込んで「4.5.3.ダイアグコードの点検」を実行
過去のダイアグコードの点検	表示対象コードを過去故障に絞り込んで「4.5.3.ダイアグコードの点検」を実行
故障履歴の点検	表示対象コードを履歴故障に絞り込んで「4.5.3.ダイアグコードの点検」を実行

4.5.2. ダイアグコードの点検処理

診断システムがHVACかマルチAVの場合は以下の画面が表示されます。

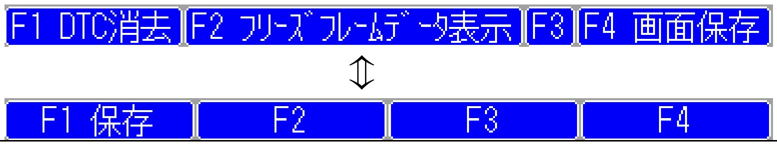


YESを押すとダイアグコードの点検処理を開始します。点検完了後、「4.5.3.ダイアグコードの点検」を実行します。

4.5.3.　ダイアグコードの点検

車両が記憶しているダイアグコード（故障コード）を取得し表示します。「検出コード」の欄に表示されているダイアグコードにカーソルを移動させると、そのダイアグコードの検出条件が画面左の「検出条件」の欄に表示されます。
ダイアグコードが発生していない場合、「DTC無し」を表示します。

<操作方法>

↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES/C	前の画面に戻ります。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

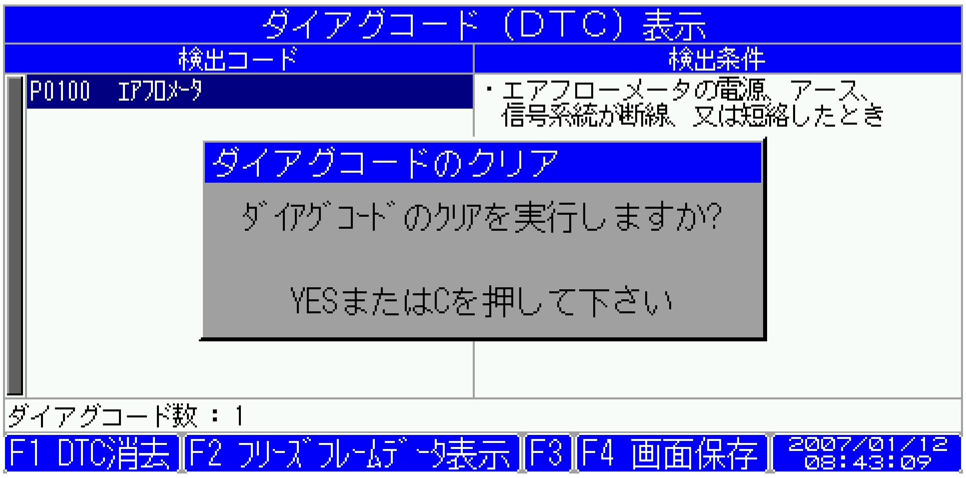
<ファンクションキー>

DTC消去	「4.5.4.ダイアグコードのクリア」
フリーズフレームデータ表示	「4.5.5.フリーズフレームデータ表示」 （エンジンとAT（一部車両）のみ。 その他システムでは「F2」と表示され無効キーとなります。）
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
保存	「4.5.6.データ保存」

※　取得されたダイアグコードによっては補足説明や検出条件がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「整備マニュアルを参照ください」と表示されますので、カーメーカーが発行した対象車両の整備マニュアルを参照してください。

4.5.4.　ダイアグコードのクリア

車両に記憶されているダイアグコード、フリーズフレームデータをクリアします。



<操作方法>

YES	ダイアグコードのクリアを実行します。
C	処理を中止し「4.5.3.ダイアグコードの点検」に戻ります。

4.5.5.　フリーズフレームデータ表示

故障（ダイアグコード）が発生した時の車両の動作状態を保存したデータ（フリーズフレームデータ）を取得し表示します。

4.5.5.1. フリーズフレーム選択メニュー

メニュー上にフリーズフレームデータの保存要因となったダイアグコードが表示されますので、表示するフリーズフレームデータを選択してください。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。 すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES	「4.5.5.2.フリーズフレームデータの表示」
C	前の画面に戻ります。

4.5.5.2. フリーズフレームデータの表示

フリーズフレームデータを表示します。

項目	値
ﾌﾘｰｽﾞｺｰﾄﾞ	P0100
燃料ｼｽﾃﾑ ﾊﾞﾝｸ1	ﾓｰﾄﾞ5
計算負荷	0 %
水温	48 °C
長期燃料ﾄﾘﾑ ﾊﾞﾝｸ1	100 %
短期燃料ﾄﾘﾑ ﾊﾞﾝｸ1	100 %
ｴﾝｼﾞﾝ回転数	563 rpm
車速	0 km/h
ｽﾛｯﾄﾙ開度	0.00 %
ﾊﾟﾙｽ幅	0.0 ms

F1 保存	F2	F3	F4 画面保存	2007/01/12 08:44:10

<操作方法>

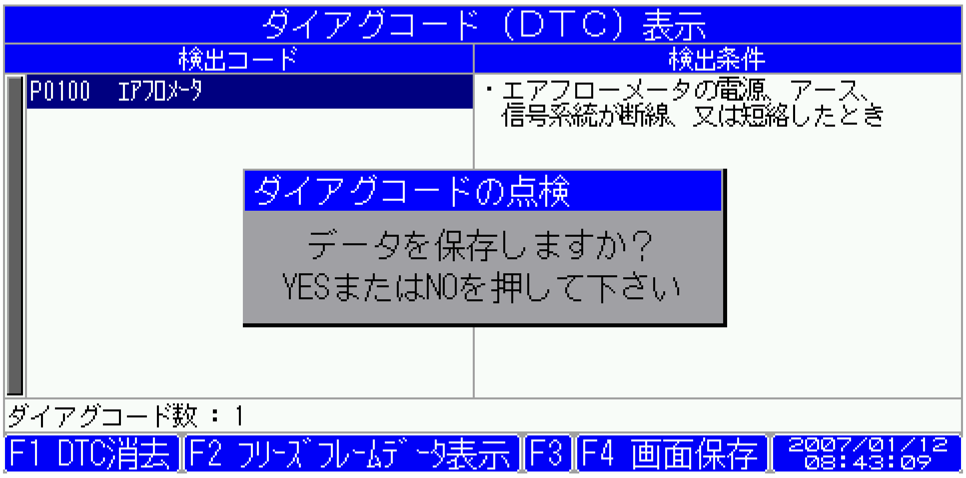
↑/↓	カーソルの移動を行ないます。 すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F1	「4.5.6.データ保存」
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.5.6.　データ保存

CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面

[DTC]



[フリーズフレーム]

<操作方法>

YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、実行前の画面に戻ります。

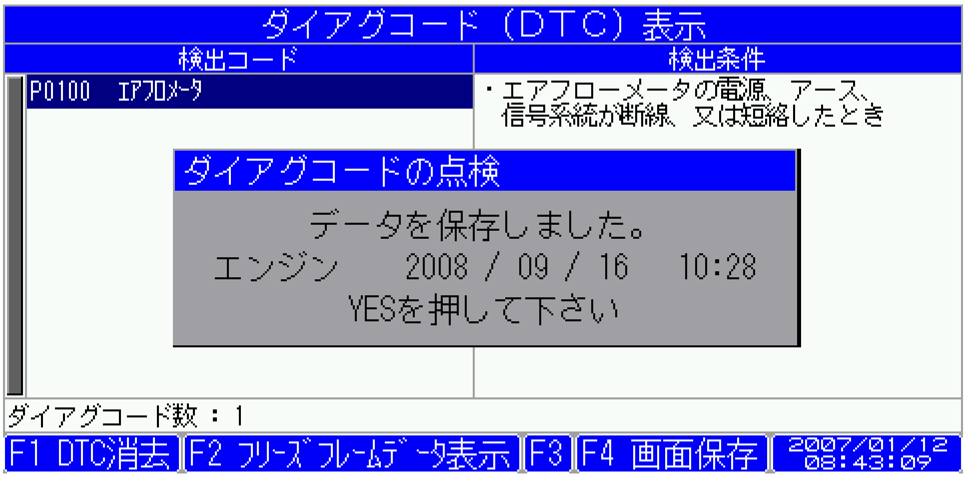
上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※　保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

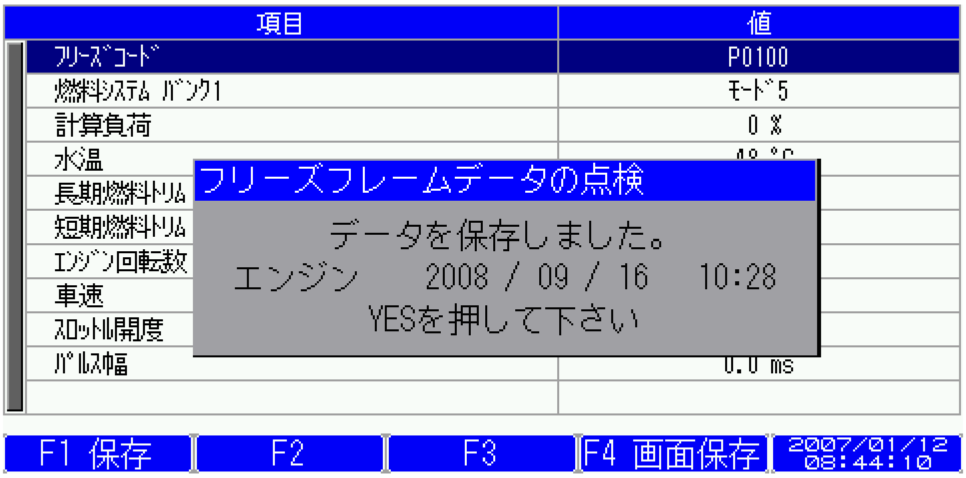
また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面

[DTC]



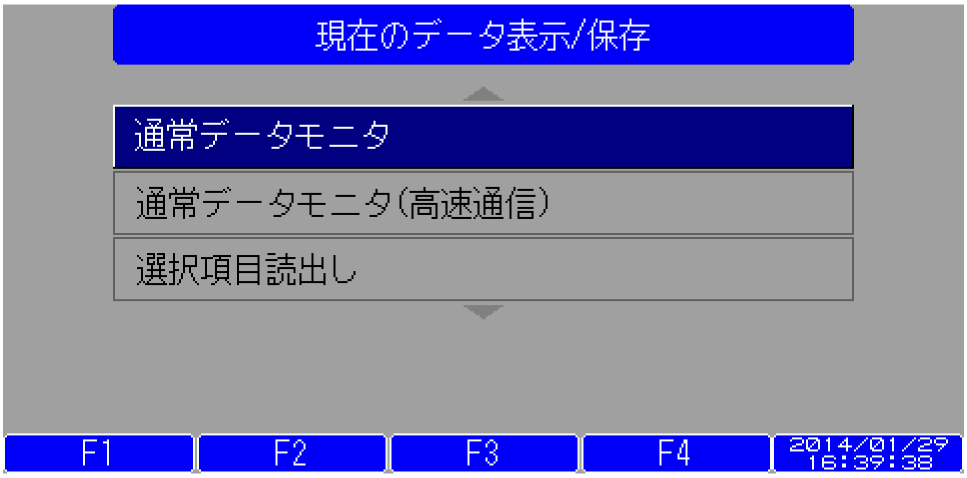
[フリーズフレーム]



<操作方法>

YES	「データ保存」を実行した画面に戻ります。

4.6. 現在のデータ表示/保存



※高速通信が存在しないシステムの場合、「通常データモニタ(高速通信)」は非表示となります。

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
通常データモニタ	「4.6.1.データ表示」を実行します。
通常データモニタ(高速通信)	「4.7.2.モニタ項目選択メニュー」を実行します。
選択項目読出し	「4.6.8.選択項目読出し」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

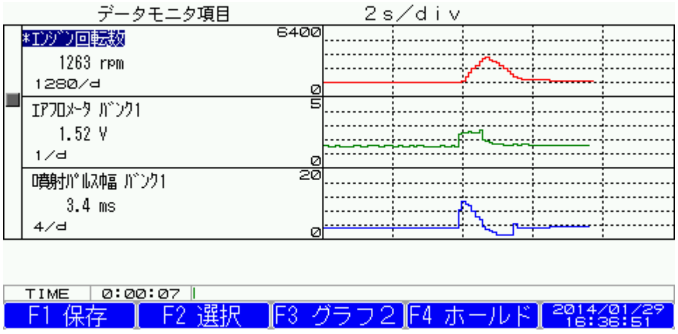
4.6.1.　データ表示

データ表示には、下図のように数値21データ表示、数値10データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の4種類の表示形式があります。

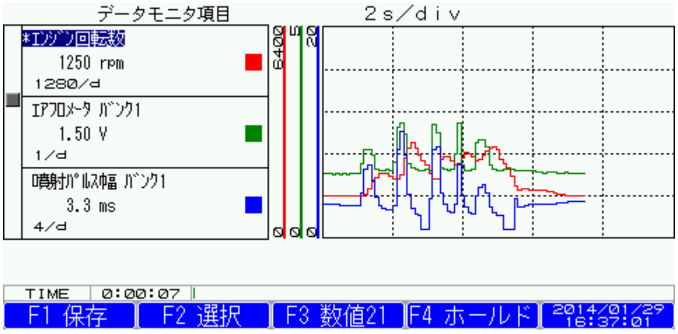
数値21データ表示

数値10データ表示

グラフ1表示



グラフ2表示



また、データ表示には、「ランモード」、「ホールドモード」の2つの表示モードがあります。

ランモード	車両よりリアルタイムに取得したダイアグデータを表示するモードです。 操作方法に関しては「4.6.2.ランモード」をご参照ください。
ホールドモード	ランモードによって取得し記憶されたデータを以前にさかのぼって表示することができるモードです。 操作方法に関しては「4.6.3.ホールドモード」をご参照ください。

4.6.2. ランモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値21データ表示時 F1 保存 | F2 選択 | F3 数値10 | F4 ホールド ⇕ F1 クリア | F2 トリガ | F3 | F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 | F2 選択保存 | F3 | F4 ホールド 数値10データ表示時 F1 保存 | F2 選択 | F3 グラフ | F4 ホールド ⇕ F1 クリア | F2 トリガ | F3 | F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 | F2 選択保存 | F3 | F4 ホールド グラフ1表示時 F1 保存 | F2 選択 | F3 グラフ2 | F4 ホールド ⇕ F1 クリア | F2 トリガ | F3 レンジ | F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 | F2 選択保存 | F3 | F4 ホールド グラフ2表示時 F1 保存 | F2 選択 | F3 数値21 | F4 ホールド ⇕ F1 クリア | F2 トリガ | F3 レンジ | F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 | F2 選択保存 | F3 | F4 ホールド
C	「4.6.現在のデータ表示/保存」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

保存	ランモードで記憶されたデータを保存します。詳細は「4.6.7.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値21	数値21データ表示に切り替えます。
数値10	数値10データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ1表示またはグラフ2表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「4.6.4.レンジ変更」をご参照ください。
ホールド	ホールドモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「4.6.6.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
全選択	全選択モードに切り替えます。
選択保存	現在選択中の項目を保存します。

4.6.3. ホールドモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←	前(過去)のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが左に移動します。
→	次のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが右に移動します。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値21データ表示時 F1 ＜ / F2 ＞ / F3 / F4 スタート ⇕ F1 保存 / F2 選択 / F3 数値10 / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 選択保存 / F3 / F4 スタート 数値10データ表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 選択保存 / F3 / F4 スタート グラフ1表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ2 / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 選択保存 / F3 / F4 スタート グラフ2表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 数値21 / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 選択保存 / F3 / F4 スタート
C	「4.6.現在のデータ表示/保存」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

保存	現在ホールド中のデータを保存します。詳細は「4.6.7.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値21	数値21データ表示に切り替えます。
数値10	数値10データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「4.6.4.レンジ変更」をご参照ください。
スタート	ランモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「4.6.6.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
全選択	全選択モードに切り替えます。
選択保存	現在選択中の項目を保存します。

4.6.4. レンジ変更

グラフ表示時、ファンクション「レンジ」を実行すると、時間軸を変更することができます。

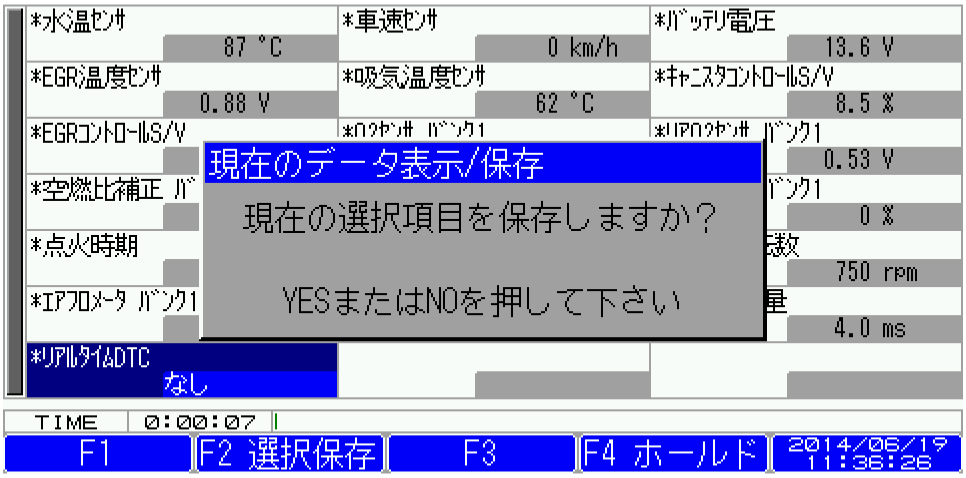
<操作方法>

←/→	レンジの変更を行ないます。
F4	変更したレンジを確定し、ランモードを実行します。
YES	変更したレンジを確定し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
C	レンジ変更を中止し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。

4.6.5.　選択項目保存

選択された項目をCFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存された選択項目はいつでも参照することができます。

選択項目保存確認画面



〈操作方法〉

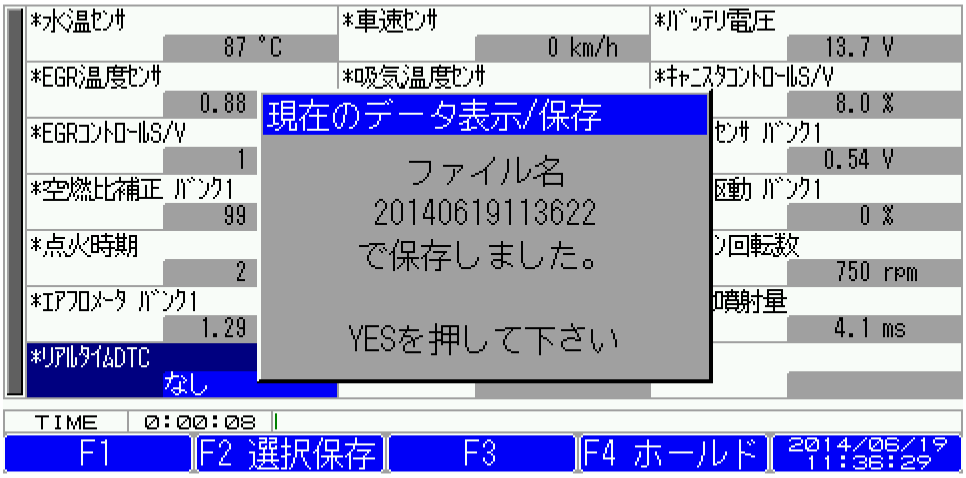
YES	選択項目保存を実行します。
NO	選択項目保存を中止し、実行前の画面に戻ります。

上記画面でYESを押すと選択項目保存が実行されます。

※　保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

また、選択項目保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

選択項目保存完了画面



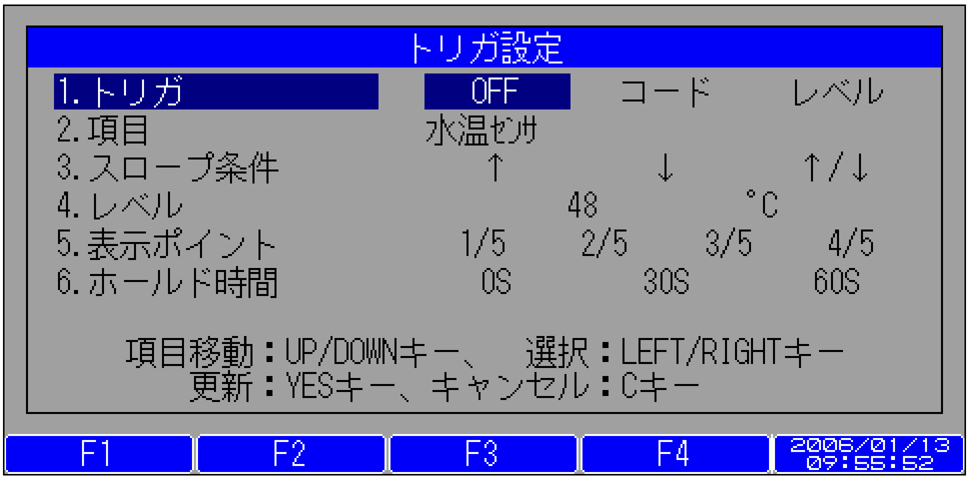
〈操作方法〉

YES	「選択項目保存」が実行された画面に戻ります。

4.6.6.　トリガ設定

データ表示では、ランモード時「エンジン回転速度が何回転以上になった時」(レベルトリガ)や、「何らかの故障コードが発生した時」(コードトリガ)等の条件で自動的にデータをホールドすることができます。

トリガを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「トリガ」を実行してください。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したトリガを確定し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。
C	トリガ設定を中止し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。

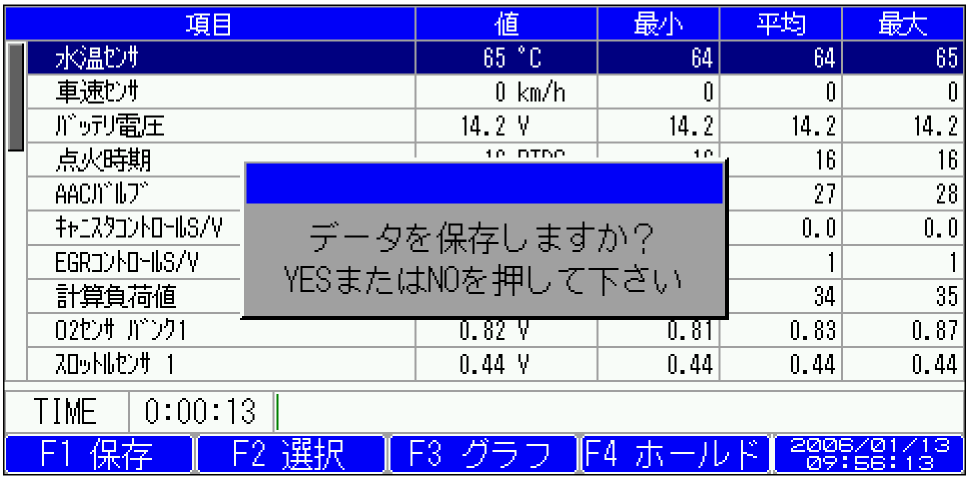
<トリガ設定値>

トリガ	OFF	トリガの設定を解除します。
	コード	コードトリガ。故障コード数に変化があった場合にトリガとします。
	レベル	レベルトリガ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にトリガとします。
項目	レベルトリガの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にトリガとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にトリガとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをトリガとします。
レベル	レベルトリガのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	トリガが発生したらすぐにホールドします。
	30s	トリガが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	トリガが発生してから60秒後にホールドします。

4.6.7. データ保存

ランモードによって取得したデータを、CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面



<操作方法>

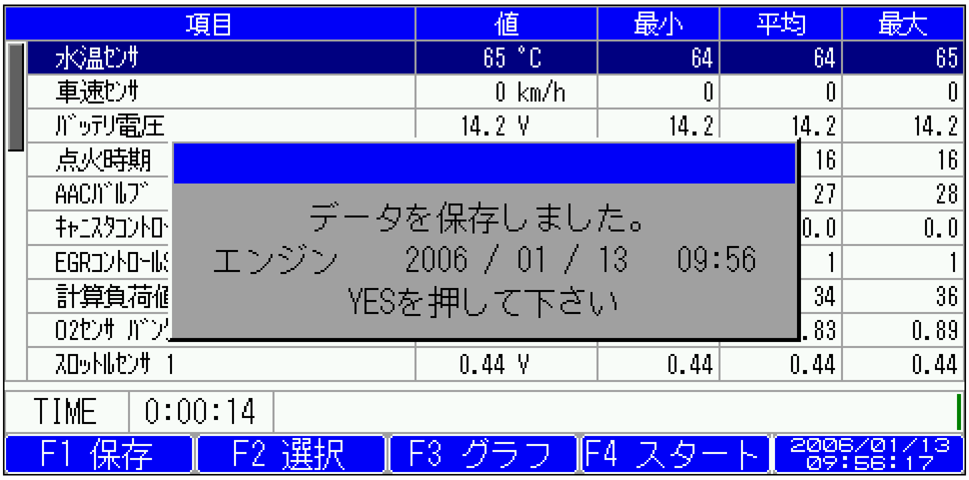
YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※ 保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面



<操作方法>

YES	「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

4.6.8.　選択項目読出し

「データ表示」によって選択保存されたデータを再度表示する場合に実行します。

選択読出し画面

No	ファイル名	ファイル作成日時
1	20140108193057	2014/01/08 19:30:57
2	20140108193407	2014/01/08 19:34:07
3	20140108193507	2014/01/08 19:35:07
4	20140108193514	2014/01/08 19:35:14
5	20140108193528	2014/01/08 19:35:28
6	20140108193546	2014/01/08 19:35:46
7	20140108194821	2014/01/08 19:48:21
8	20140109120056	2014/01/09 12:00:56
9	20140109120206	2014/01/09 12:02:06
10	20140109162441	2014/01/09 16:24:41
11	20140109210321	2014/01/09 21:03:21

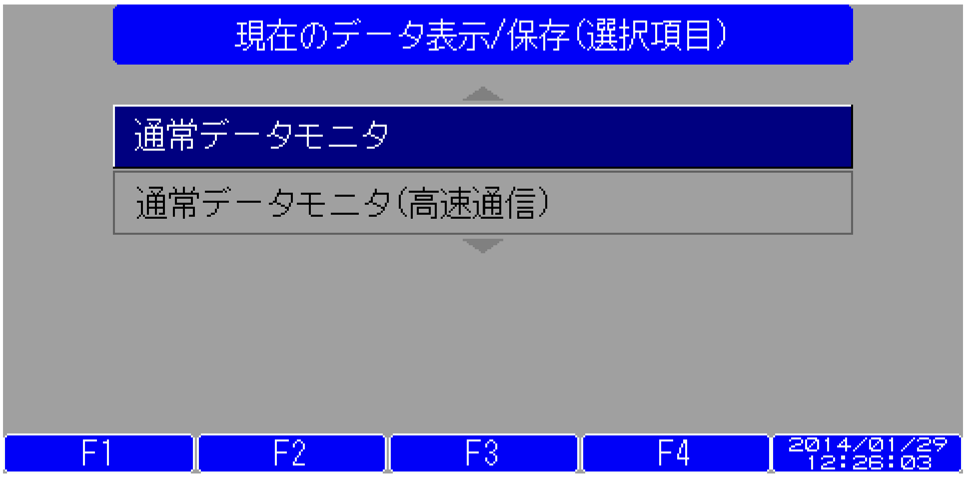
〈操作方法〉

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←	ページ移動（ページダウン）を行います。
→	ページ移動（ページアップ）を行います。
YES	高速通信が存在する場合、「4.6.9.現在のデータ表示/保存(選択項目)」へ移行します。 高速通信が存在しない場合、カーソル上の保存データを読込み、「4.6.1.データ表示」へ移行します。
C	前の画面に戻ります。
S	カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。
F1	選択項目が存在する場合、選択されているファイルを削除します。 選択項目が存在しない場合、カーソル上のファイルを削除します。

△5

4.6.9. 現在のデータ表示/保存(選択項目)

高速通信が存在する場合は、モニタ項目の選択画面が表示されます。



<操作方法>

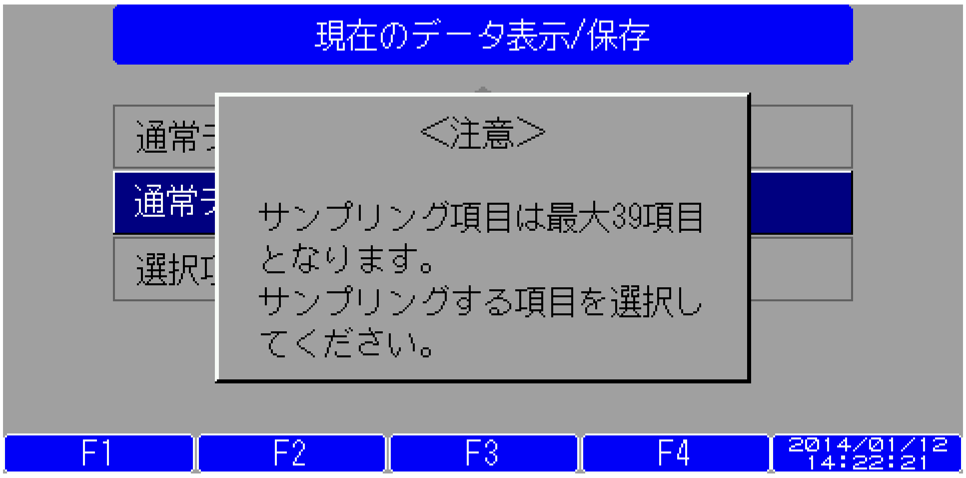
↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	通常データモニタの場合、読出しした選択項目情報で絞り込みを行った状態で「4.6.1.データ表示」へ移行します。 通常データモニタ(高速通信)の場合、読出しした選択項目情報を選択した状態で「4.7.3.モニタ項目選択画面」へ移行します。
C	前の画面に戻ります。

4.7. 現在のデータ表示/保存(高速通信)

4.7.1. モニタ項目選択指示画面

表示可能項目数に制限がある場合は、モニタ項目選択指示画面を表示します。
表示可能項目数は車種により異なります。

モニタ項目選択表示画面



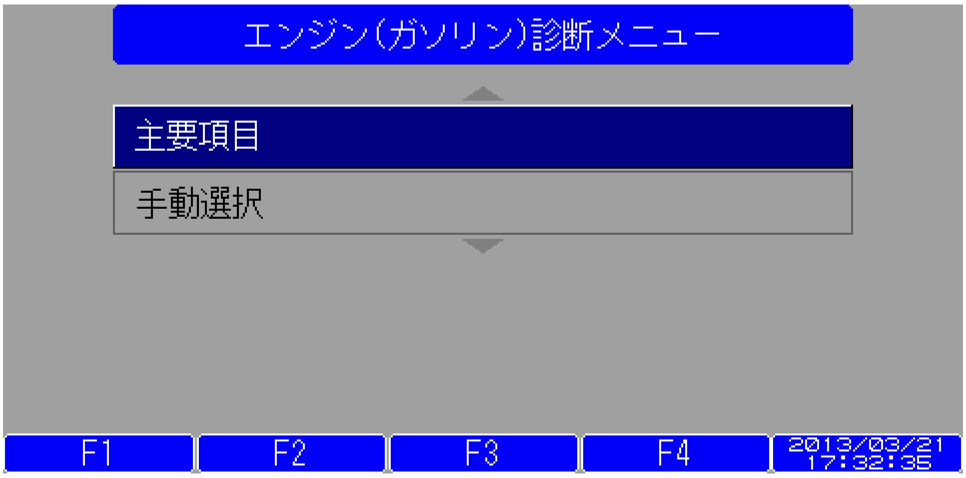
<操作方法>

キー	機能
YES	「4.7.2.モニタ項目選択メニュー」を実行します。

4.7.2. モニタ項目選択メニュー

サポートしているモニタ項目が表示可能モニタ項目数より多かった場合は、以下のメニューを表示し、選択したメニュー項目によって通信対象となるモニタ項目を切り分けます。

エンジン診断メニュー



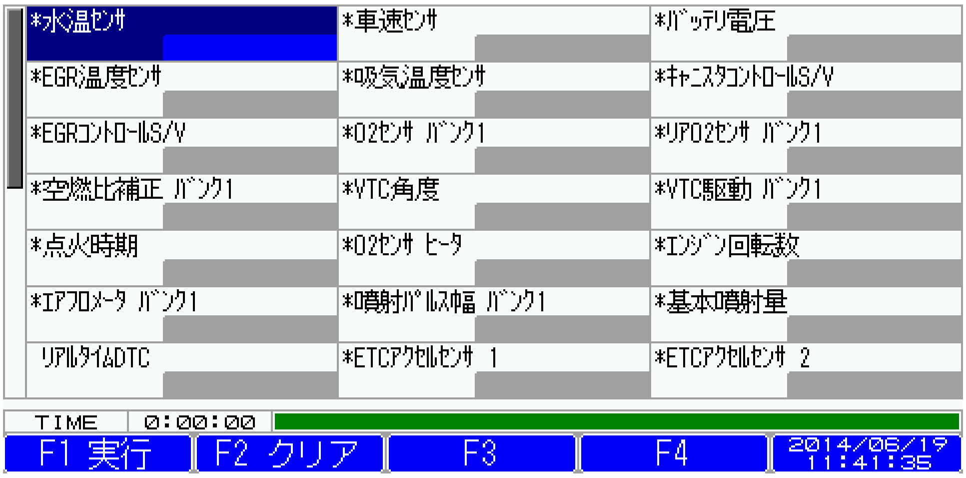
<操作方法>

キー	機能	
YES	「主要項目」選択時	モニタ項目を主要項目に絞り込んで、データモニタ通信(高速)を実行します。
	「手動選択」選択時	主要項目を選択状態にして、「4.7.3.モニタ項目選択画面」を実行します。

4.7.3.　モニタ項目選択画面

モニタ項目選択画面を選択した場合は、下記の項目を表示します。

モニタ項目選択画面

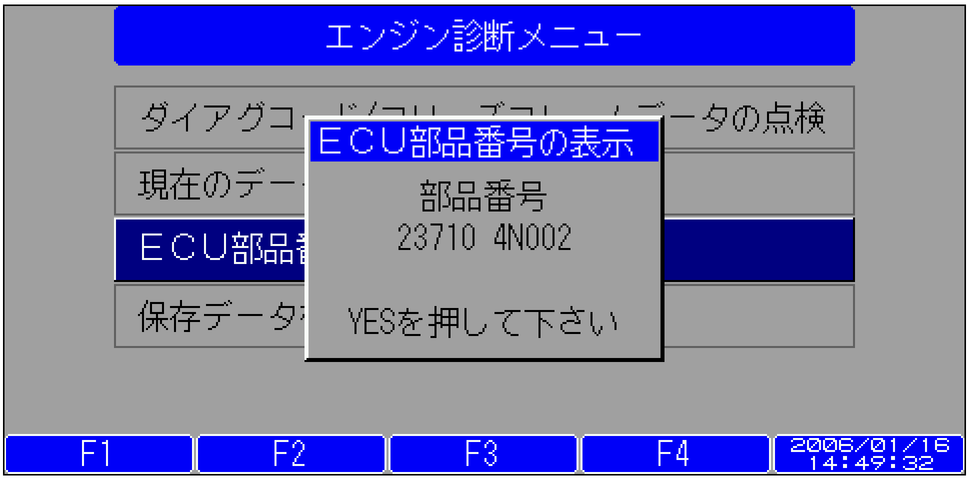


<操作方法>

キー	機能	
UP/DOWN	カーソルの移動。	
YES	未選択	項目名左に「*」を描画し選択項目とします。 最大選択数=表示可能モニタ項目数
	選択済	項目名左の「*」を消去し選択を解除します。
F1	実行	選択した項目で絞り込み後、データモニタ通信（高速通信）を実行します。
F2	クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除します。

4.8. ECU部品番号の表示

現在診断中のシステム(ECU)の部品番号を表示します。



<操作方法>

YES	前の画面に戻ります。

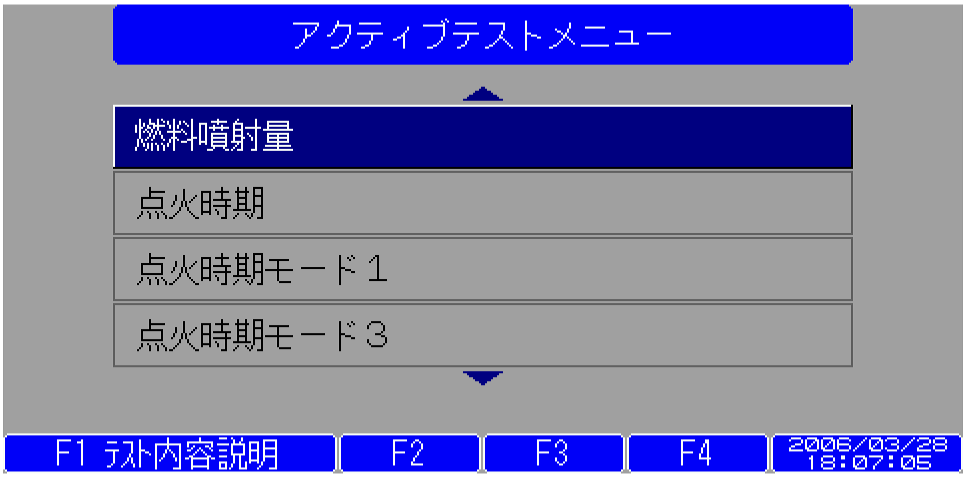
4.9. アクティブテスト

本機能は、ダイアグコードの点検や現在のデータ表示などの診断結果に基づき、故障原因を追求する為に活用する機能です。 テスト対象アクチュエータを車両ECUの指令（出力）から切り離し、診断機から強制的に駆動することで、作動良否点検などを行ないます。

警告	アクティブテストは、対象車両の整備マニュアルによりテスト対象アクチュエータの内容を十分理解した上で行なってください。 使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。

4.9.1. アクティブテストメニュー

診断車両がサポートしているテスト項目をメニュー表示します。 本アプリケーションがサポートしているテスト項目は「4. アクティブテスト項目一覧」をご参照ください。



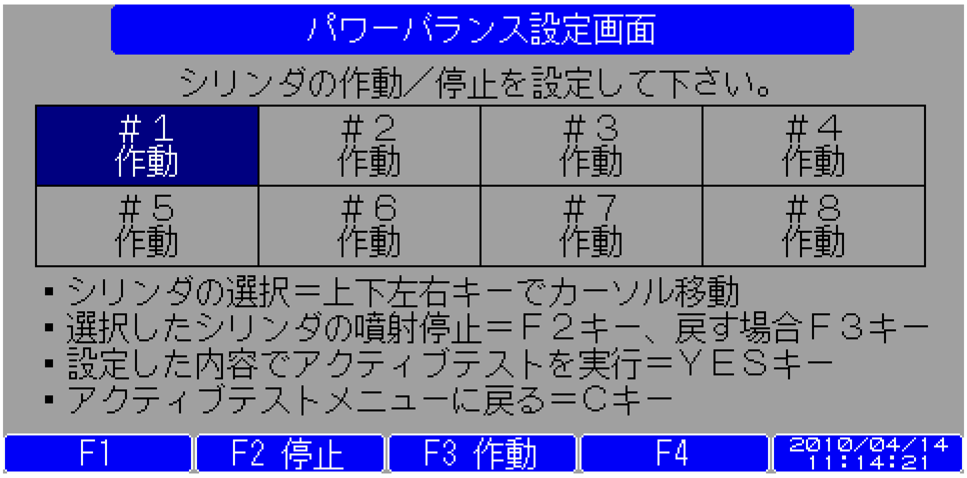
テストを行なう項目をYESで選択してください。
F1「テスト内容説明」を押すと、選択されているテスト項目の内容説明が表示されます。

4.9.2.　テスト値の設定

　アクティブテストメニューで実行したい項目を選択すると、テスト内容によってテスト値入力画面に変わる項目があります。 この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値を入力してください。 アクティブテストメニューの項目によって、次の3つがあります。

(1) パワーバランス

　各シリンダの作動/停止の状態を設定します。

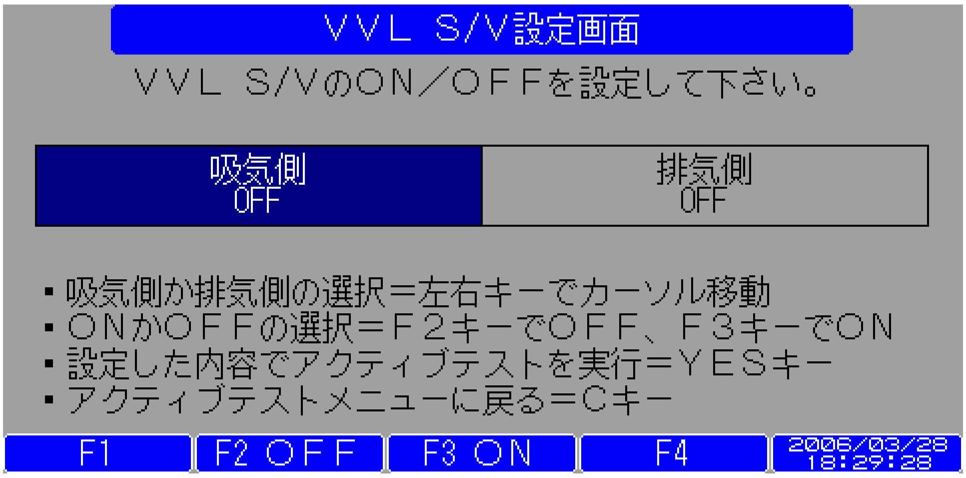


<操作方法>

↑/↓ ←/→	カーソルを移動します。
F2	カーソル上の項目を停止に設定します。
F3	カーソル上の項目を作動に設定します。
YES	設定した値によりテストを実行します。 但し、本操作の段階では、まだアクチュエータの強制駆動は実行されません。
C	設定を中止し、「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

(2) VVL S/V

VVL S/VのON/OFF状態を設定します。

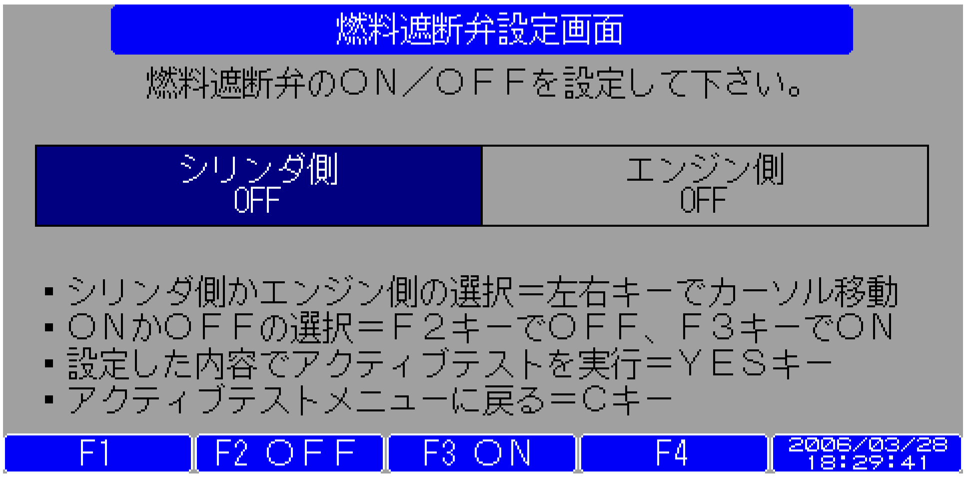


<操作方法>

↑/↓ ←/→	カーソルを移動します。
F2	カーソル上の項目をOFFに設定します。
F3	カーソル上の項目をONに設定します。
YES	設定した値によりテストを実行します。 但し、本操作の段階では、まだアクチュエータの強制駆動は実行されません。
C	設定を中止し、「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

(3) 燃料遮断弁

燃料遮断弁のON/OFF状態を設定します。



<操作方法>

↑/↓ ←/→	カーソルを移動します。
F2	カーソル上の項目をOFFに設定します。
F3	カーソル上の項目をONに設定します。
YES	設定した値によりテストを実行します。 但し、本操作の段階では、まだアクチュエータの強制駆動は実行されません。
C	設定を中止し、「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

4.9.3. テスト実行(エンジン、ABS、4WD、オートレベライザ)

アクティブテストメニューで実行したい項目を選択すると、各項目でのテスト値入力画面として「4.6.現在のデータ表示/保存」と同じような画面が表示されます。 この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値(目標値、状態)を入力してください。 アクティブテストメニューの項目によって、次の2つの設定方法があります。

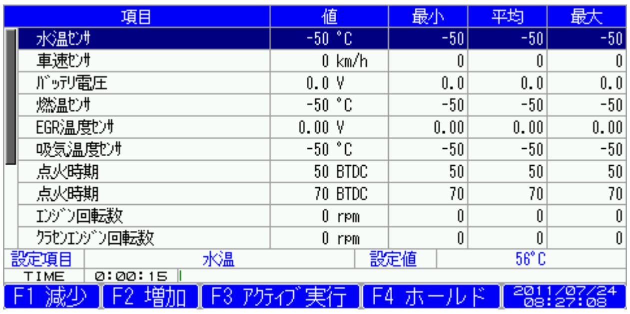
デフォルトの状態で割り付けられているファンクションF1～F3以外は通常のデータ表示と同じです。操作方法は、「4.6.現在のデータ表示/保存」をご参照ください。 なお、Cキー入力時は「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

(1) 初期/強制駆動無効状態

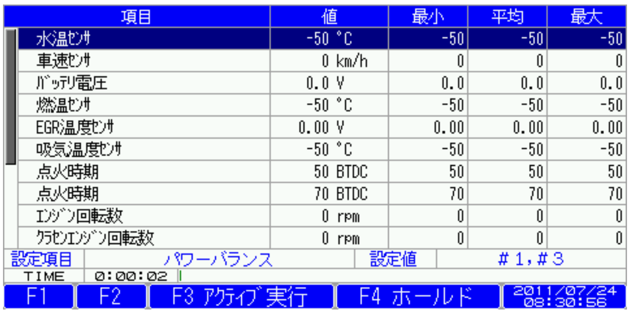
この状態では、アクチュエータは強制駆動されておりません。

アクティブテストメニューの項目によって、次の2つの設定方法があります。

[数値設定タイプ]



[状態設定タイプ]



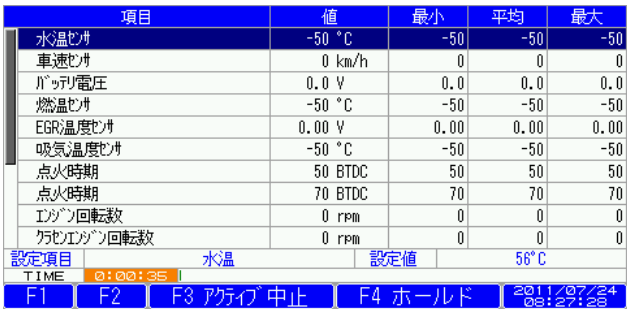
<操作方法>

F1/F2	[数値設定タイプ] テスト値を増減します。 増減する値はテスト項目によって異なります。 3秒以上押し続けると、増減する値が10倍となります。 [状態設定タイプ] 状態を切換えます。
F3	設定されたテスト値でアクチュエータ強制駆動を開始します。
C	設定を中止し、「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

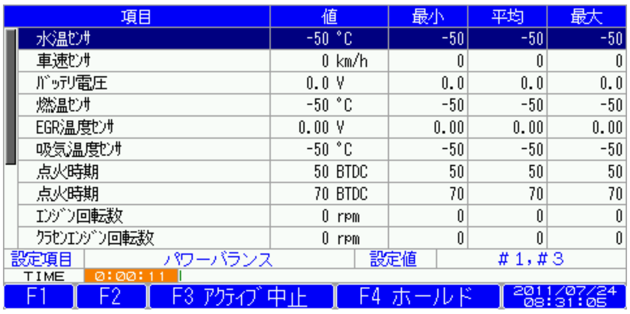
(2) 強制駆動中

強制駆動実行中はTIME表示がオレンジ色に変わります。

[数値設定タイプ]



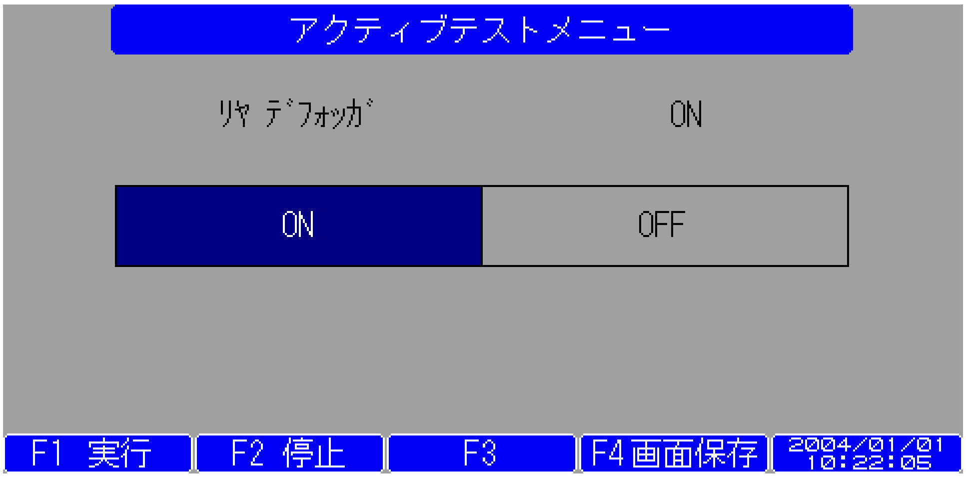
[状態設定タイプ]



強制駆動実行中に「F2 アクティブ中止」を押すと、アクチュエータの強制駆動を中止し、強制駆動無効状態に戻ります。

4.9.4.　テスト実行(ボディ、IPDM E/R、HVAC、ドライブポジショナ、インテリジェントキー、ソナー)

　アクティブテストメニューで実行したい項目を選択すると、各項目でのテスト値入力画面が表示されます。 この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値(状態)を入力してください。



<操作方法>

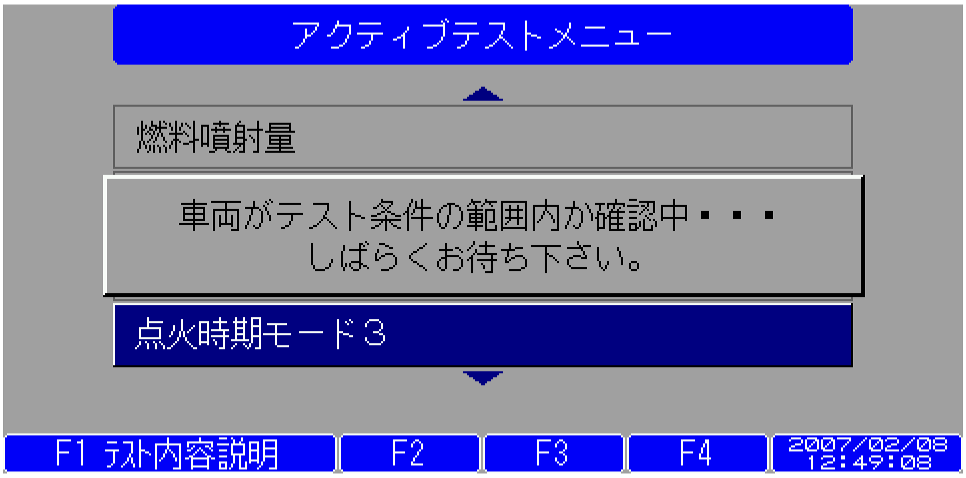
←/→	テスト値状態を切換えます。
F1	現在カーソルがあるテスト値でアクチュエータ強制駆動を開始します。
F2	実行中のアクチュエータ強制駆動を停止します。
C	設定を中止し、「4.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

4.9.5.　テスト条件監視

　テスト項目の中には、車両状態が特定の状態でのみ実行できる項目があります。
対象のテスト項目を実行した場合、以下イベント時にテスト条件の監視を実行します。

<監視実行イベント>
　① テスト値の設定前（約1秒間）
　② アクチュエータ強制駆動前（約1秒間）
　③ テスト実行中（リアルタイム）

　テスト値の設定前の監視時は、以下の画面が表示されます。 また、テスト条件から外れている場合は、車両状態の指示コメントが表示されますので、表示コメントに従い車両を操作してください。



注意	エンジン停止の指示コメントが表示された場合、エンジン停止（イグニッションスイッチOFF）時に診断ECUとの通信が停止し、その後全ての診断機能で通信エラー画面が表示されます。 　この場合は、システム選択メニューまで戻り、診断システム（ECU）の選択から再実行してください。

4.10. 作業サポート

4.10.1. 作業サポートメニュー

診断車両がサポートしている作業サポート項目をメニュー表示します。 本アプリケーションがサポートしている作業サポート項目は「7.作業サポート項目一覧」をご参照ください。

◎ エンジン

◎ AT

◎ ABS

◎ ボディ

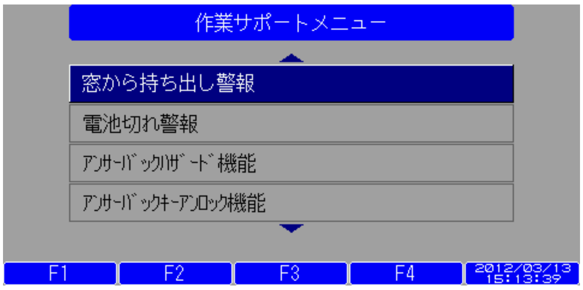
◎ オートレベライザ

◎ IPDM E/R

◎ HVAC

◎ ドライブポジショナ

◎ インテリジェントキー



◎ ソナー

◎ オートバックドア

◎ AFS

◎ AVM

◎ ブレーキ

実行する項目をYESで選択してください。

4.11. 急速TAS学習クリア

本機能は、車両の部品を交換した場合や対象項目の値が基準値から外れている場合に、対象項目の値を基準値内にする為に活用する機能です。

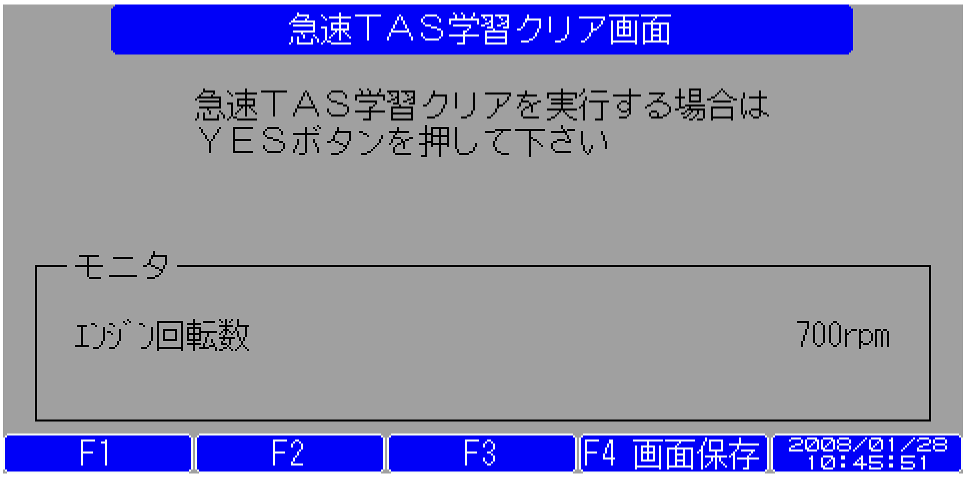
4.11.1. 実行前準備

クリアを実行する前に以下の作業を行ってください。

① イグニッションをONからOFFにして約5秒間保持してください。このとき、スロットルバルブの作動音がすることを確認してください。
② 水温が80～95℃になるように十分暖機してください。
③ シフト位置がニュートラル又はパーキングになっていることを確認してください。
④ エアコンがOFFになっていることを確認してください。

4.11.2. クリア実行画面

作業サポートメニューで、急速TAS学習クリアを選択すると、クリア実行画面に変わります。



<操作方法>

YES	クリアを実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.11.3. クリア実行

実行画面でYESを押すと、クリアが実行されます。

※ 1分以上経っても処理が完了しない場合は、イグニッションをOFFにしてしばらくお待ちください。
画面のメッセージに従って処理を終了した後で、「4.11.1.実行前準備」の内容を再度確認してください。

4.11.4.クリア結果確認

クリアが完了すると、結果が画面に表示されます。モニタ項目の数値が基準値内であることを確認してください。
基準値以外の場合は、再度クリアを実行してください。

<操作方法>

YES	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
C	「4.11.2.クリア実行画面」に戻ります。

注意	再度クリアを実行する場合は、一度エンジンを停止（イグニッションOFF）してから行ってください。 連続でクリアを実行した場合、処理が終了しない場合があります。

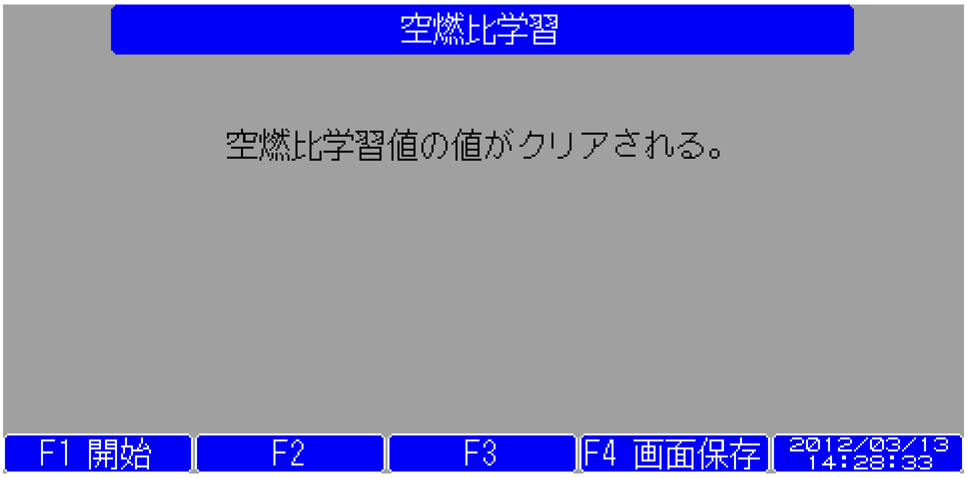
注意	エアコン等がONの時も処理が終了しない場合があります。 エアコン等がOFFになっていることを確認してから、クリアを実行してください。

4.12. 空燃比学習

本機能は、空燃比学習データのクリアをする為に活用する機能です。

4.12.1. 内容説明

作業サポートメニューで、空燃比学習を選択すると、内容説明画面に変わります。

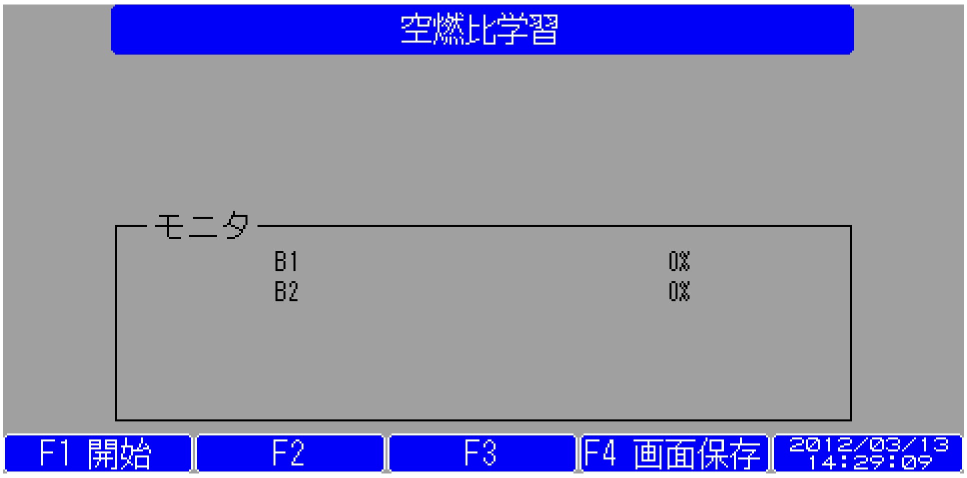


<操作方法>

F1	「4.12.2.モニタ画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.12.2. モニタ画面

モニタ画面を表示します。



<操作方法>

F1	「4.12.3.クリア実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.12.3. クリア実行

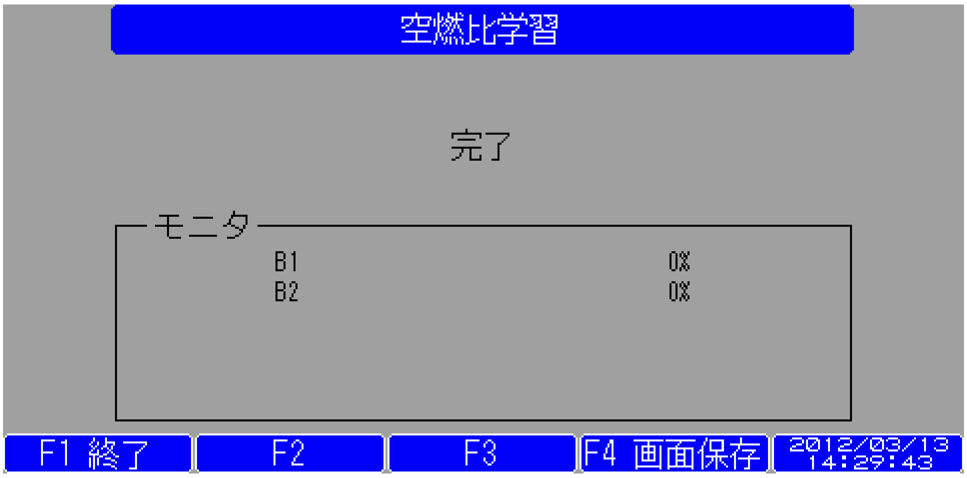
モニタ画面でF1を押すと、クリアが実行されます。

<操作方法>

F1	クリアを中止し、「4.12.1.内容説明」に戻ります。
C	クリアを中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.12.4. クリア結果確認

クリアが完了すると、結果が画面に表示されます。



<操作方法>

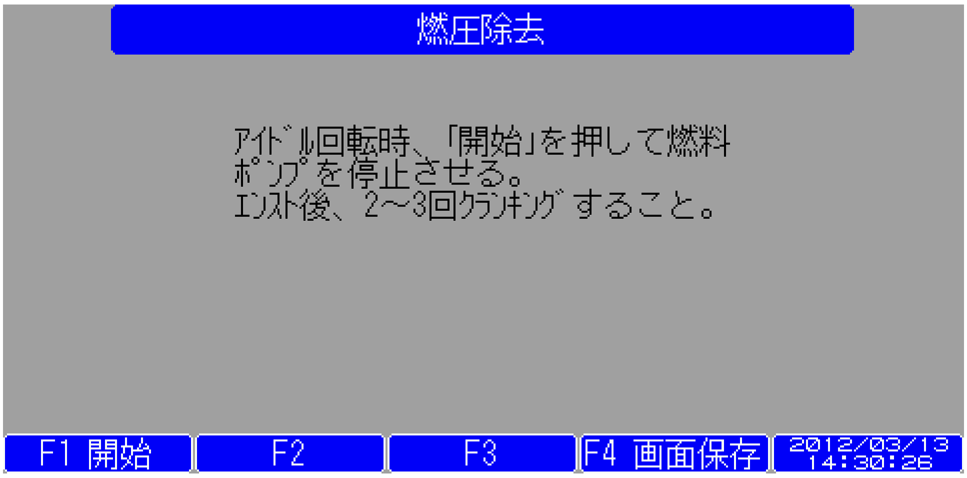
F1	「4.12.1.内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.13. 燃圧除去

本機能は、燃圧除去を行う際に活用する機能です。

4.13.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、燃圧除去を選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

F1	「4.13.2.状態設定実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.13.2. 状態設定実行

作業内容説明画面でF1を押すと、状態設定が実行されます。作業終了後、F1かCを押して状態設定を終了してください。

<操作方法>

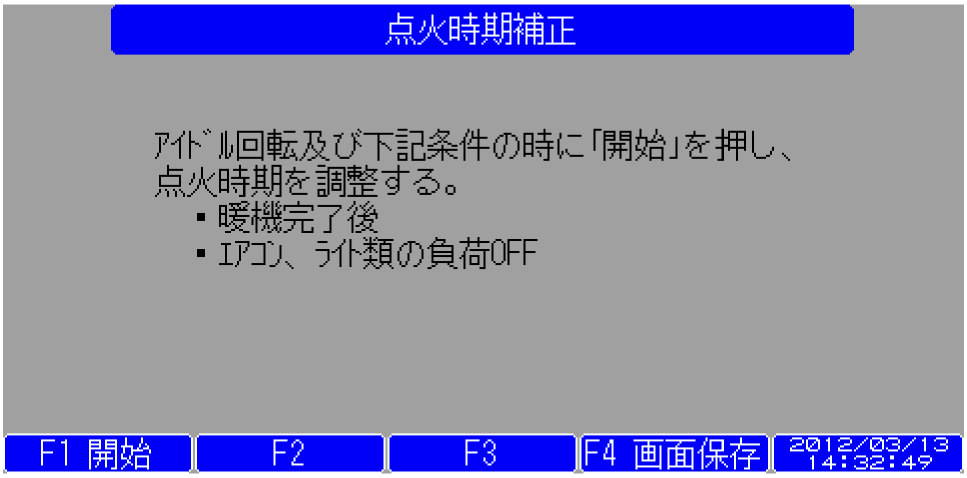
F1	状態設定を終了し、「4.13.1.作業内容説明」に戻ります。
C	状態設定を終了し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.14. 点火時期補正

本機能は、点火時期調整値を変更する際に活用する機能です。

4.14.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、点火時期補正を選択すると、作業内容説明画面に変わります。

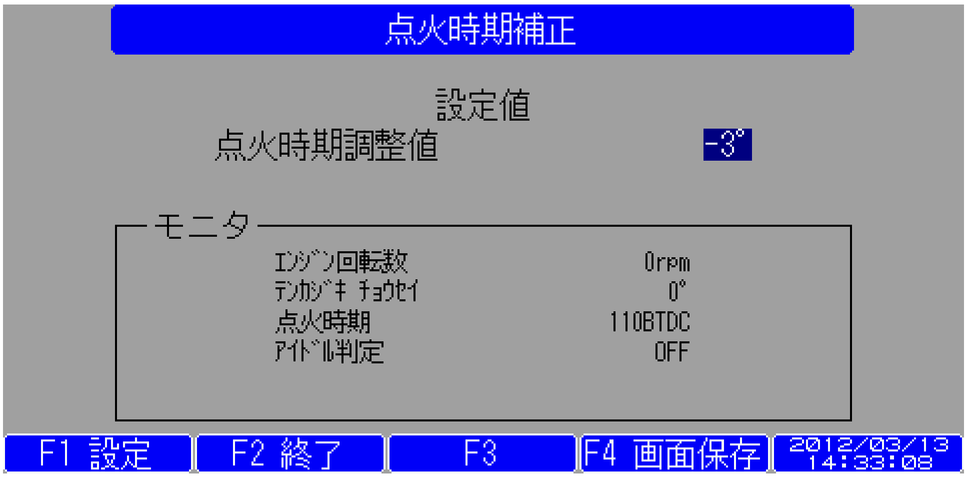


<操作方法>

F1	「4.14.2.調整値設定」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.14.2. 調整値設定

作業内容説明画面でF1を押すと、調整値設定画面が表示されます。



<操作方法>

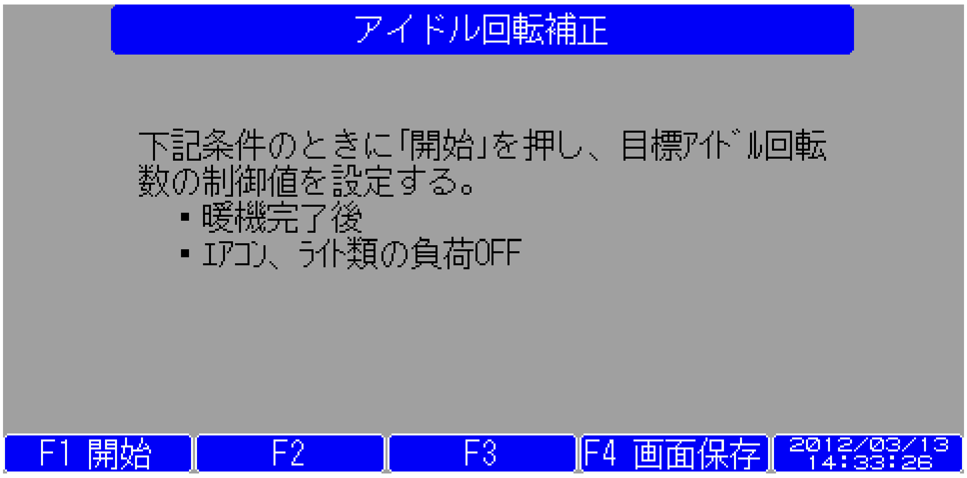
↑/↓	設定値を変更します。
F1	設定した値を車両ECUに書き込みます。
F2	「4.14.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.15. アイドル回転補正

本機能は、アイドル回転調整値を変更する際に活用する機能です。

4.15.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、アイドル回転補正を選択すると、作業内容説明画面に変わります。

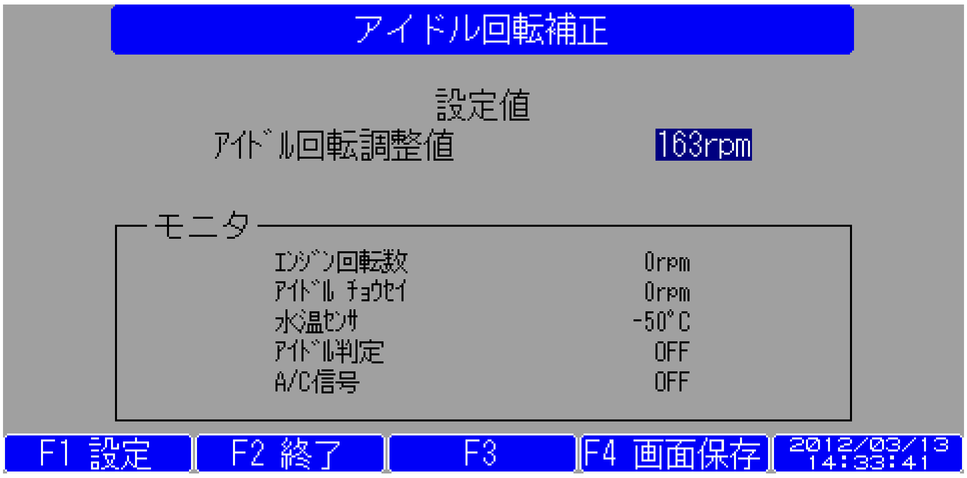


<操作方法>

F1	「4.15.2.調整値設定」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.15.2. 調整値設定

作業内容説明画面でF1を押すと、調整値設定画面が表示されます。



<操作方法>

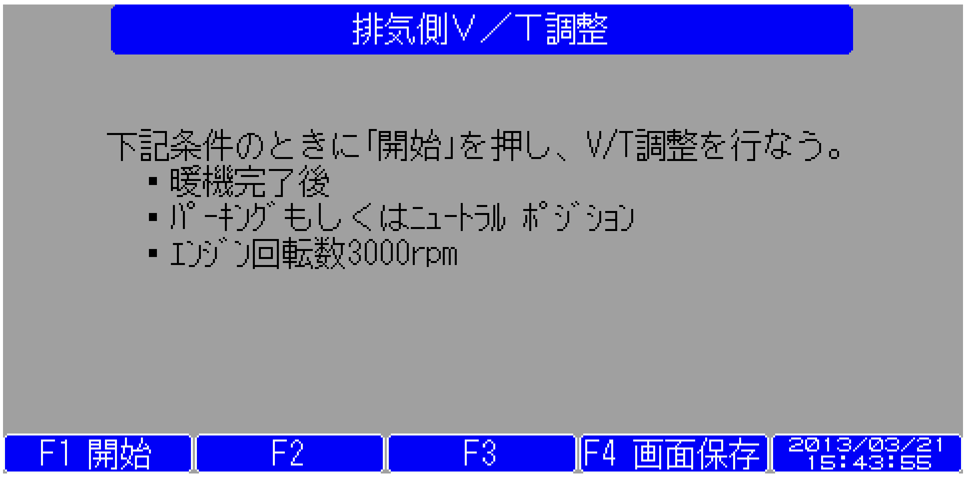
↑/↓	設定値を変更します。
F1	設定した値を車両ECUに書き込みます。
F2	「4.15.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.16. 排気側V/T調整

4.16.1. 作業内容説明

本機能は、排気側V/T調整を行う際に活用する機能です。

排気側V/T調整画面



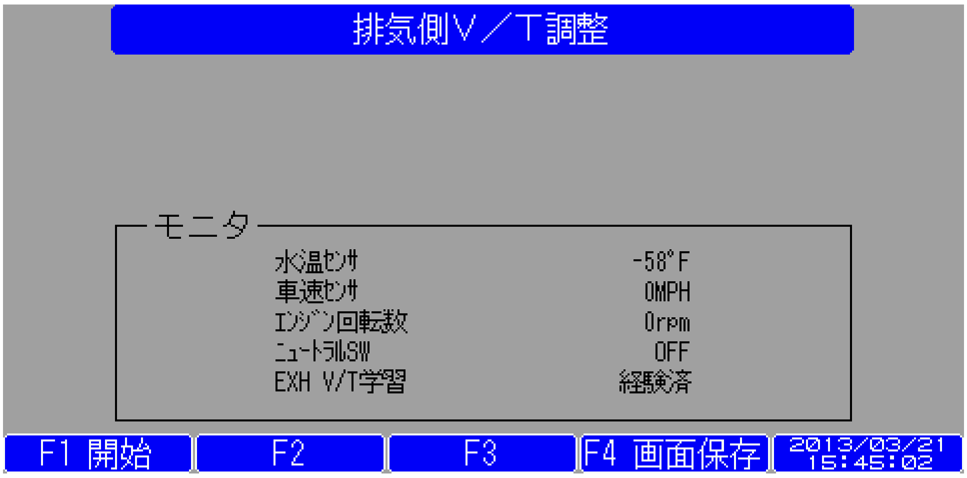
<操作方法>

キー	機能
F1	「4.16.2.モニタ画面」表示を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.16.2. モニタ画面

排気側V/T調整画面でF1キーを押すとモニタ画面表示に移ります。

排気側V/T調整画面



<操作方法>

キー	機能
F1	排気側V/T調整を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

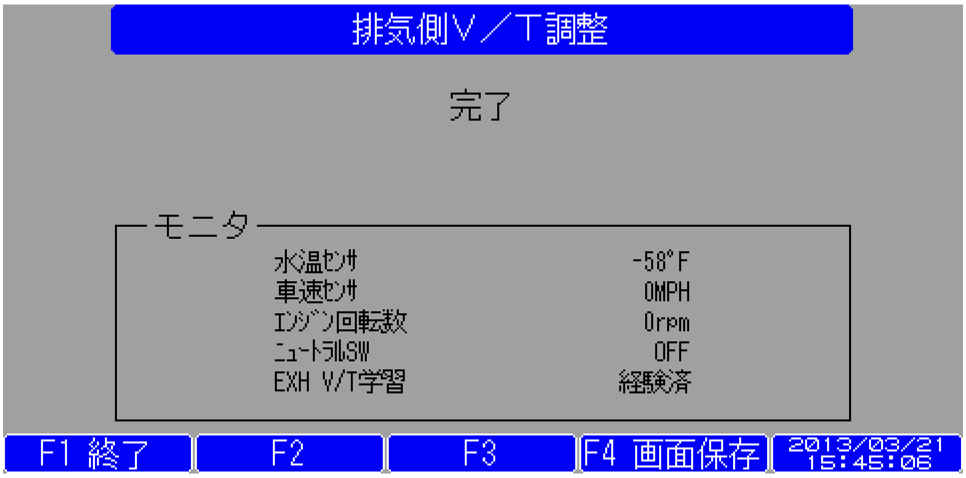
4.16.3. 処理要求

排気側V/T調整画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

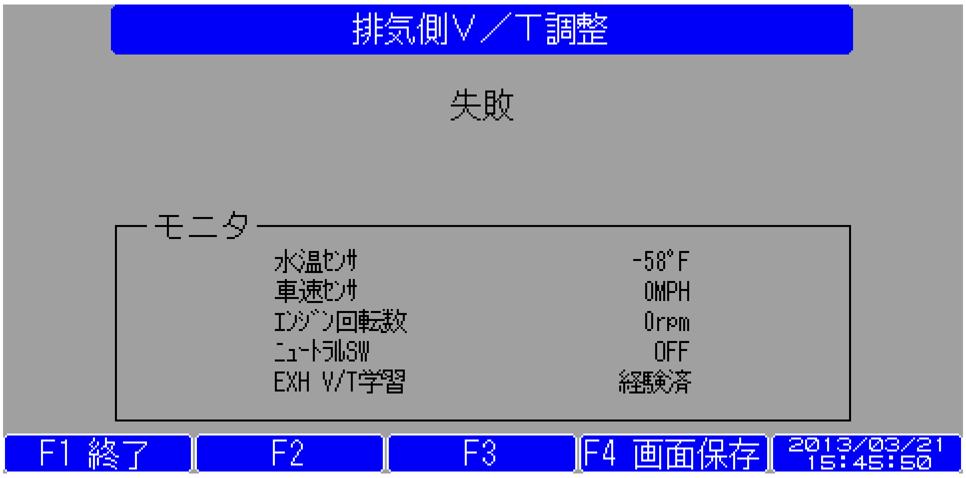
4.16.4. 処理結果表示

排気側V/T調整の結果を表示します。

（完了画面）



（失敗画面）



<操作方法>

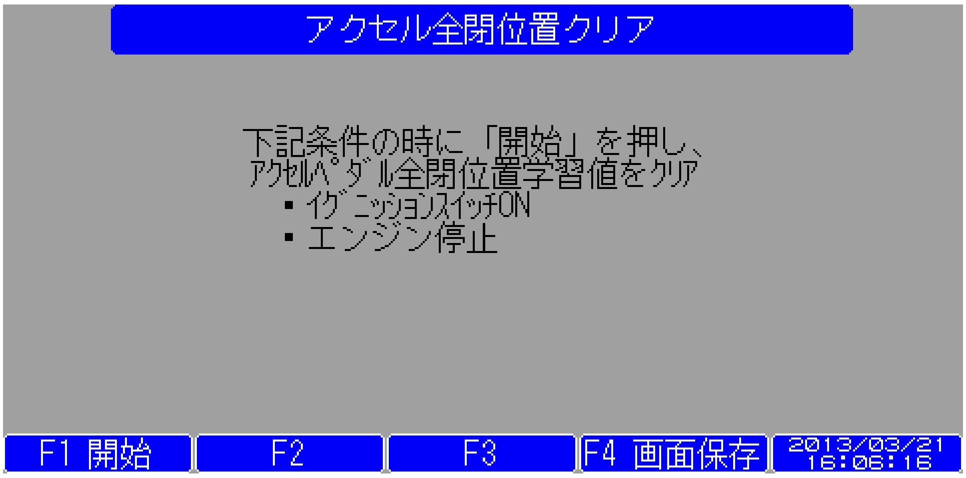
キー	機能
F1	「4.16.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.17. アクセル全閉位置クリア

4.17.1. 作業指示

本機能は、アクセル全閉位置クリアを行う際に、活用する機能です。

アクセル全閉位置クリア画面



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.17.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.17.2. 処理要求

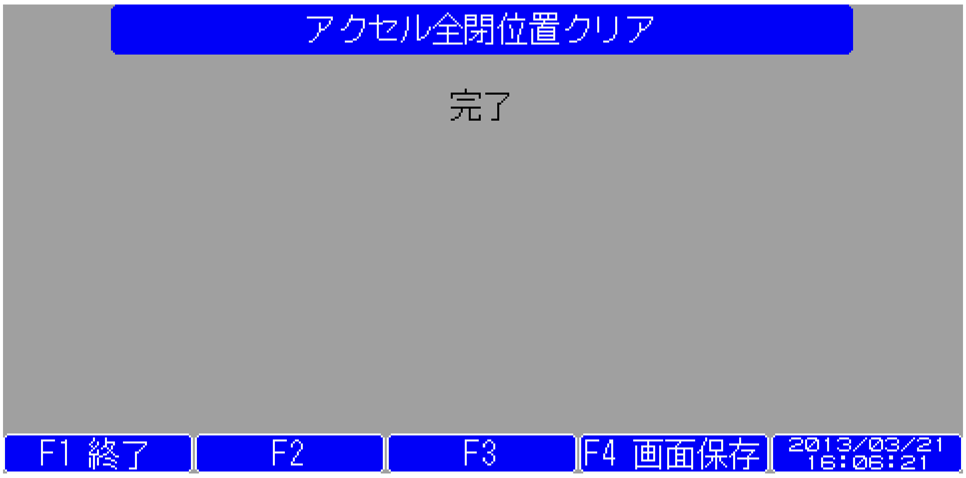
本機能は、アクセル全閉位置クリアを行う際に活用する機能です。

アクセル全閉位置画面で実行F1キーを押すと実行中のテロップが表示されます。

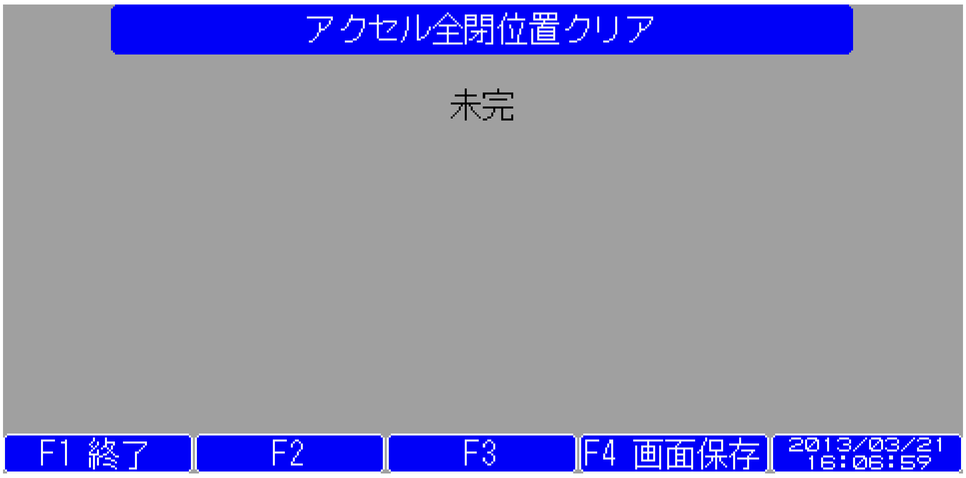
4.17.3. 処理結果表示

アクセル全閉位置クリアの処理結果を表示します。

（完了画面）



（未完了）



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.17.1.作業指示」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.18. スロットル全閉位置学習

4.18.1. 作業指示

本機能は、スロットル全閉位置学習を行う際に、活用する機能です。

スロットル全閉位置学習画面

<操作方法>

キー	機能
F1	「4.18.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

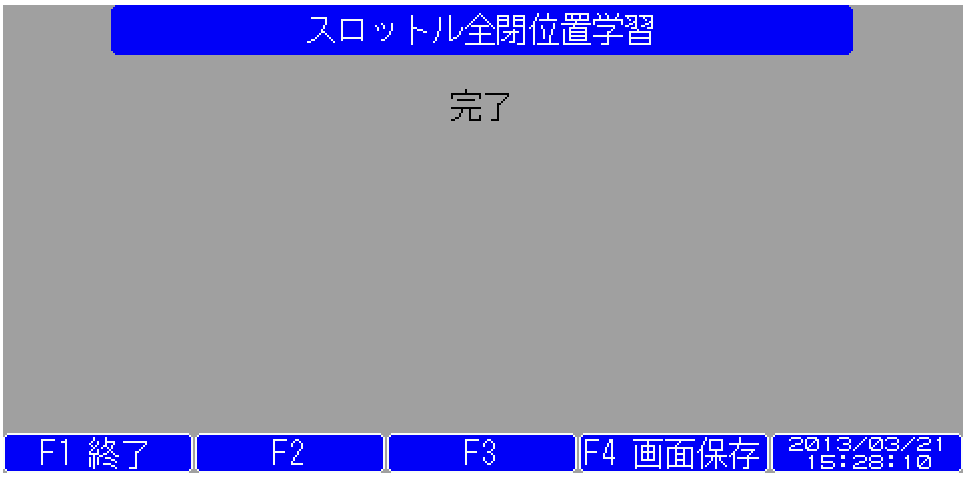
4.18.2. 処理要求

スロットル全閉位置学習画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

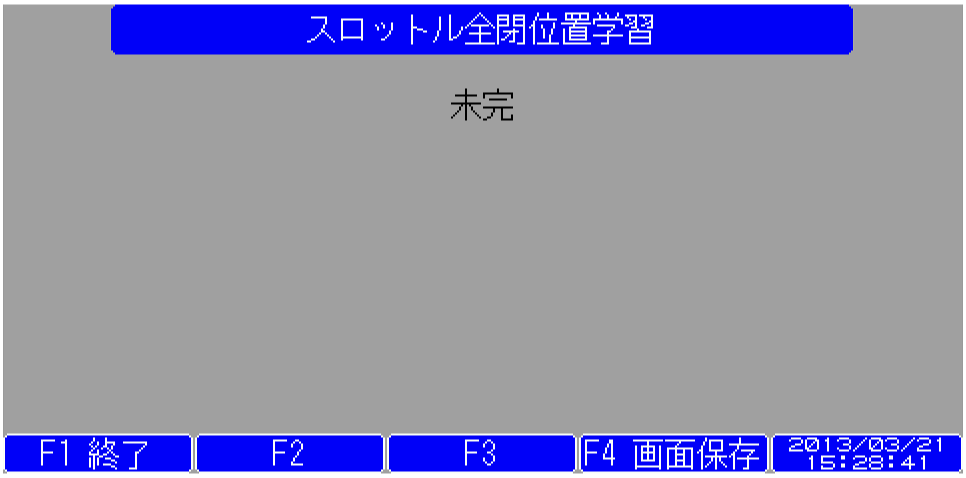
4.18.3. 処理結果表示

スロットル全閉位置学習の処理結果を表示します。

（完了画面）



（未完了画面）



<操作方法>

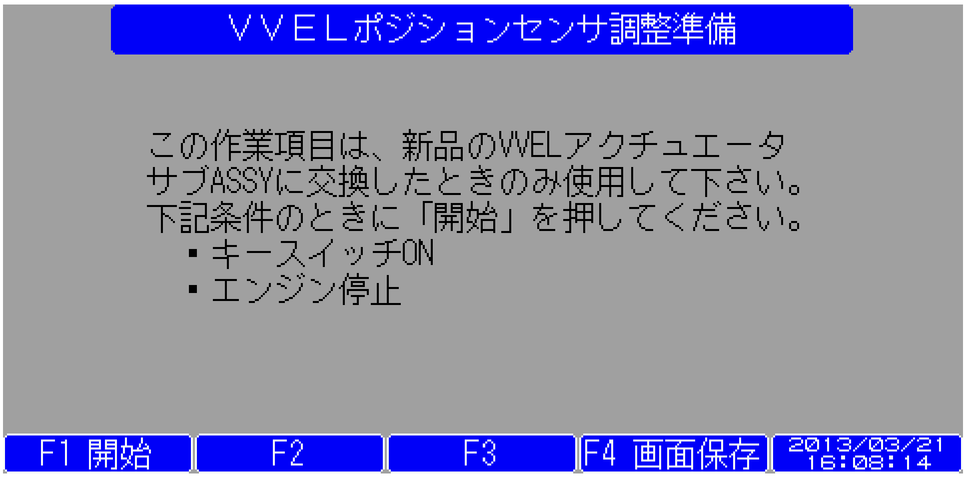
キー	機能
F1	「4.18.1　作業指示」に戻ります。
C	「4.10.1　作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.19. VVELポジションセンサ調整準備

本機能は、VVELポジションセンサ調整準備に活用する機能です。

4.19.1. 作業指示

VVELポジションセンサ調整準備画面

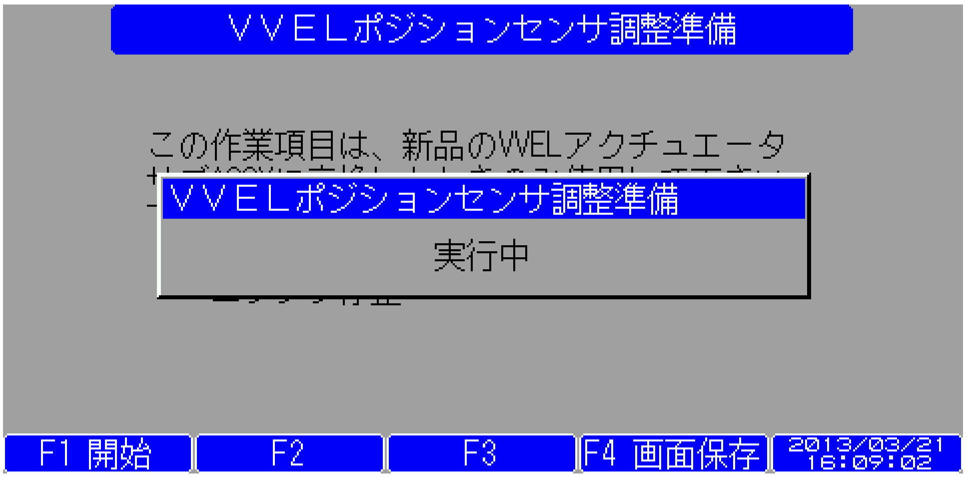


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.19.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.19.2. 処理要求

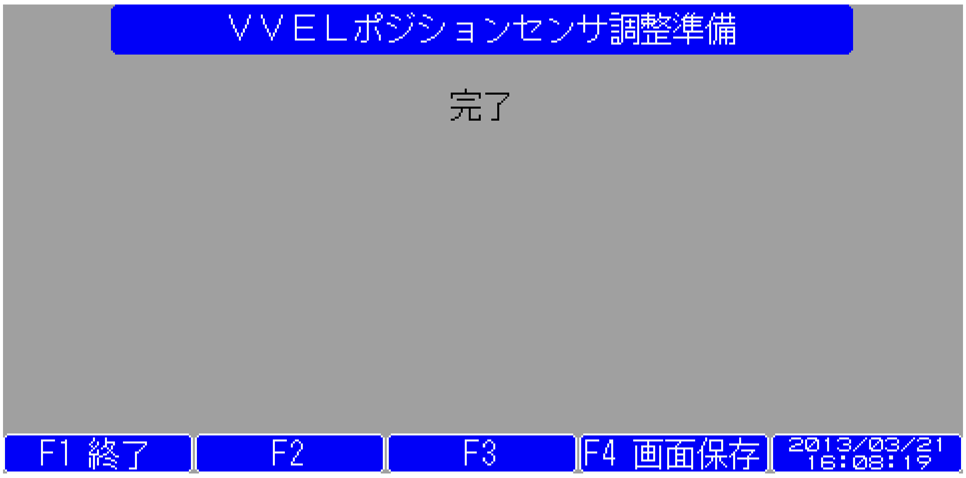
VVELポジションセンサ調整準備画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



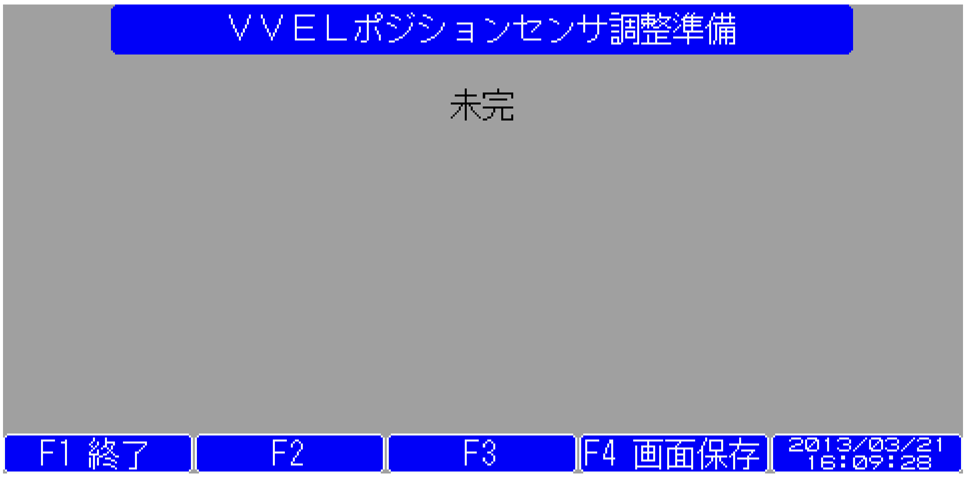
4.19.3. 処理結果表示

VVELポジションセンサ調整準備の処理結果を表示します。

（完了画面）



（未完了画面）



<操作方法>

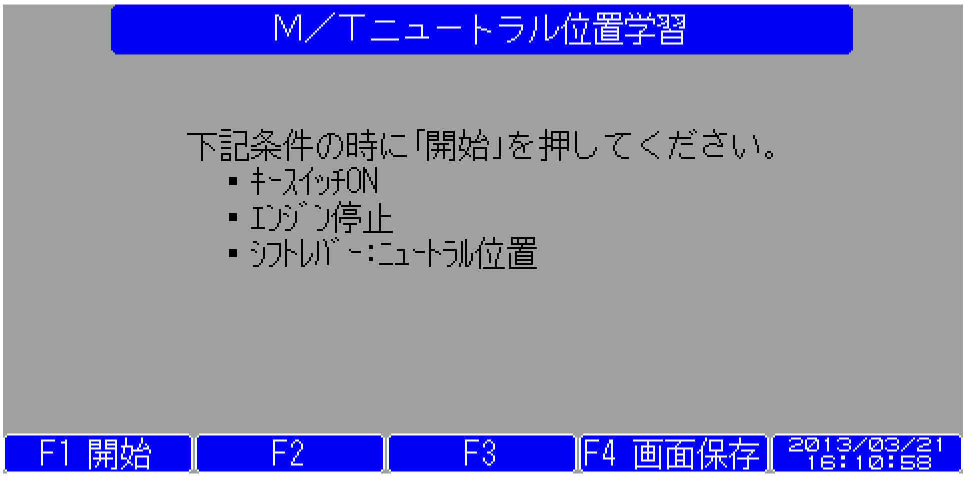
キー	機能
F1	「4.19.1.作業指示」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.20. M/Tニュートラル位置学習

本機能は、M/Tニュートラル位置学習に活用する機能です。

4.20.1. 作業指示

M/Tニュートラル位置学習

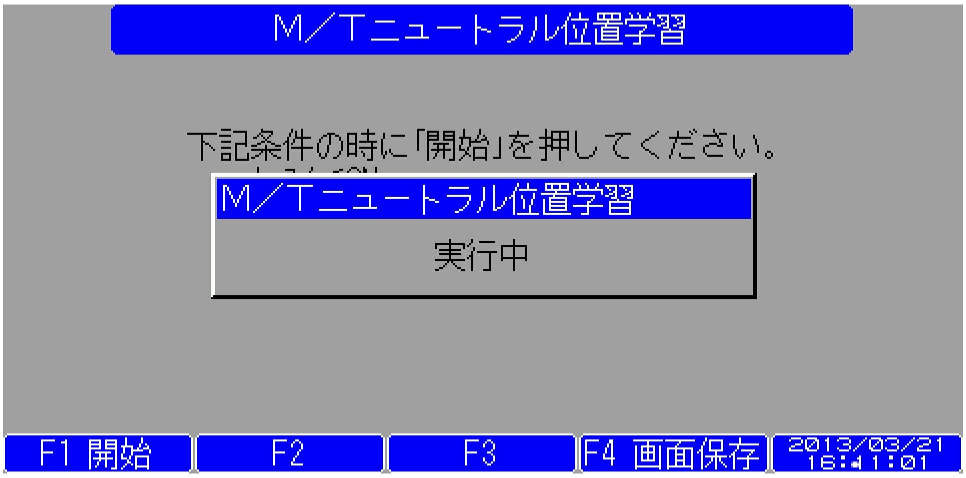


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.20.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

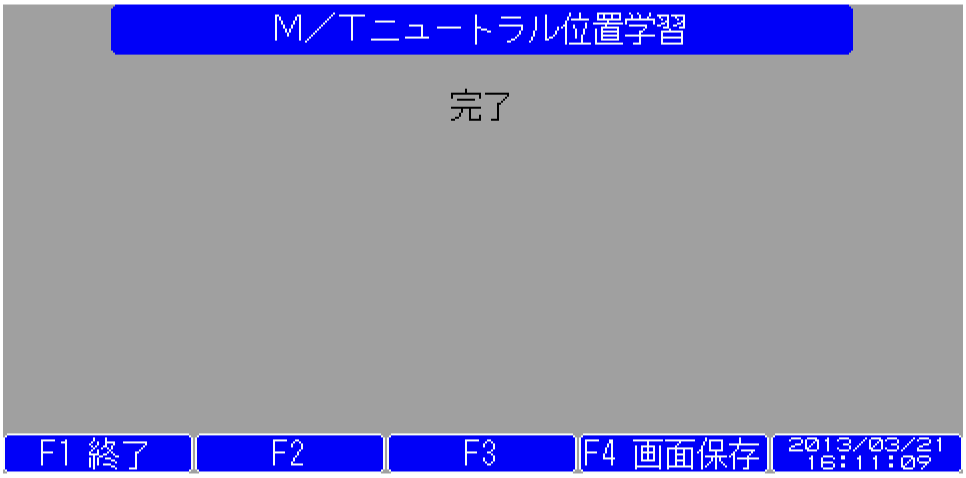
4.20.2. 処理要求

M/Tニュートラル位置学習画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

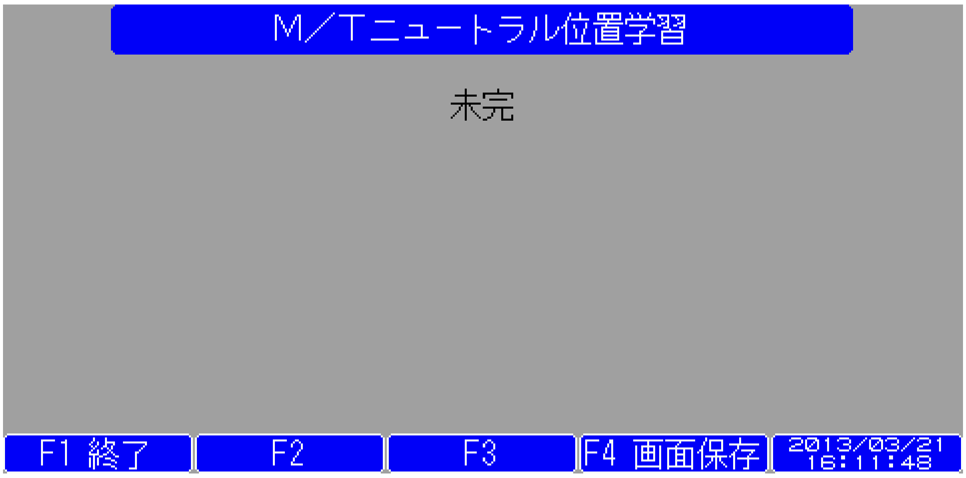


4.20.3. 処理結果表示

（完了画面）



（未完了画面）



<操作方法>

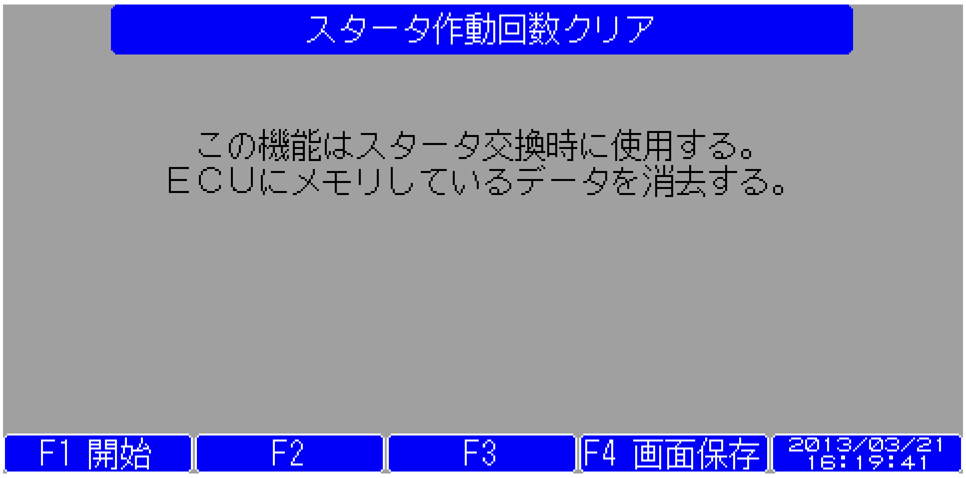
キー	機能
F1	「4.20.1.作業指示」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.21. スタータ作動回数クリア

本機能は、スタータ作動回数クリアに活用する機能です。

4.21.1. 作業指示

スタータ作動回数クリア画面

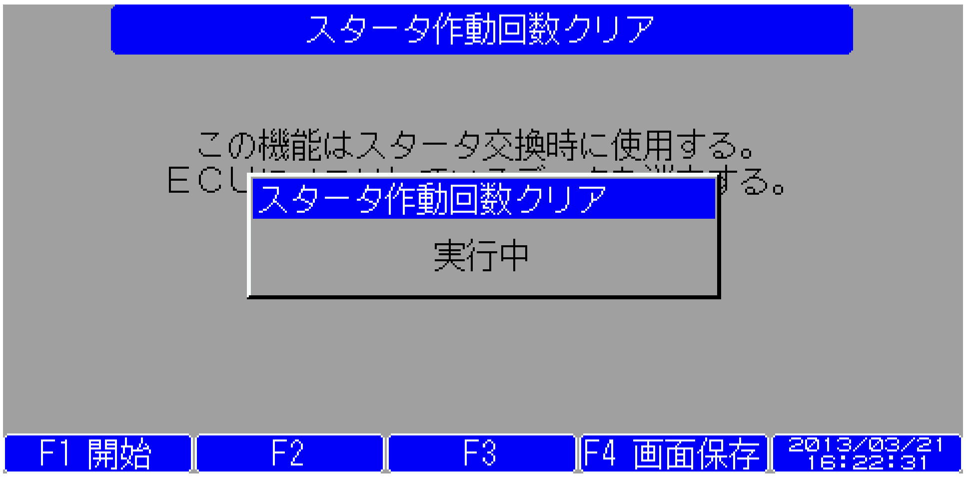


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.21.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

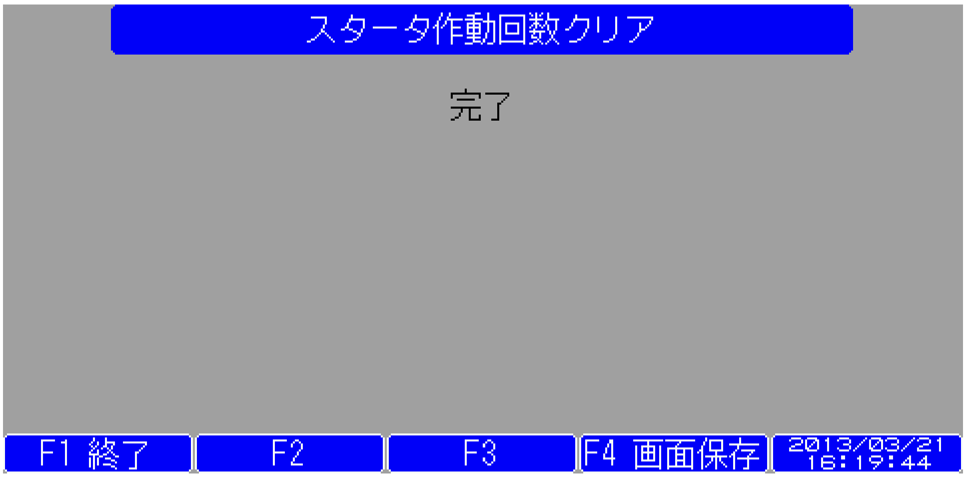
4.21.2. 処理要求

スタータ作動回数クリア画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.21.3. 処理結果表示

スタータ作動回数クリア　処理結果表示画面



<操作方法>

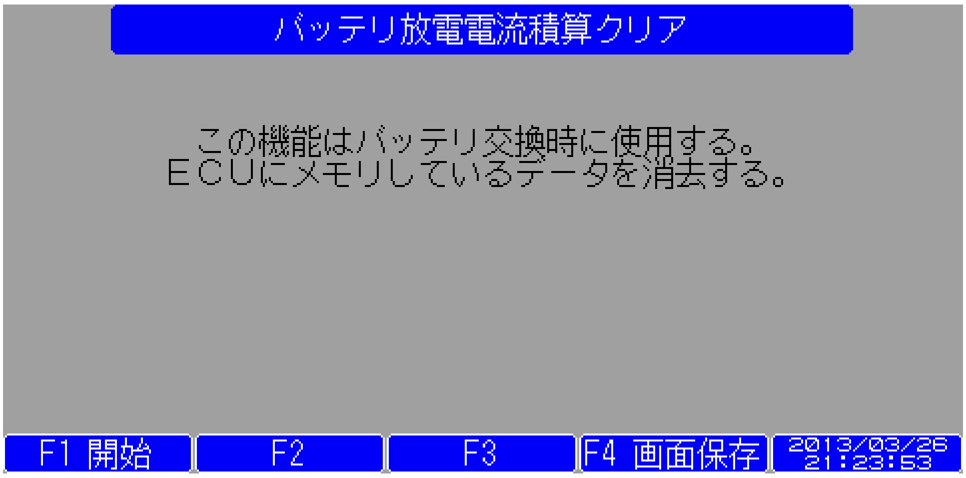
キー	機能
F1	「4.21.1.作業指示」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.22. バッテリ放電電流積算クリア

本機能は、バッテリ放電電流積算クリアに活用する機能です。

4.22.1. 作業指示

バッテリ放電電流蓄積クリア画面

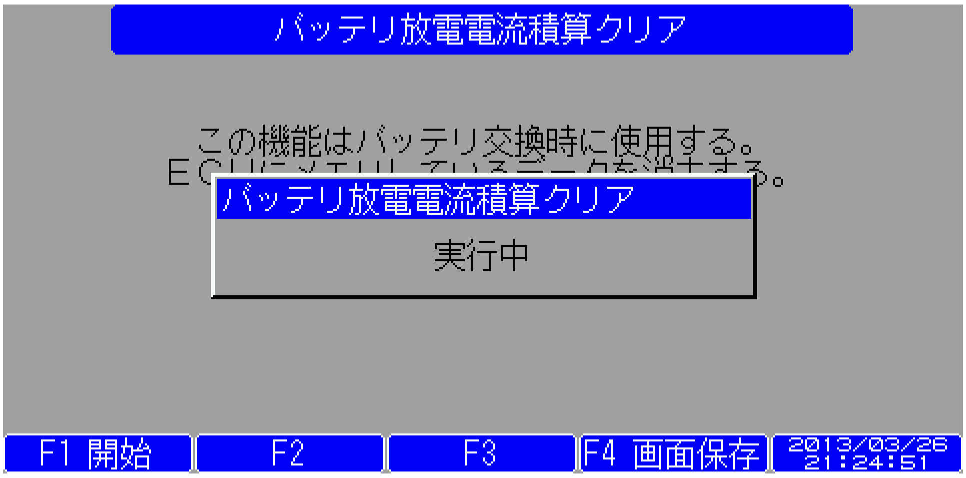


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.22.2.処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

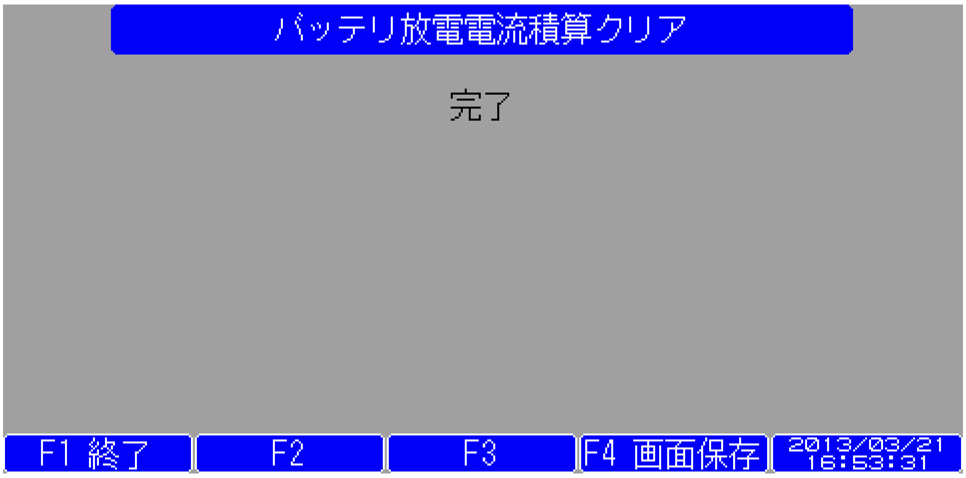
4.22.2. 処理要求

バッテリ放電電流積算クリア画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.22.3. 処理結果表示

バッテリ放電電流積算クリア　処理結果画面



<操作方法>

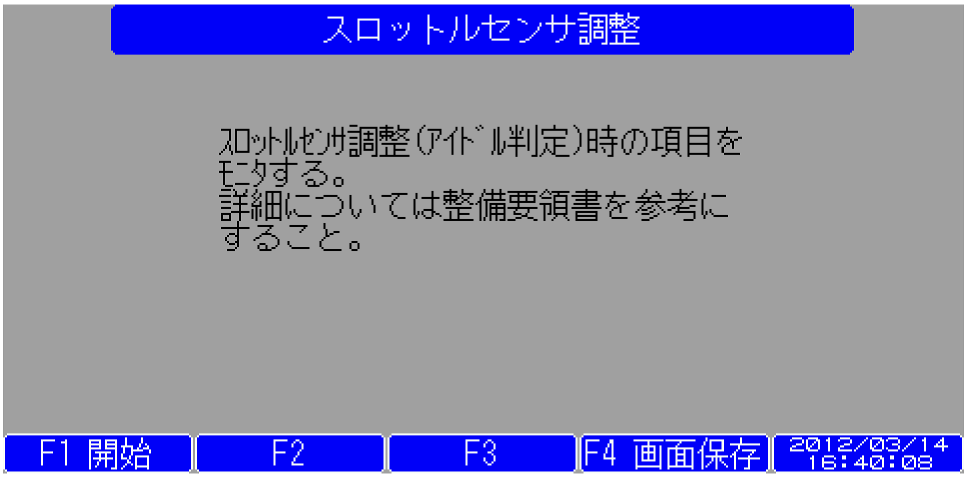
キー	機能
F1	「4.22.1.作業指示」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.23. スロットルセンサ調整

本機能は、スロットルセンサ調整をする為に活用する機能です。

4.23.1. 内容説明

作業サポートメニューで、スロットルセンサ調整を選択すると、内容説明画面に変わります。

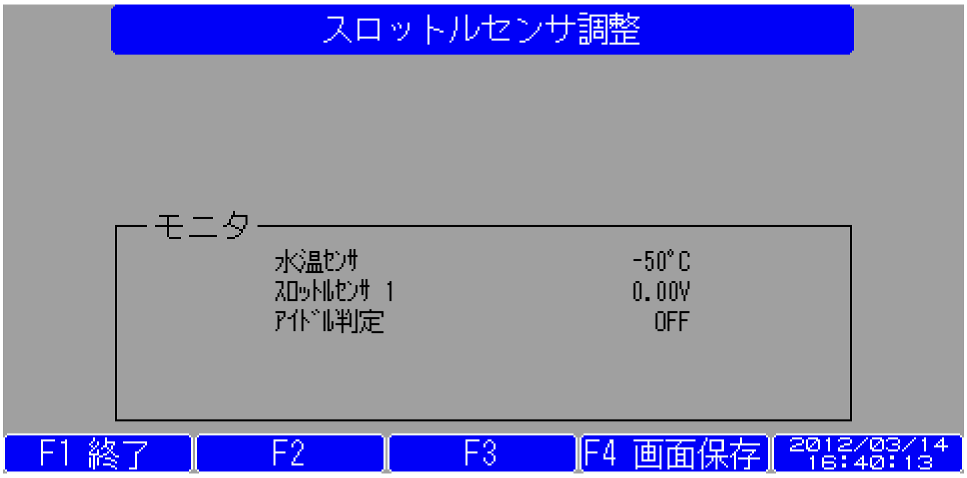


<操作方法>

F1	「4.23.2.モニタ画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.23.2. モニタ画面

モニタ画面を表示します。



<操作方法>

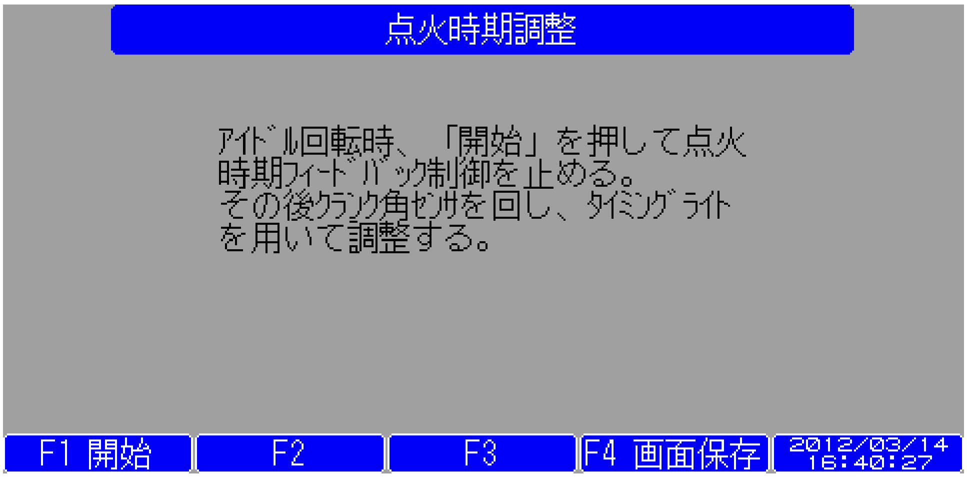
F1	「4.23.1.内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.24. 点火時期調整

本機能は、点火時期調整をする為に活用する機能です。

4.24.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、点火時期調整を選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

F1	「4.24.2.モニタ画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.24.2. モニタ画面

モニタ画面を表示します。

<操作方法>

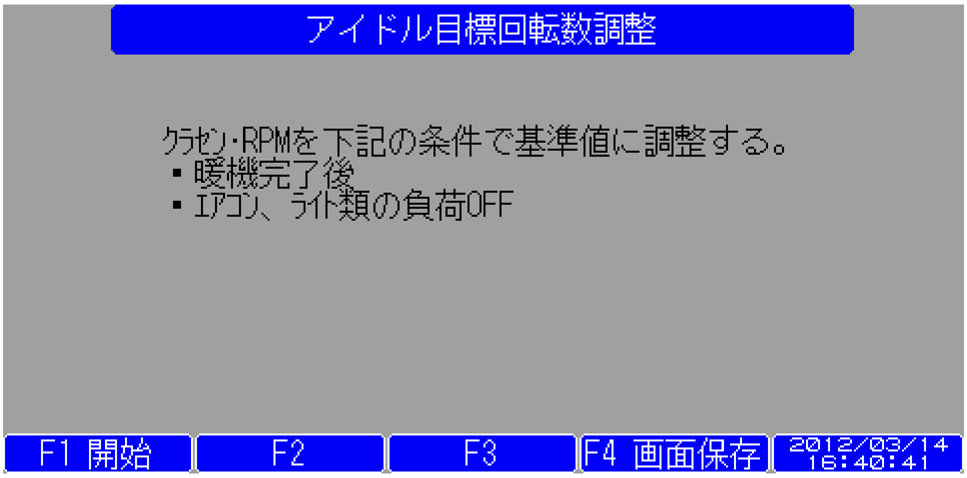
F1	「4.24.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.25. アイドル目標回転数調整

本機能は、アイドル目標回転数調整をする為に活用する機能です。

4.25.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、アイドル目標回転数調整を選択すると、内容説明画面に変わります。



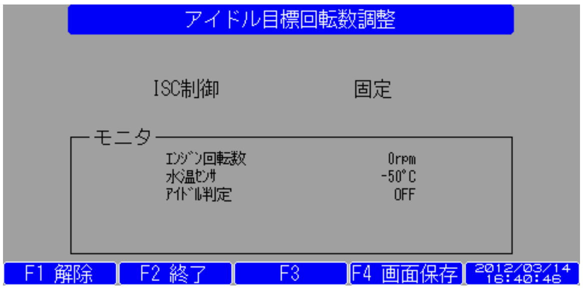
<操作方法>

F1	「4.25.2.モニタ画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

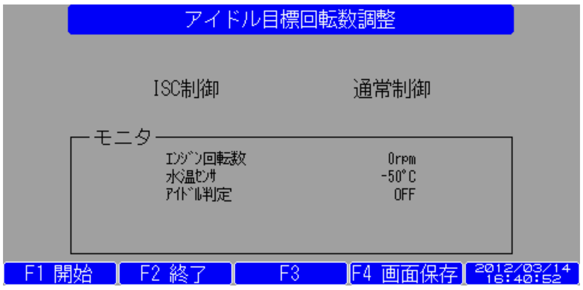
4.25.2. モニタ画面

モニタ画面を表示します。

制御固定時



通常制御時



<操作方法>

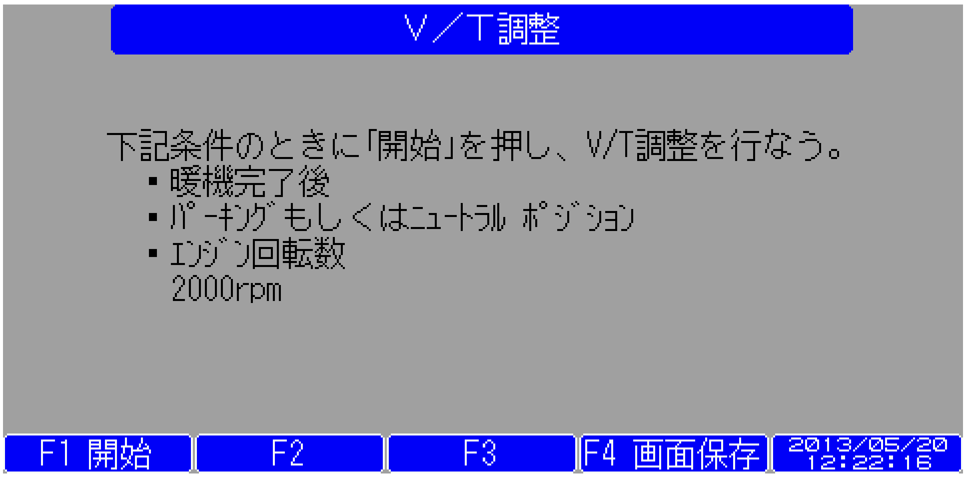
F1	解除	制御を終了し、通常制御時のモニタ画面を表示します。
	開始	制御を開始し、制御固定時のモニタ画面を表示します。
F2	「4.25.1.作業内容説明」に戻ります。	
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。	

4.26. V／T調整

本機能は、V/T調整を行う際に活用する機能です。

4.26.1. 作業内容説明

作業内容説明画面でF1キーを押すとモニタ画面表示に移ります。

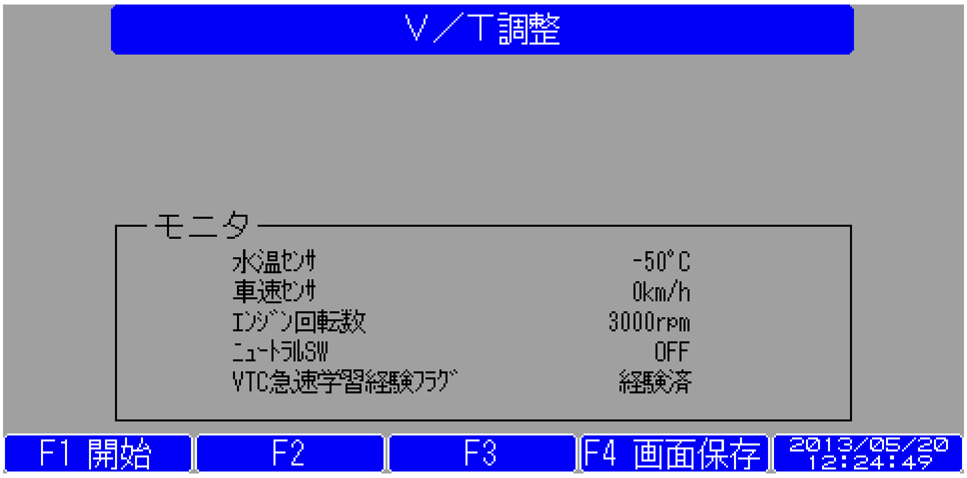


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.26.2. モニタ画面」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.26.2. モニタ画面

モニタ画面でF1を押すと、処理要求が実行されます。

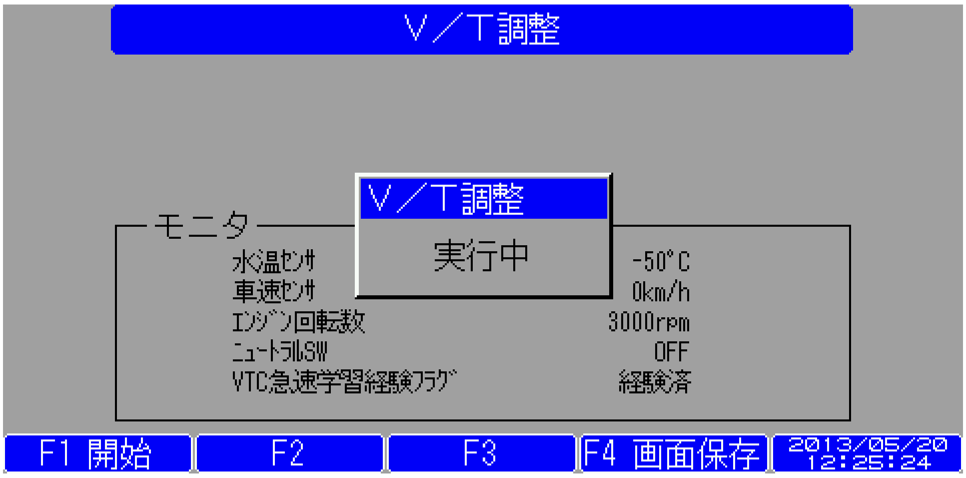


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.26.3. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

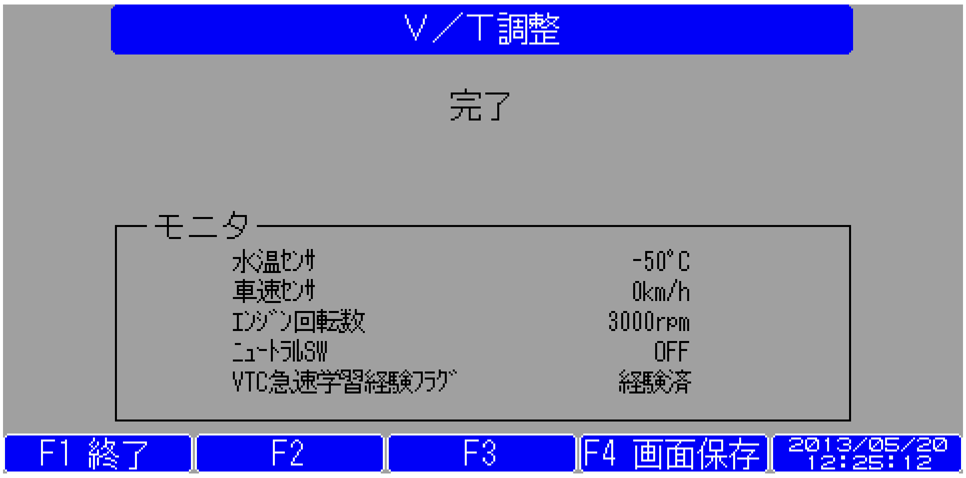
4.26.3. 処理要求

モニタ画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.26.4. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

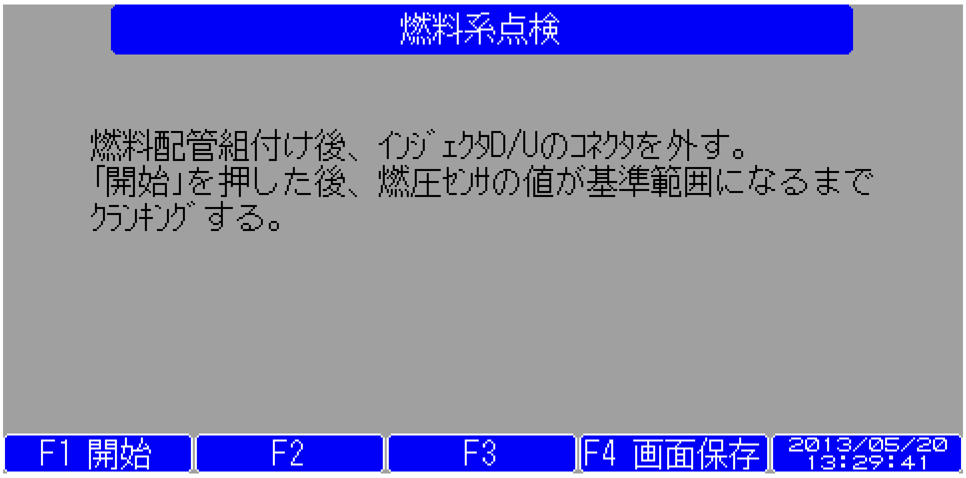
キー	機能
F1	「4.26.1. 作業内容」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.27. 燃料系点検

本機能は、燃料系点検を行う際に活用する機能です。

4.27.1. 作業内容説明

作業内容説明画面でF1を押すと、状態設定が実行されます。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.27.2. 状態設定実行」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.27.2. 状態設定実行

作業終了後、F1かCを押して状態設定を終了してください。

<操作方法>

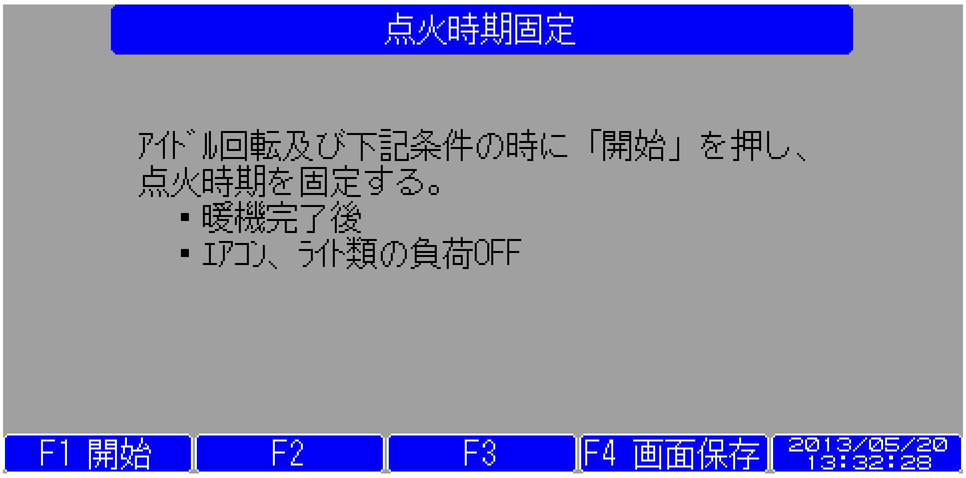
キー	機能
F1	状態設定を終了し、「4.27.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	状態設定を終了し、「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.28. 点火時期固定

本機能は、点火時期固定を行う際に活用する機能です。

4.28.1. 作業内容説明

作業内容説明画面でF1を押すと、状態設定が実行されます。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.28.2. 状態設定実行」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.28.2. 状態設定実行

作業終了後、F1かCを押して状態設定を終了してください。

<操作方法>

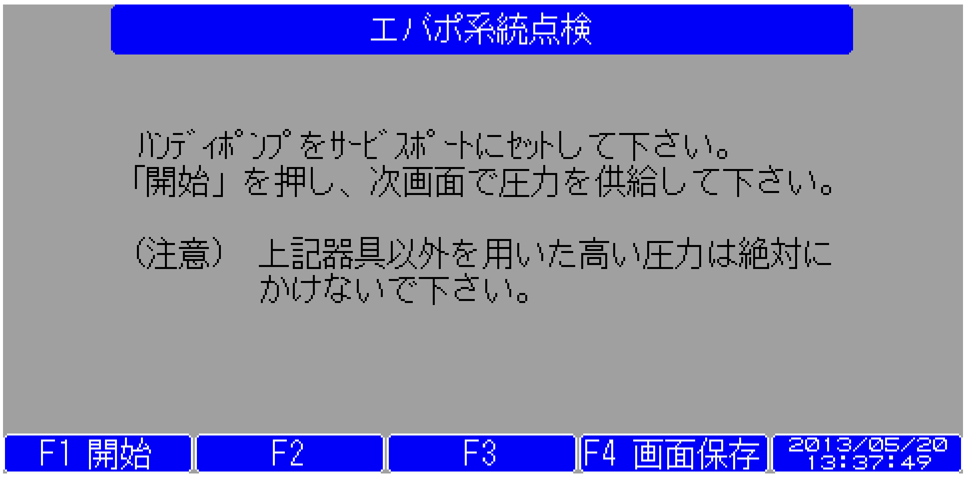
キー	機能
F1	状態設定を終了し、「4.28.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	状態設定を終了し、「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.29. エバポ系統点検

本機能は、エバポ系統点検を行う際に活用する機能です。

4.29.1. 作業内容説明

作業内容説明画面でF1を押すと、状態設定が実行されます。

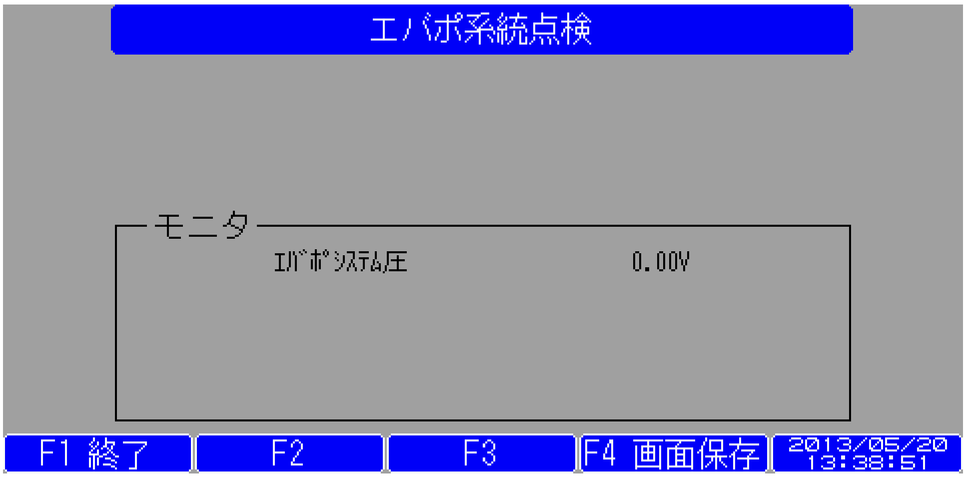


<操作方法>

キー	機能
F1	「4.29.2. 状態設定実行」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.29.2. 状態設定実行

作業終了後、F1かCを押して状態設定を終了してください。



<操作方法>

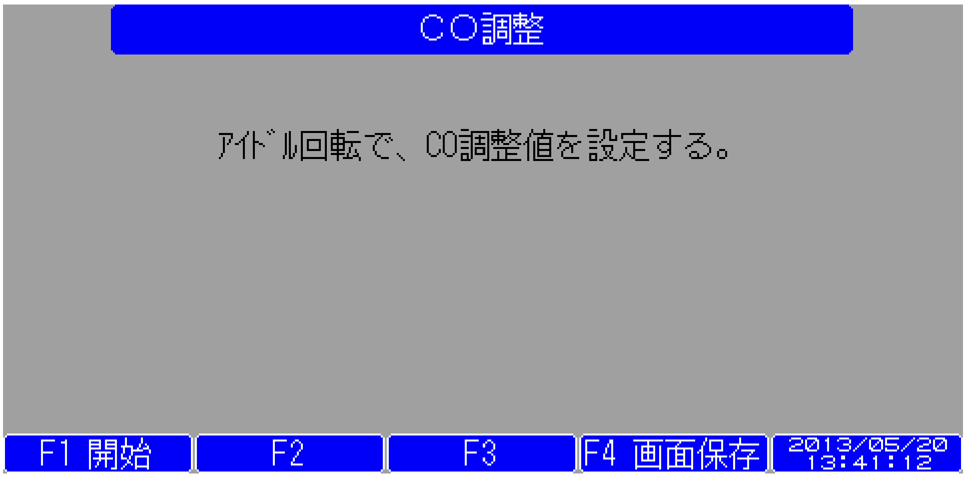
キー	機能
F1	状態設定を終了し、「4.29.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	状態設定を終了し、「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.30. CO調整

本機能は、CO調整値を変更する際に活用する機能です。

4.30.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、CO調整を選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.30.2. 調整値設定」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.30.2. 調整値設定

作業内容説明画面でF1を押すと、調整値設定画面が表示されます。

<操作方法>

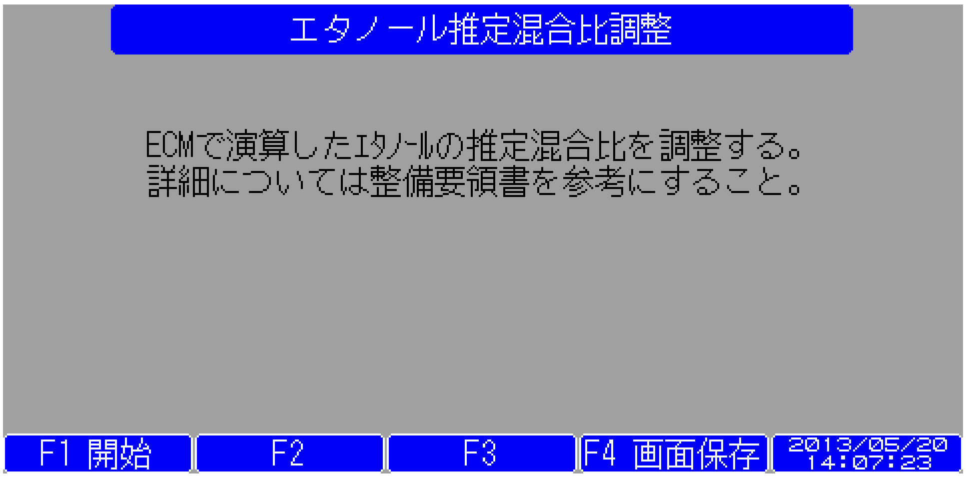
キー	機能
↑/↓	設定値を変更します。
F1	設定した値を車両ECUに書き込みます。
F2	「4.30.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.31. エタノール推定混合比調整

本機能は、エタノール推定混合比調整値を変更する際に活用する機能です。

4.31.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、エタノール推定混合比調整を選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.31.2. 作業内容説明」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.31.2. 調整値設定

作業内容説明画面でF1を押すと、調整値設定画面が表示されます。

<操作方法>

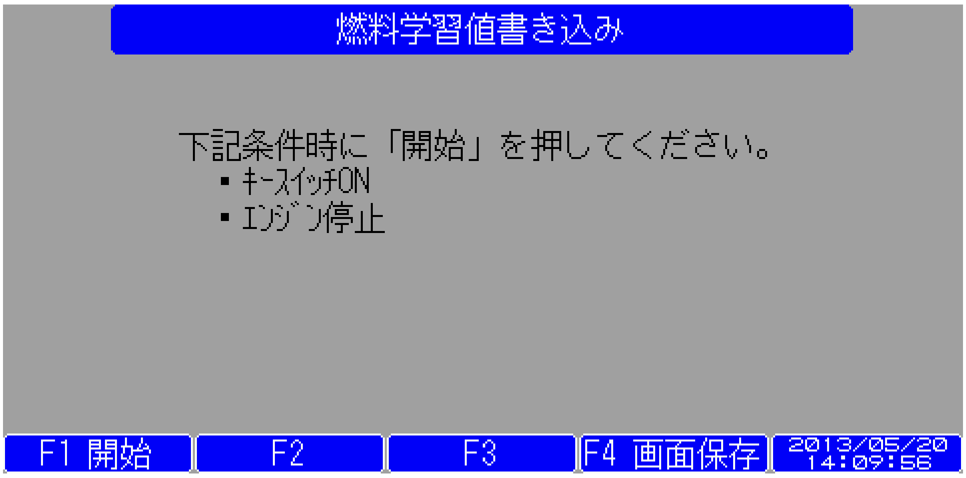
キー	機能
↑/↓	設定値を変更します。
F1	設定した値を車両ECUに書き込みます。
F2	「4.31.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.32. 燃料学習値書き込み

本機能は、燃料学習値書き込みを行う際に活用する機能です。

4.32.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、燃料学習値書き込みを選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.32.2. 調整値設定」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.32.2. 調整値設定

作業内容説明画面でF1を押すと、調整値設定画面が表示されます。

<操作方法>

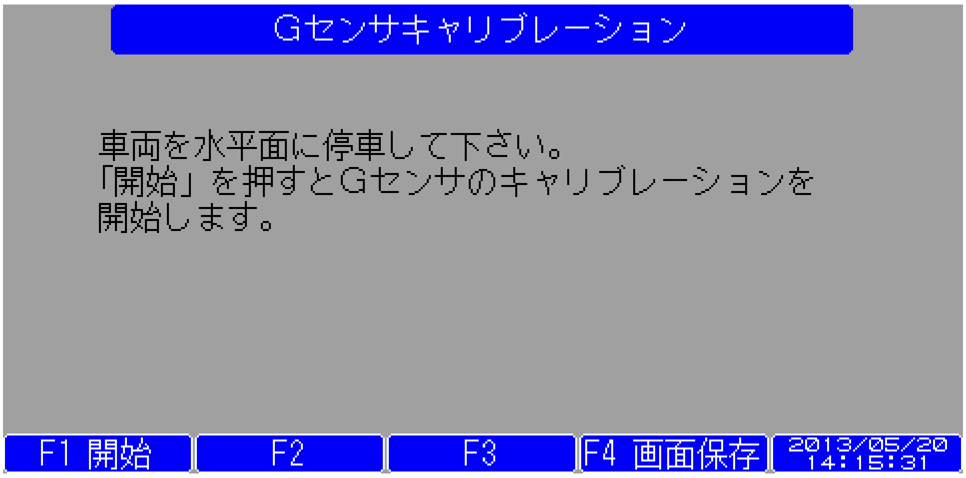
キー	機能
↑/↓	設定値を変更します。
F1	設定した値を車両ECUに書き込みます。
F2	「4.32.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.33. Gセンサキャリブレーション

本機能は、Gセンサキャリブレーションに活用する機能です。

4.33.1. 作業内容説明

作業内容説明画面でF1を押すと、処理要求が実行されます。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.33.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.33.2. 処理要求

作業内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

4.33.3. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。

<操作方法>

キー	機能
F1	「4.33.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.34. SCマグネットクラッチ締結回数クリア

本機能は、SCマグネットクラッチ締結回数クリアに活用する機能です。

4.34.1.作業内容説明

作業内容説明画面でF1を押すと、処理要求が実行されます。

<操作方法>

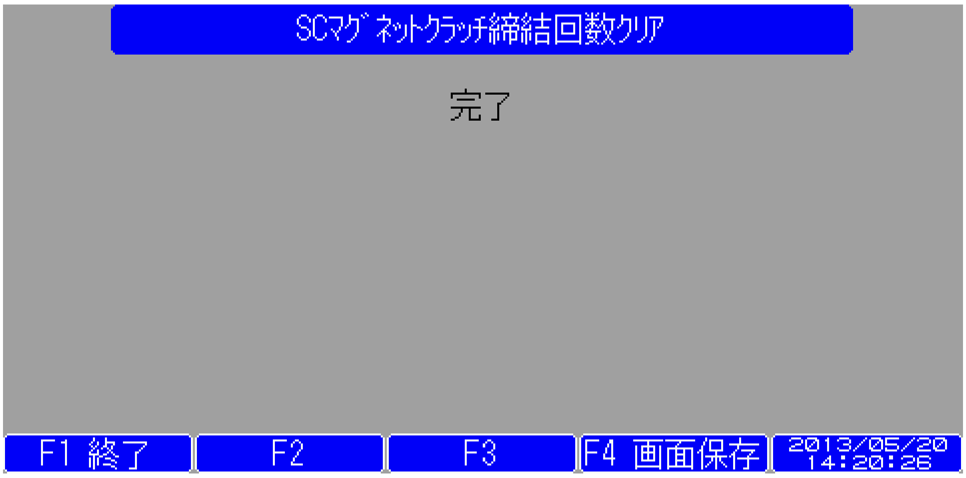
キー	機能
F1	「4.34.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.34.2.処理要求

作業内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

4.34.3.処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

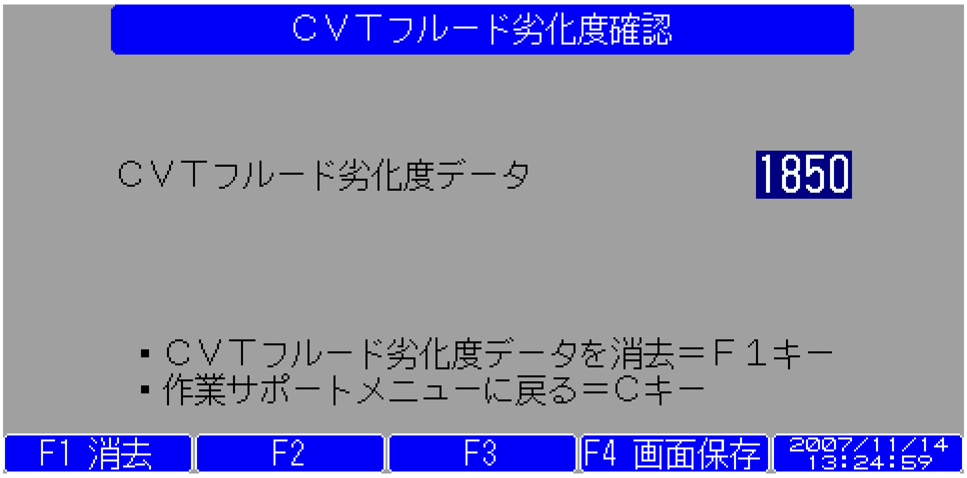
キー	機能
F1	「4.34.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.35. CVTフルード劣化度確認

本機能は、劣化度データによるフルード交換の判定や、フルード交換後に劣化度データのクリアをする為に活用する機能です。

4.35.1. CVTフルード劣化度データ確認画面

作業サポートメニューで、CVTフルード劣化度確認を選択すると、CVTフルード劣化度データ確認画面に変わります。



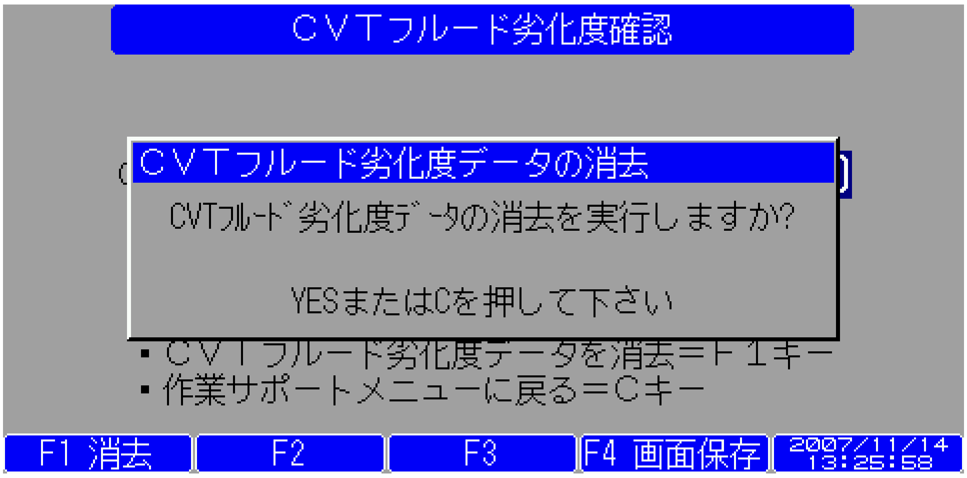
※ CVTフルード交換の目安となる劣化度データの値については、対象車両の整備マニュアルをご参照ください。

<操作方法>

F1	「4.35.2.CVTフルード劣化度データクリア」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.35.2. CVTフルード劣化度データクリア

CVTフルード交換後、CVTフルード劣化度データをクリアします。



<操作方法>

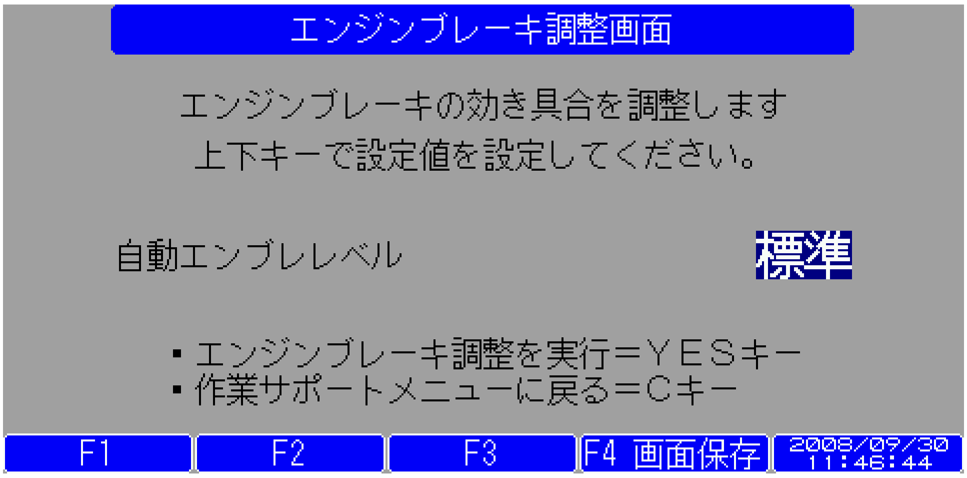
YES	クリアを実行し「4.35.1.CVTフルード劣化度データ確認画面」に戻ります。
C	処理を中止し「4.35.1.CVTフルード劣化度データ確認画面」に戻ります。

4.36. エンジンブレーキ調整

本機能は、車両のエンジンブレーキの効き具合を調整する為に活用する機能です。

4.36.1. エンジンブレーキレベルの設定

作業サポートメニューで、エンジンブレーキ調整を選択すると、エンジンブレーキレベルの設定画面に変わります。

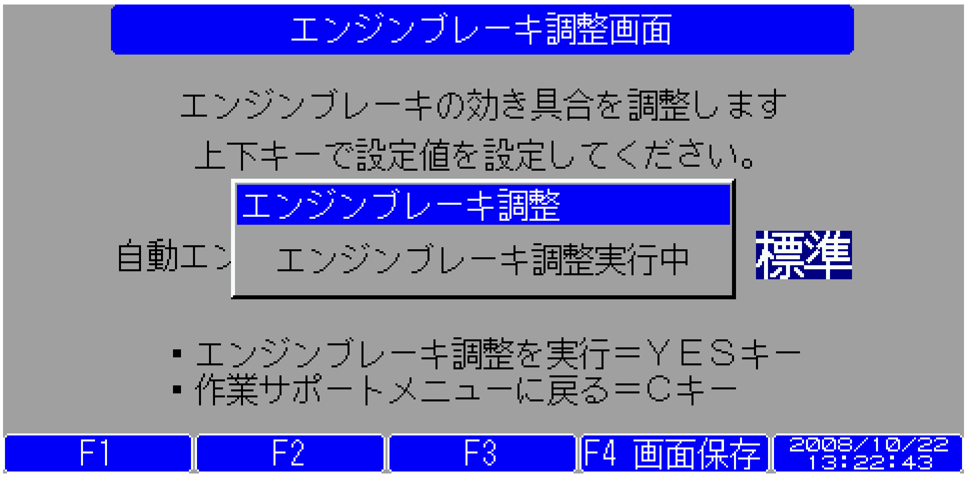


<操作方法>

↑/↓	設定値を変更します。
YES	選択した設定値でエンジンブレーキ調整を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

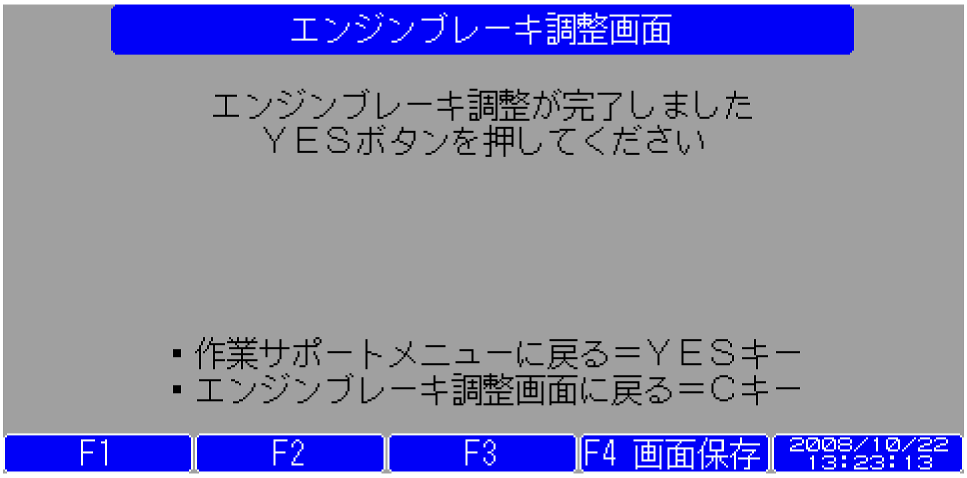
4.36.2. エンジンブレーキ調整実行

エンジンブレーキレベルの設定画面でYESを押すと、エンジンブレーキ調整が実行されます。



4.36.3.エンジンブレーキ調整完了

エンジンブレーキ調整が完了すると、完了画面に表示されます。



<操作方法>

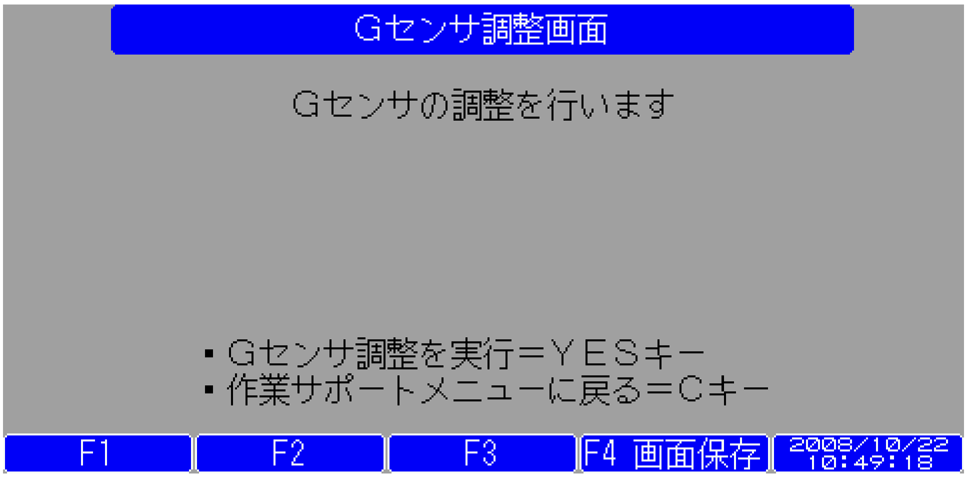
YES	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
C	「4.36.1.エンジンブレーキレベルの設定」に戻ります。

4.37. Gセンサ調整

本機能は、車両のGセンサを調整する為に活用する機能です。

4.37.1.Gセンサ調整実行画面

作業サポートメニューで、Gセンサ調整を選択すると、実行画面に変わります。

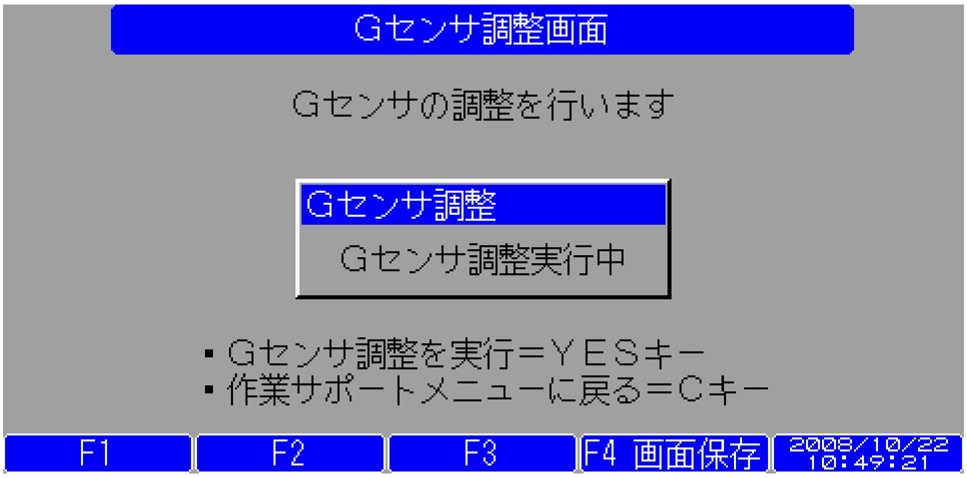


<操作方法>

YES	Gセンサ調整を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

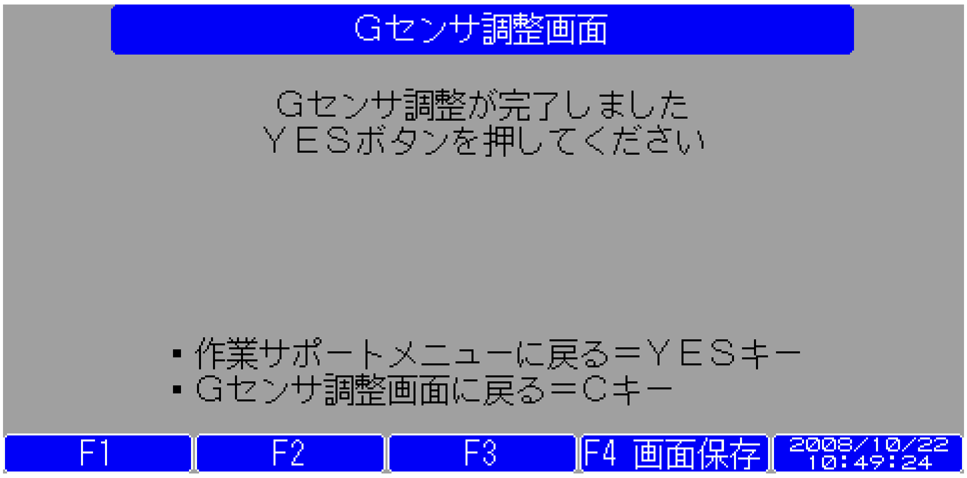
4.37.2.Gセンサ調整実行

実行画面でYESを押すと、Gセンサ調整が実行されます。



4.37.3.Gセンサ調整結果確認

Gセンサ調整が完了すると、結果が画面に表示されます。



<操作方法>

YES	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
C	「4.37.1.Gセンサ調整実行画面」に戻ります。

4.38. エコモードリセット

本機能は、エコモードをデフォルト状態にリセットする際に活用する機能です。

4.38.1. 内容説明

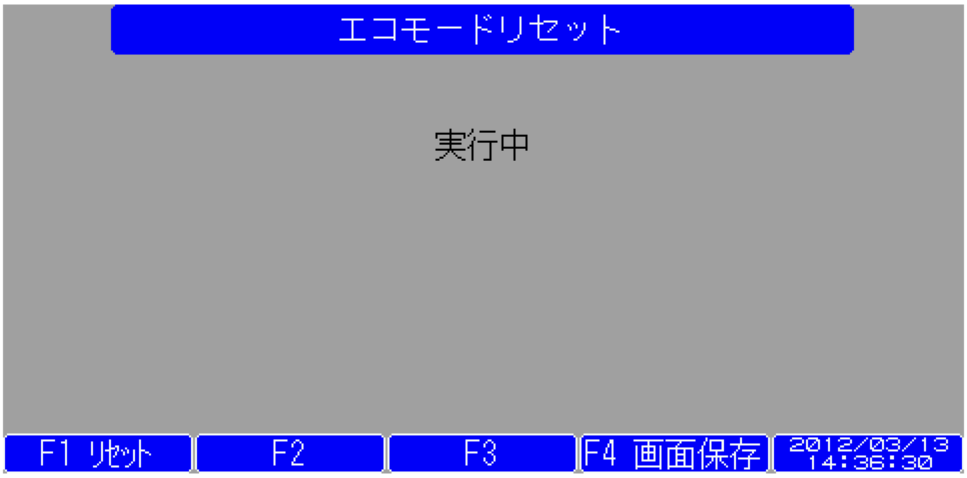
作業サポートメニューで、エコモードリセットを選択すると、内容説明画面に変わります。

<操作方法>

F1	「4.38.2.リセット実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.38.2. リセット実行

内容説明画面でF1を押すと、エコモードのリセットが実行されます。



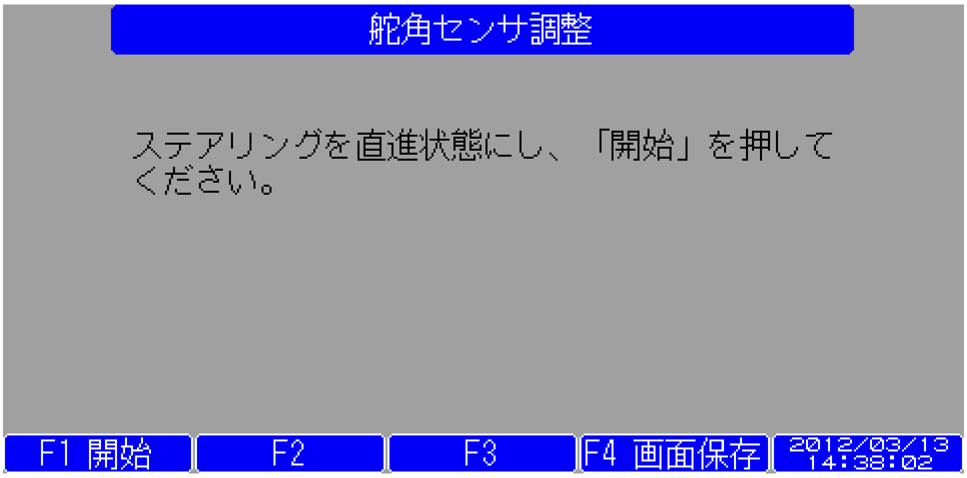
リセット完了後、内容説明画面に戻ります。

4.39. 舵角センサ調整

本機能は、空燃比学習データのクリアをする為に活用する機能です。

4.39.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、舵角センサ調整を選択すると、作業内容説明画面に変わります。

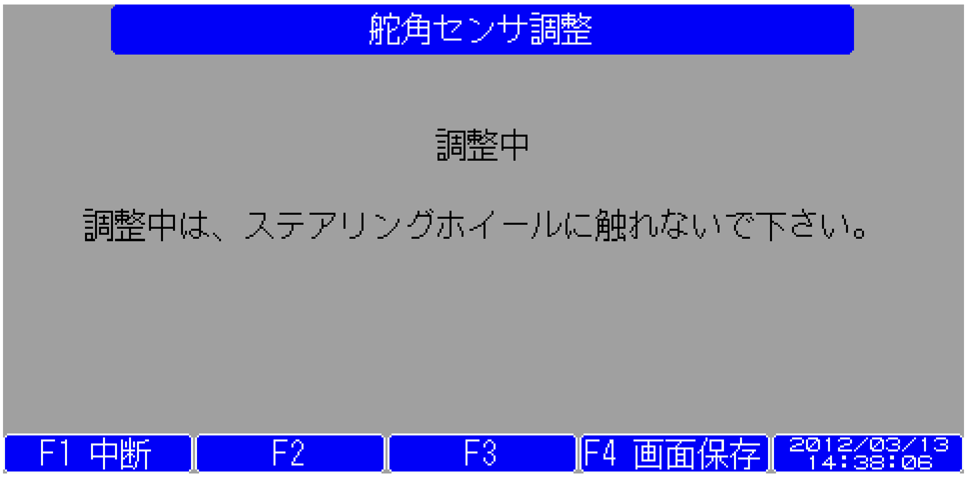


<操作方法>

F1	「4.39.2.調整実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.39.2. 調整実行

作業内容説明画面でF1を押すと、舵角センサの調整が実行されます。

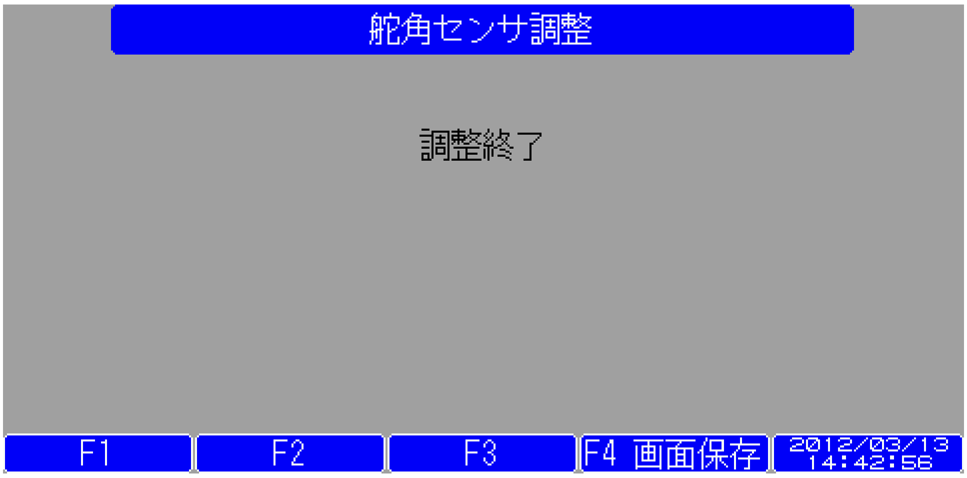


<操作方法>

F1	調整を中止し、「4.39.1.作業内容説明」に戻ります。
C	調整を中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.39.3. 調整結果確認

調整が完了すると、結果が画面に表示されます。



<操作方法>

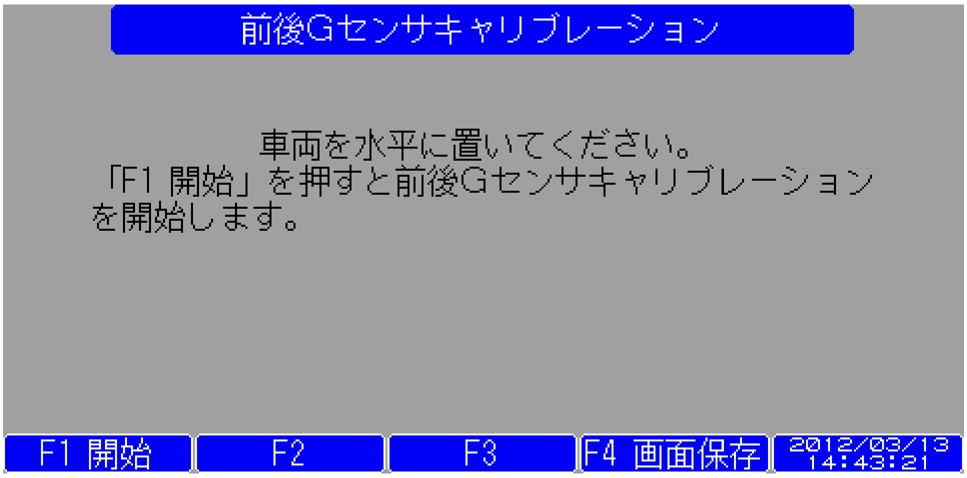
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.40. 前後Gセンサキャリブレーション

本機能は、前後Gセンサの調整を行う為に活用する機能です。

4.40.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、前後Gセンサキャリブレーションを選択すると、作業内容説明画面に変わります。

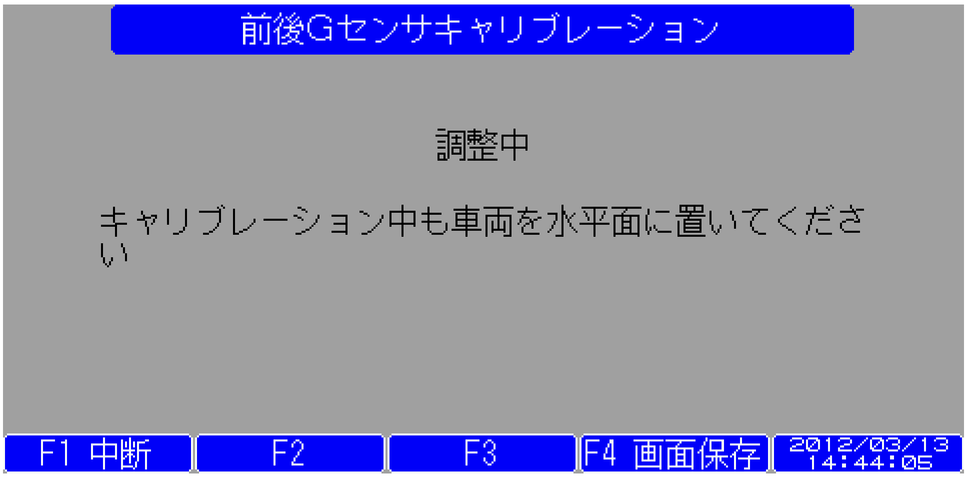


<操作方法>

F1	「4.40.2.調整実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.40.2. 調整実行

作業内容説明画面でF1を押すと、前後Gセンサの調整が実行されます。



<操作方法>

F1	調整を中止し、「4.40.1.作業内容説明」に戻ります。
C	調整を中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.40.3. 調整結果確認

調整が完了すると、結果が画面に表示されます。

<操作方法>

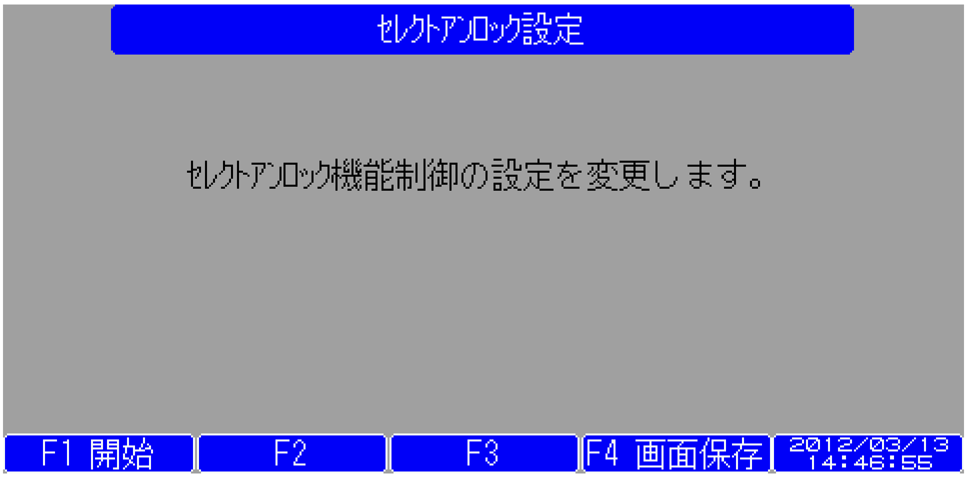
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.41. ボディ制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.41.1. 内容説明

作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。



<操作方法>

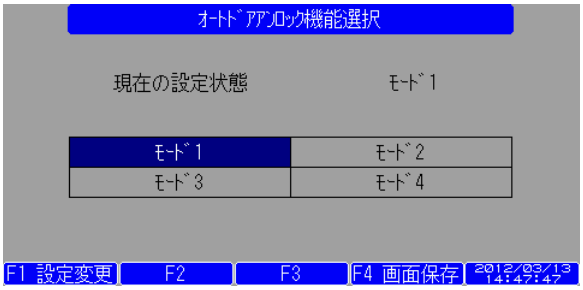
F1	「4.41.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.41.2. 設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。設定可能な項目の数によって表示される画面が異なります。

設定値 2パターン(ON/OFF等)

設定値 2パターン以外(モード1,2,3,4等)

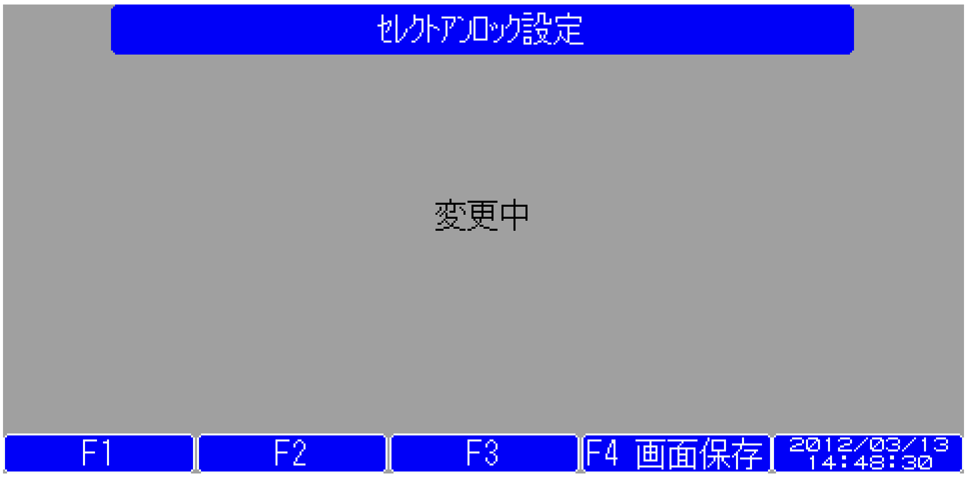


<操作方法>

↑/↓/←/→	カーソルを移動します。(2パターン以外の場合のみ)
F1	「4.41.3.設定変更」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.41.3. 設定変更

設定画面でF1を押すと、設定値の変更が実行されます。



4.41.4. 設定変更結果確認

設定変更が完了すると、結果が画面に表示されます。

<操作方法>

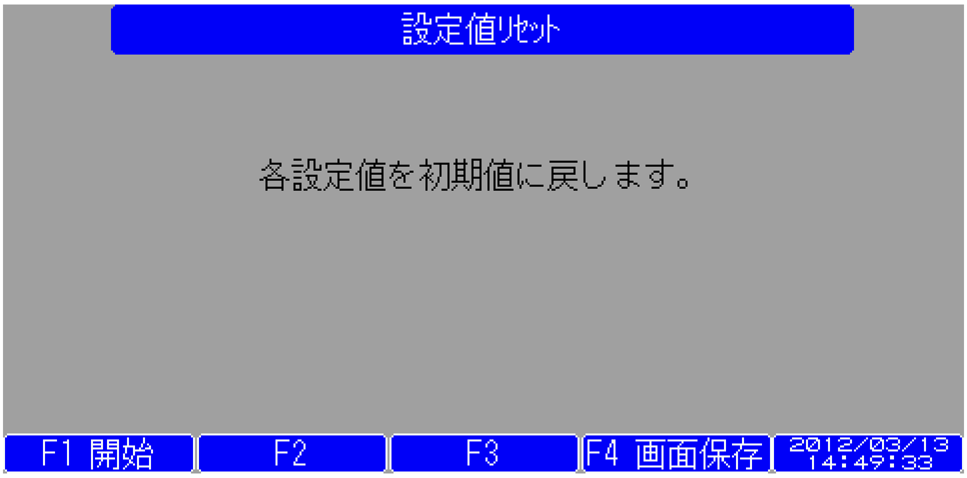
F1	「4.41.1.内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.42. 設定値リセット

本機能は、各種設定情報のリセットをする為に活用する機能です。

4.42.1. 内容説明

作業サポートメニューで、設定値リセットを選択すると、内容説明画面に変わります。

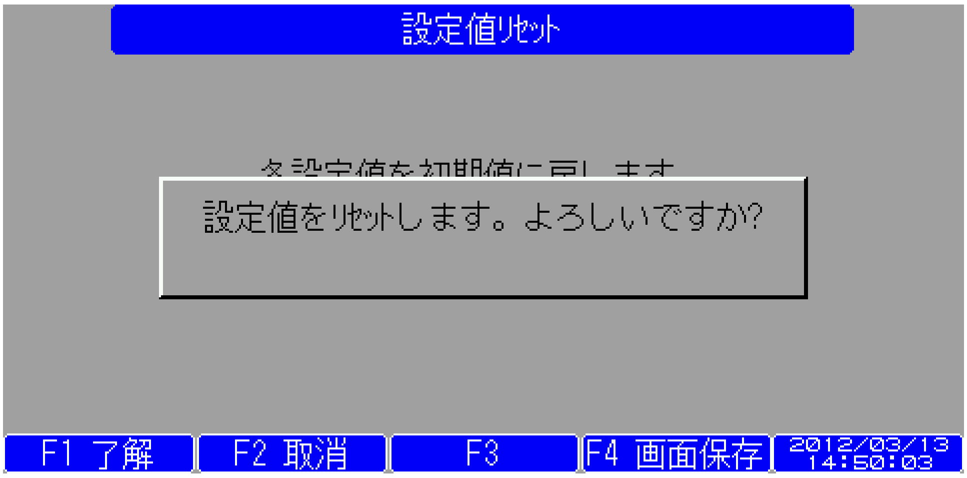


<操作方法>

F1	「4.42.2.リセット確認」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.42.2. リセット確認

モニタ画面を表示します。



<操作方法>

F1	「4.42.3.リセット実行」を実行します。
F2	「4.42.1.内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.42.3. リセット実行
リセット確認画面でF1を押すと、設定値のリセットが実行されます。

4.42.4. リセット結果確認
クリアが完了すると、結果が画面に表示されます。

<操作方法>

F1	「4.42.1.内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.43. 室内アンテナ診断

本機能は、室内アンテナの診断を行う為に活用する機能です。

4.43.1. 内容説明

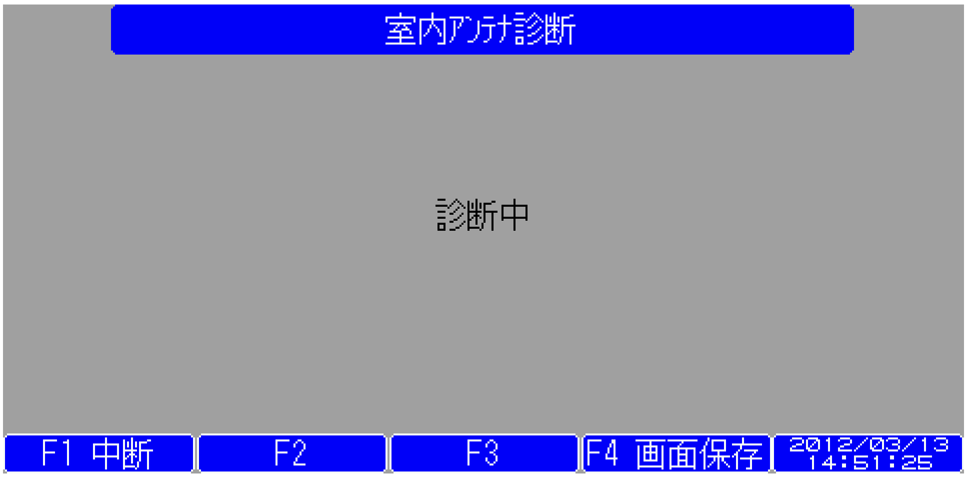
作業サポートメニューで、室内アンテナ診断を選択すると、内容説明画面に変わります。

<操作方法>

F1	「4.43.2.診断実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.43.2. 診断実行

作業内容説明画面でF1を押すと、室内アンテナの診断が実行されます。



<操作方法>

F1	診断を中止し、「4.43.1.内容説明」に戻ります。
C	診断を中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.43.3. 診断結果確認

診断が完了すると、結果が画面に表示されます。

<操作方法>

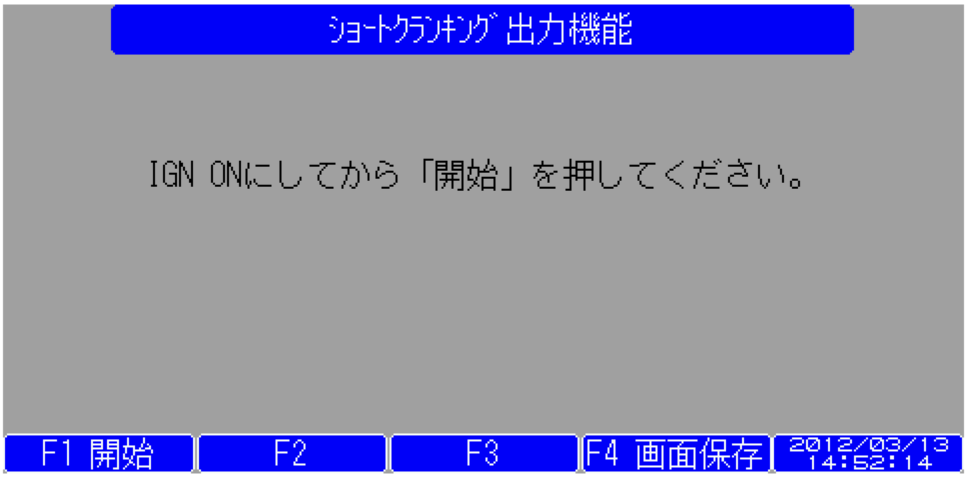
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.44. ショートクランキング出力機能

本機能は、ショートクランキング出力時間の設定を行う為に活用する機能です。

4.44.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、ショートクランキング出力機能を選択すると、作業内容説明画面に変わります。



<操作方法>

F1	「4.44.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.44.2.設定画面

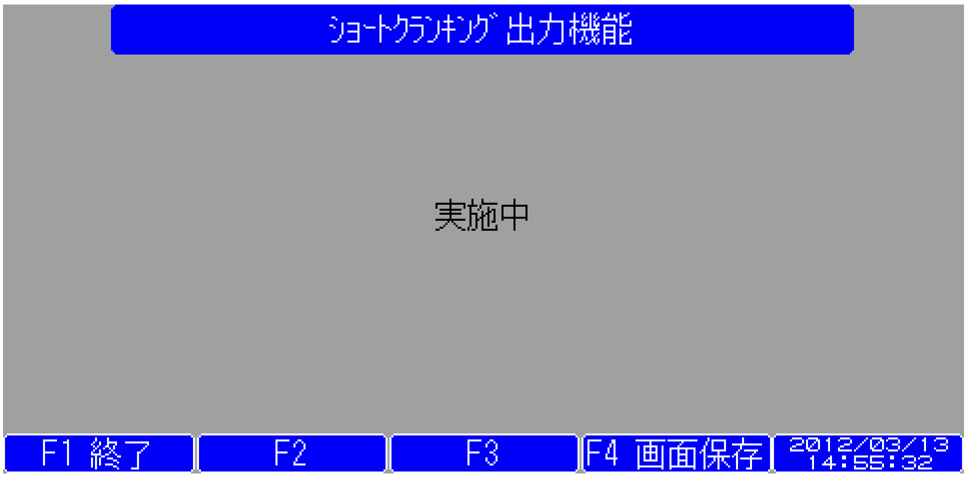
作業内容説明画面でF1を押すと、設定画面が表示されます。

<操作方法>

←/→	カーソルを移動します。
F1	カーソルがある項目で「4.44.3.設定実行」を実行します。
F2	「4.44.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.44.3. 設定実行

設定画面でF1を押すと、ショートクランキング出力時間設定が実行されます。

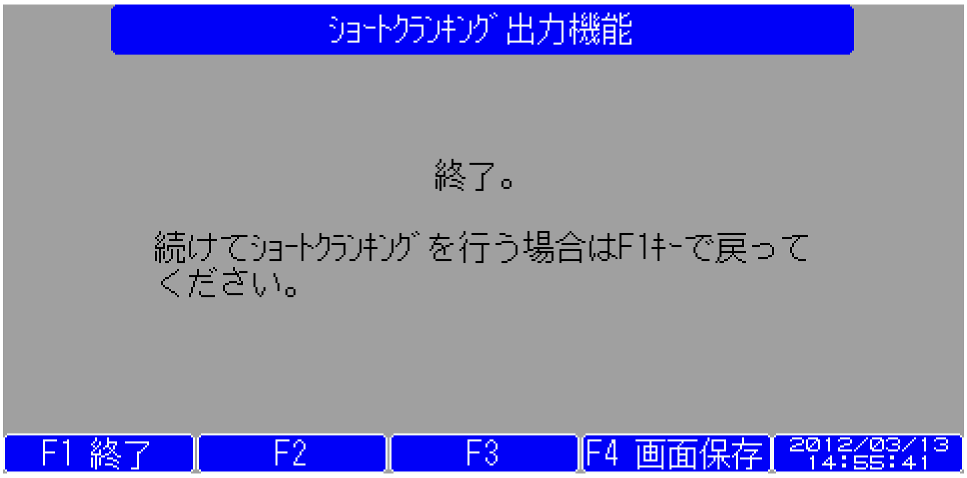


<操作方法>

F1	設定を中止し、「4.44.1.作業内容説明」に戻ります。
C	設定を中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.44.4. 設定結果確認

設定が完了すると、結果が画面に表示されます。



<操作方法>

F1	「4.44.1.作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.45. リモコンID確認／インテリジェントキーID確認／ステアリングロックID確認

本機能は、対象のリモコンが対応するキー情報を調べる為に活用する機能です。

4.45.1. ID確認画面

作業サポートメニューで、リモコンID確認及びインテリジェントキーID確認及びステアリングロックID確認を選択すると、ID確認画面に変わります。

リモコンID確認

インテリジェントキーID確認

ステアリングロックID確認

<操作方法>

F1/C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

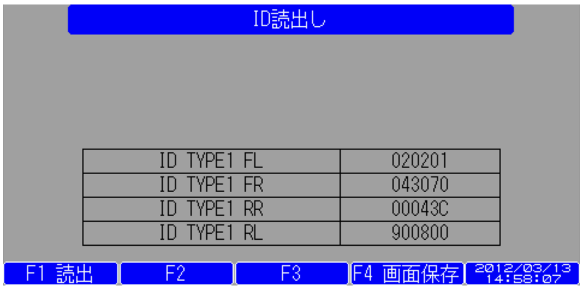
4.46. ID読出し／キャンセル要因／自動キャンセル要因

本機能は、車両ECUに記憶されたID情報を確認する為に活用する機能です。

4.46.1. ID確認画面

作業サポートメニューで、ID読出し及びキャンセル要因、自動キャンセル要因を選択すると、
IDまたはキャンセル要因確認画面に変わります。

ID読出し



キャンセル要因／自動キャンセル要因

<操作方法>

F1	IDまたはキャンセル要因の読出しを実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.47. 防盗アラームトリガ設定(作動履歴)

本機能は、防盗アラームの作動履歴を確認する為に活用する機能です。

4.47.1. 設定確認画面

作業サポートメニューで、防盗アラームトリガ設定(作動履歴)を選択すると、設定確認画面に変わります。

<操作方法>

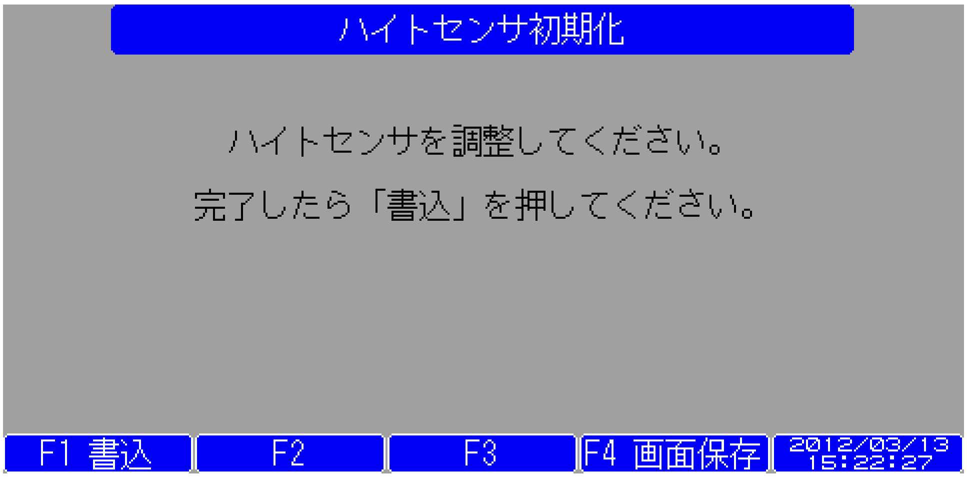
F1/C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。
F2	作動履歴のクリアを実行します。

4.48. ハイトセンサ初期化

本機能は、ハイトセンサの初期化を行う為に活用する機能です。

4.48.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで、ハイトセンサ初期化を選択すると、作業内容説明画面に変わります。

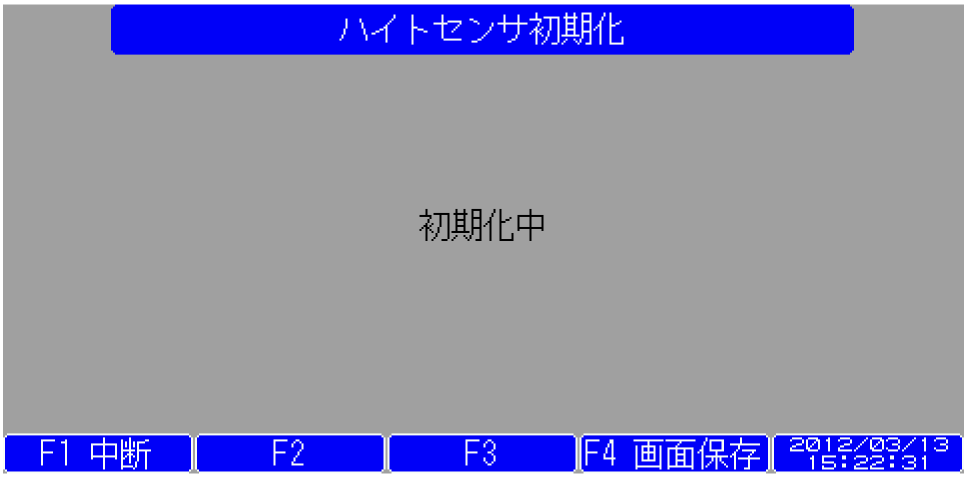


<操作方法>

F1	「4.48.2.初期化実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.48.2. 初期化実行

作業内容説明画面でF1を押すと、ハイトセンサの初期化が実行されます。



<操作方法>

F1	初期化を中止し、「4.48.1.作業内容説明」に戻ります。
C	初期化を中止し、「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.48.3. 調整結果確認

初期化が完了すると、結果が画面に表示されます。

<操作方法>

F1/C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.49. IPDM E/R制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.49.1.内容説明

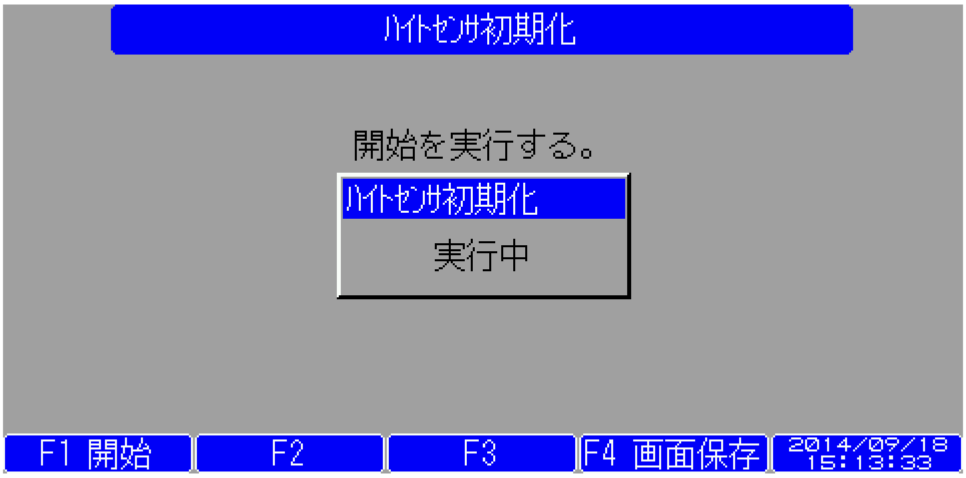
作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

<操作方法>

F1	「4.49.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

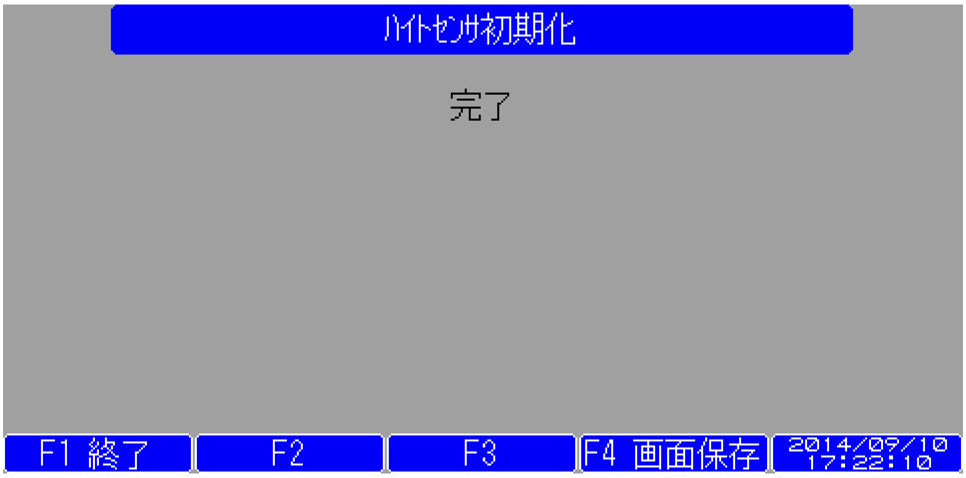
4.49.2. 処理要求

作業内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.49.3. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.49.1. 内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.50. HVAC制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.50.1. 内容説明

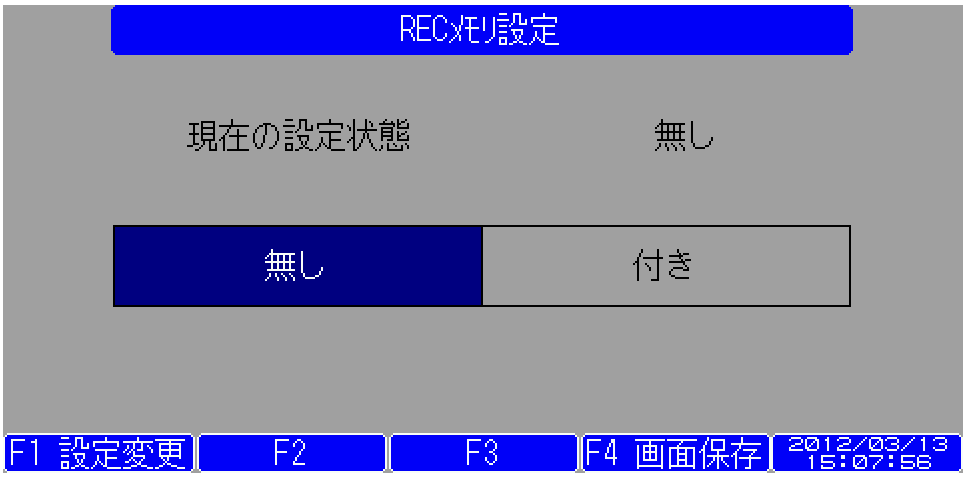
作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

<操作方法>

F1	「4.50.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.50.2. 設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。



<操作方法>

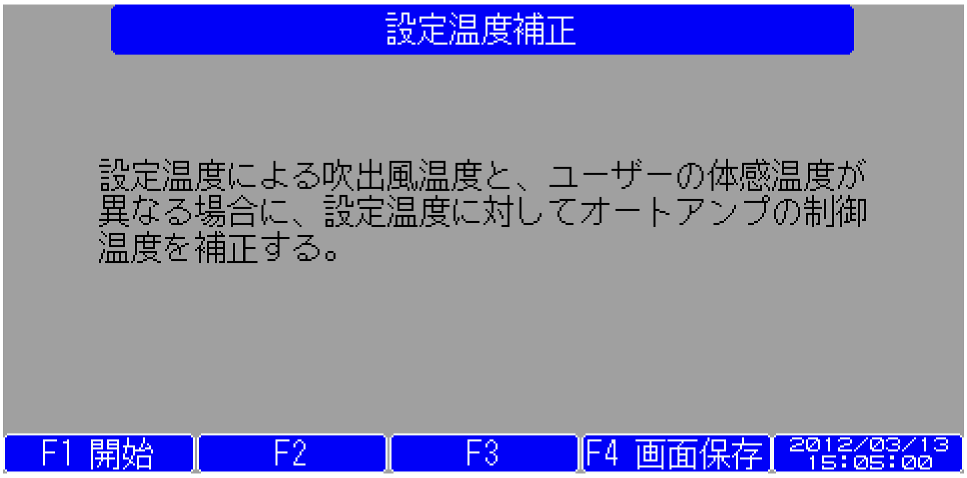
↑/↓/←/→	カーソルを移動します。
F1	現在カーソルがある項目で設定変更を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.51. 設定温度補正

本機能は、オートアンプの制御温度を補正する為に活用する機能です。

4.51.1.内容説明

作業サポートメニューで、設定温度補正を選択すると、内容説明画面に変わります。



<操作方法>

F1	「4.51.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.51.2.設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。

<操作方法>

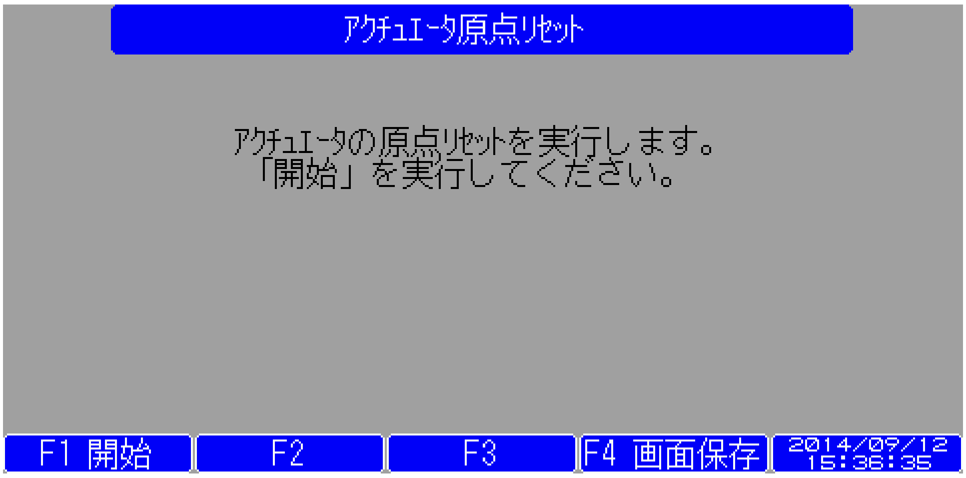
F1	「4.51.1.内容説明」に戻ります。
F2	現在の設定値に+0.5℃した値で補正を実行します。
F3	現在の設定値に−0.5℃した値で補正を実行します。
F4	現在の設定値を車両ECUに書込みます。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.52. アクチュエータ原点リセット

本機能は、アクチュエータの原点リセットをする為に活用する機能です。

4.52.1.内容説明

作業サポートメニューで、アクチュエータ原点リセットを選択すると、内容説明画面に変わります。



<操作方法>

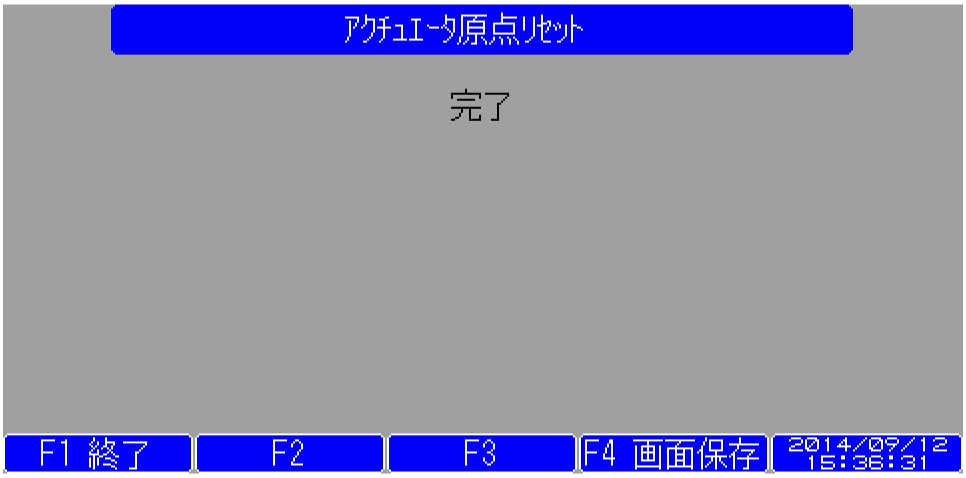
F1	「4.52.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.52.2. 処理要求

内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。

4.52.3. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

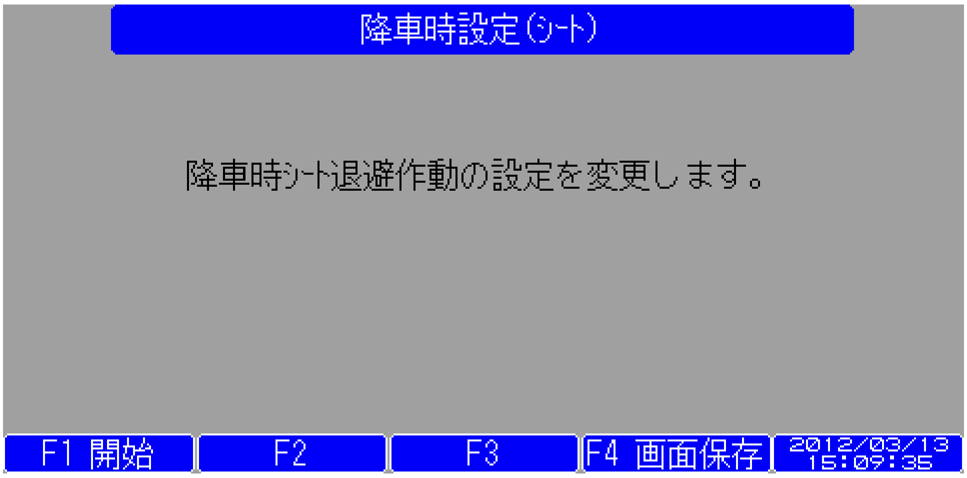
キー	機能
F1	「4.52.1. 内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.53. ドライブポジショナ制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.53.1. 内容説明

作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

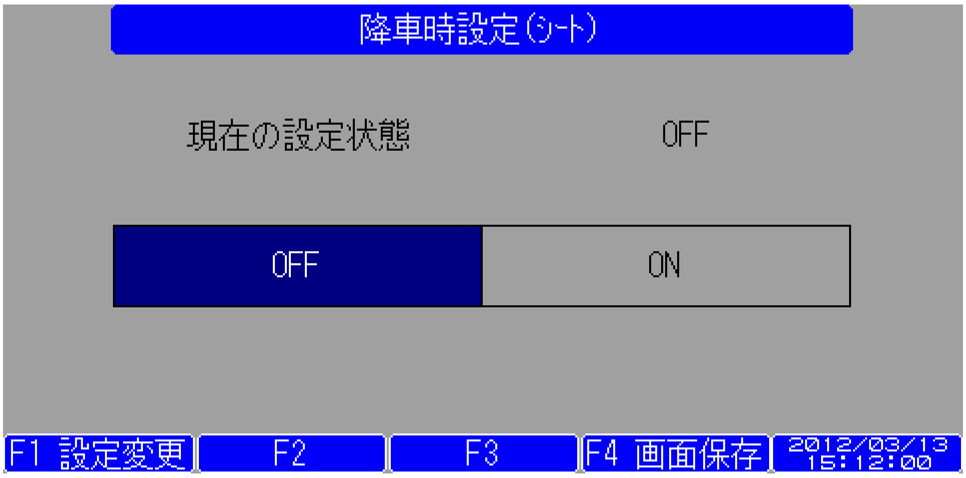


<操作方法>

F1	「4.53.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.53.2. 設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。



<操作方法>

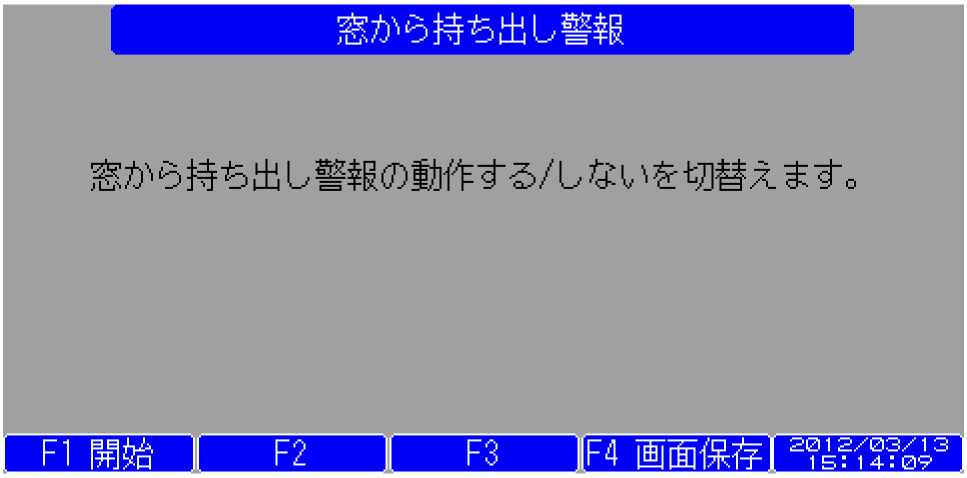
↑/↓/←/→	カーソルを移動します。
F1	現在カーソルがある項目で設定変更を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.54. インテリジェントキー制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.54.1.内容説明

作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

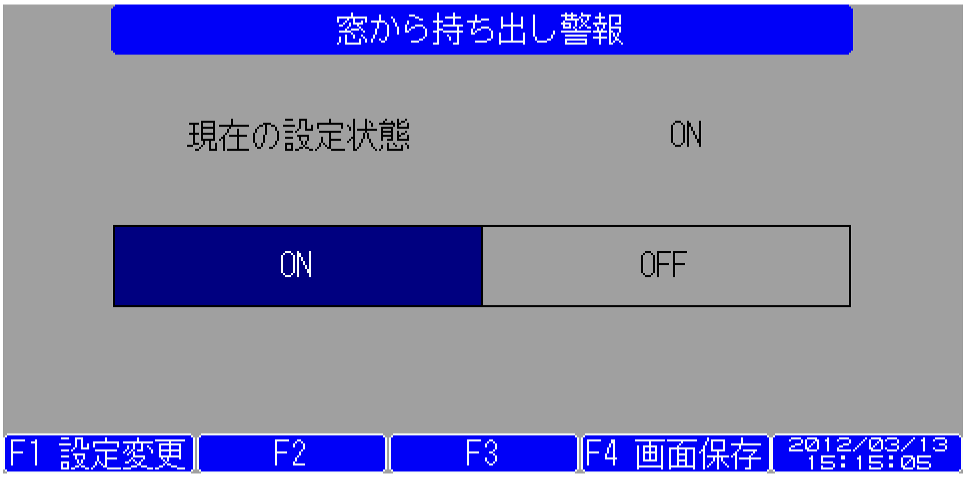


<操作方法>

F1	「4.54.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.54.2.設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。



<操作方法>

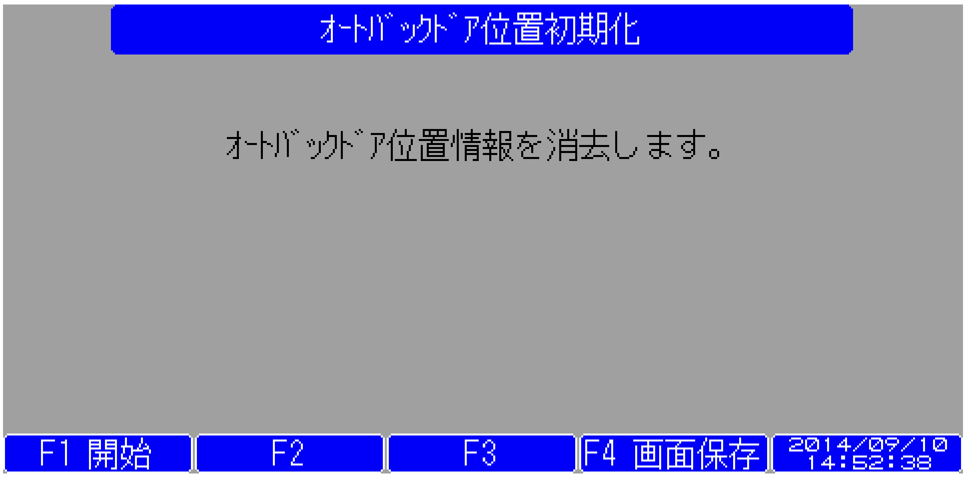
↑/↓/←/→	カーソルを移動します。
F1	現在カーソルがある項目で設定変更を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.55. オートバックドア位置初期化

本機能は、オートバックドア位置の初期化をする為に活用する機能です。

4.55.1.内容説明

作業サポートメニューでオートバックドア位置初期化を選択すると、内容説明画面に変わります。

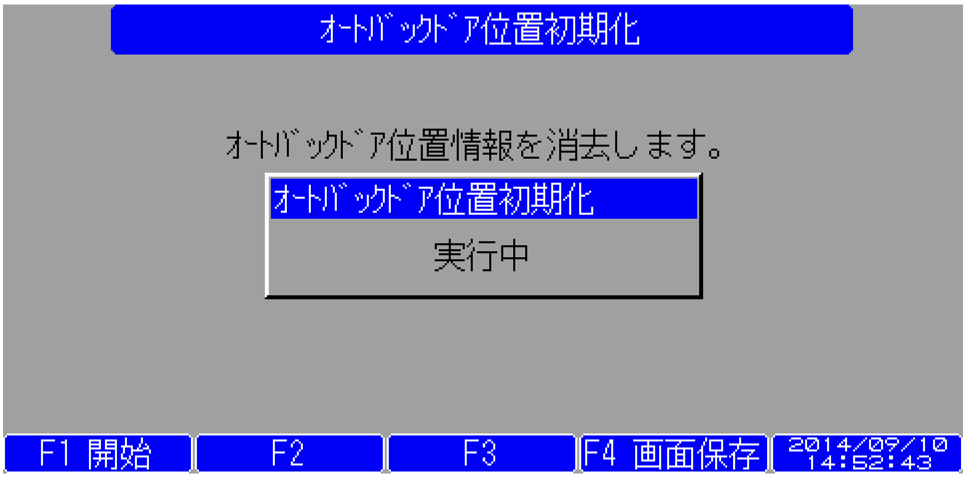


<操作方法>

F1	「4.55.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

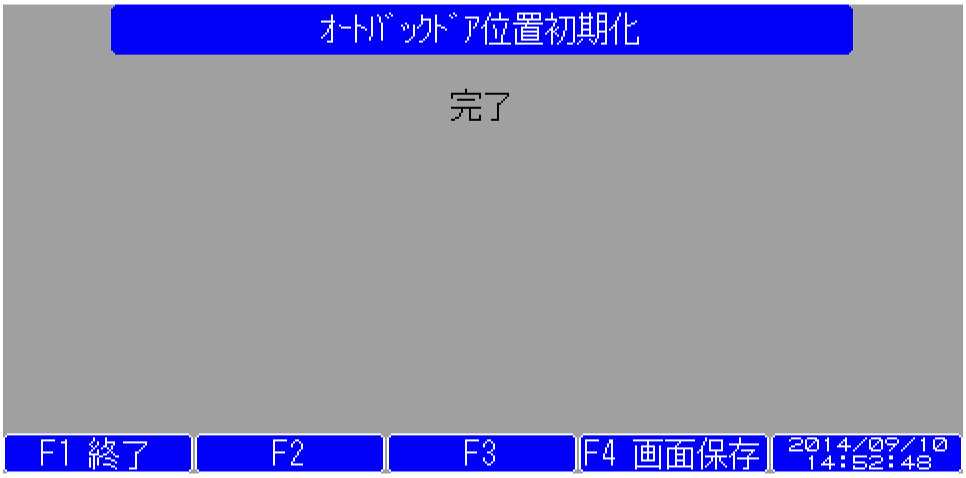
4.55.2. 処理要求

内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.55.3. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.55.1. 内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.56. ソナー制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.56.1.内容説明

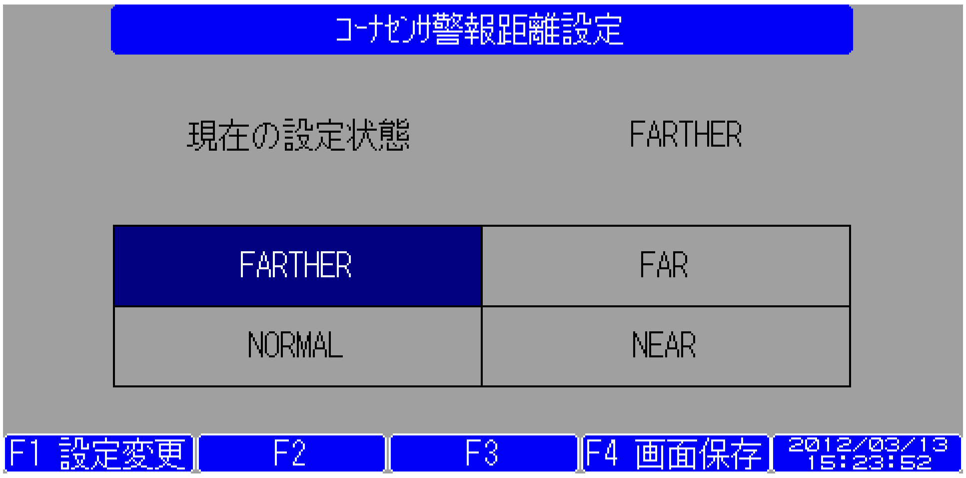
作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

<操作方法>

F1	「4.56.2.設定画面」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.56.2.設定画面

内容説明画面でF1を押すと、現在の設定状態が表示されます。



<操作方法>

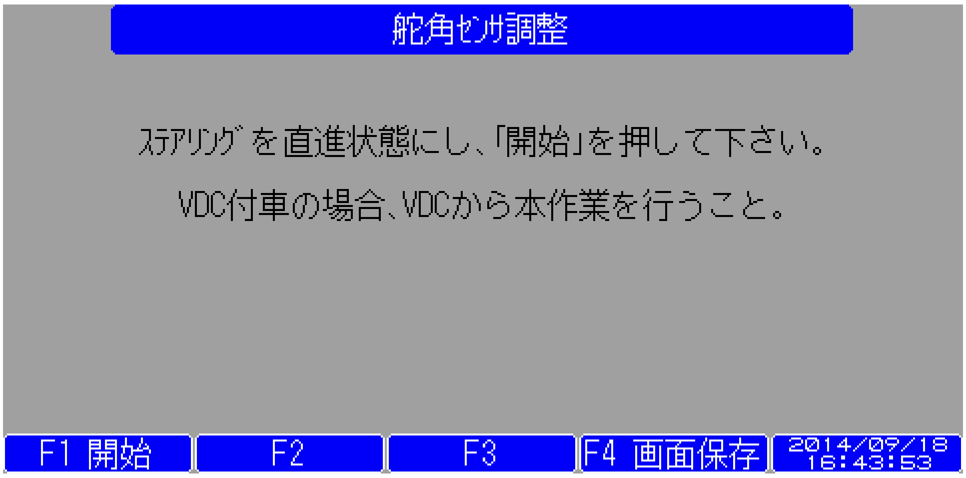
↑/↓/←/→	カーソルを移動します。
F1	現在カーソルがある項目で設定変更を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.57. AFS制御設定

本機能は、各制御の設定を変更する為に活用する機能です。

4.57.1. 作業内容説明

作業サポートメニューで項目を選択すると、選択した項目に対応した内容説明画面に変わります。

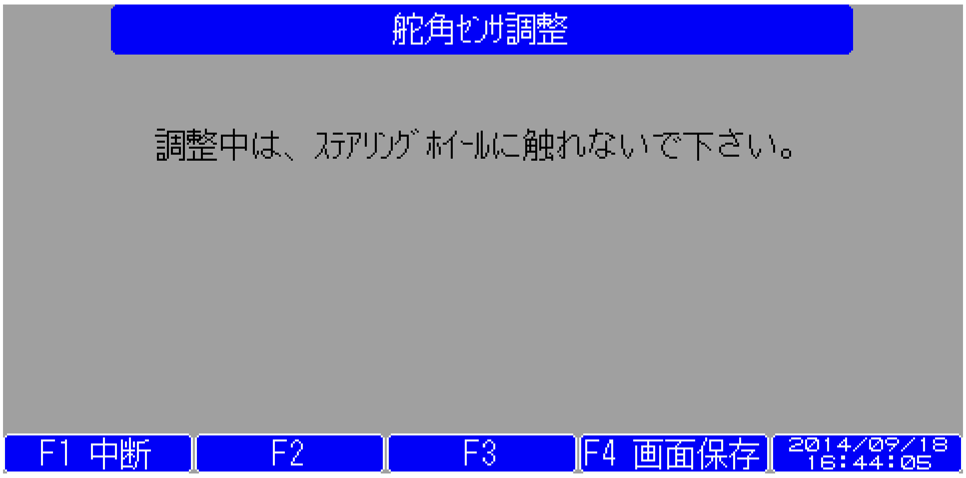


<操作方法>

F1	「4.57.2. 調整実行」を実行します。
C	「4.10.1.作業サポートメニュー」に戻ります。

4.57.2. 調整実行

作業内容説明画面でF1を押すと、調整が実行されます。



<操作方法>

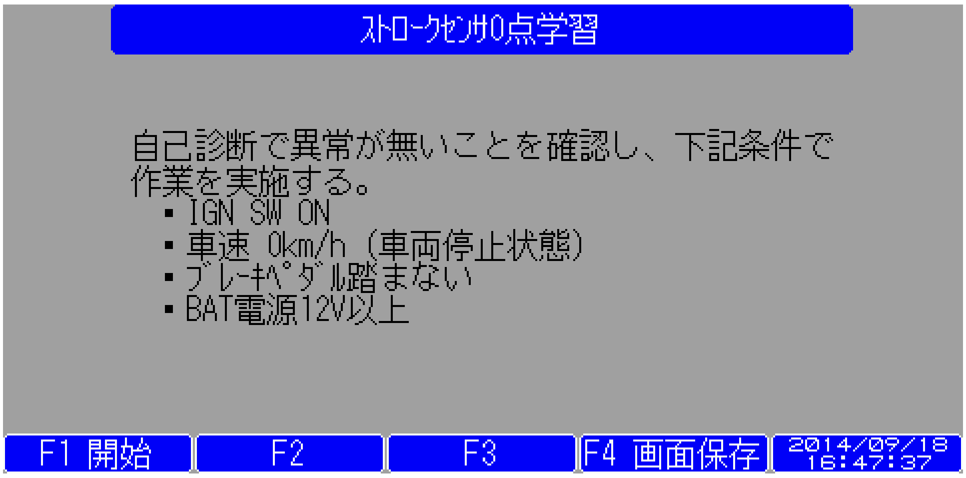
F1	調整を中止し、「4.57.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	調整を中止し、「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

4.58. ストロークセンサ0点学習

本機能は、ストロークセンサ0点学習をする為に活用する機能です。

4.58.1.作業内容説明

作業サポートメニューでストロークセンサ0点学習を選択すると、作業内容説明画面に変わります。

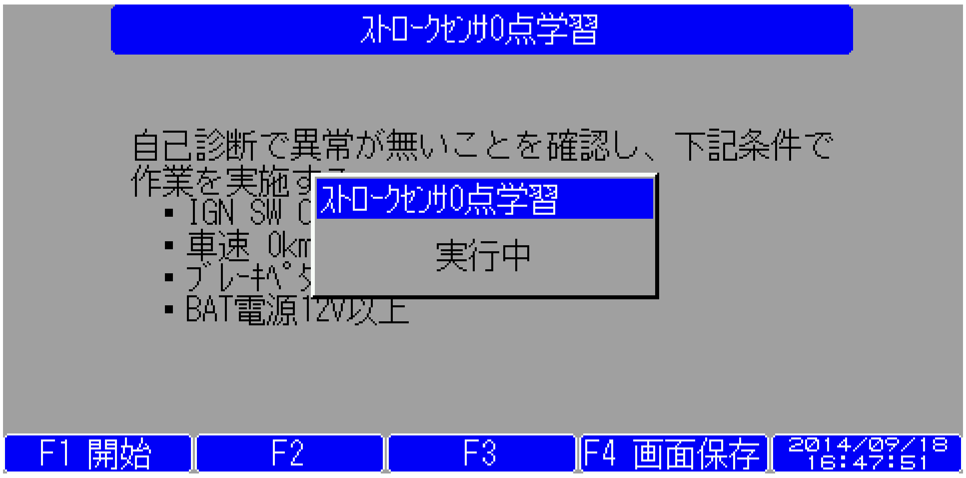


<操作方法>

F1	「4.58.2. 処理要求」を実行します。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。

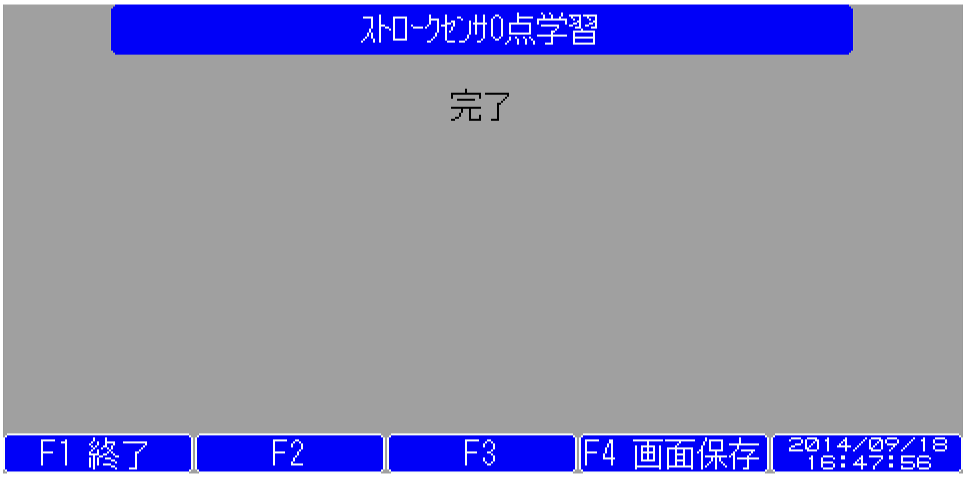
4.58.2. 処理要求

作業内容説明画面からF1キーを押すと、実行中のテロップが表示されます。



4.58.3. 処理結果表示

作業終了後、F1かCを押して終了してください。



<操作方法>

キー	機能
F1	「4.58.1. 作業内容説明」に戻ります。
C	「4.10.1. 作業サポートメニュー」に戻ります。
F4	画面のハードコピーを実行します。

4.59. トップビュー境目の強調表示

本機能は、トップビュー境目を強調表示する機能です。

4.60. カメラキャリブレ(フロント)

本機能は、フロント側のカメラのX軸、Y軸、回転を調整する機能です。
正式名称「カメラキャリブレーション（フロントカメラ）」

4.61. カメラキャリブレ(助手席サイド)

本機能は、助手席サイド側のカメラのX軸、Y軸、回転を調整する機能です。
正式名称「カメラキャリブレーション（助手席側サイドカメラ）」

4.62. カメラキャリブレ(運転席サイド)

本機能は、運転席サイド側のカメラのX軸、Y軸、回転を調整する機能です。
正式名称「カメラキャリブレーション（運転席側サイドカメラ）」

4.63. カメラキャリブレ(リヤ)

本機能は、リヤ側のカメラを調整のX軸、Y軸、回転する機能です。
正式名称「カメラキャリブレーション（リヤカメラ）」

4.64. トップビュー微調整

本機能は、トップビューの確認と微調整する機能です。

4.65. リヤワイドビュー目安線補正

本機能は、リヤワイドビュー目安線位置の調整を行う機能です。

4.66. 警告文言語切替

本機能は、警告文の言語を設定する機能です。

4.67. 予想進路線表示

本機能は、予想進路線の表示/非表示を設定する機能です。

4.68. 回転半径補正

本機能は、回転半径値の調整を行う機能です。

4.69. ドアミラー部品有無設定変更

本機能は、ドアミラー自動格納機能付き部品の有無を設定する機能です。
正式名称「ドアミラー自動格納機能付き部品有無設定変更」

4.70. ソナーOffポップアップ表示設定

本機能は、ソナーOffポップアップの表示/非表示を設定する機能です。
正式名称「ソナーOffポップアップ表示設定変更」

4.71. フロントワイドビュー目安線補正

本機能は、フロントワイドビュー目安線位置の調整を行う機能です。

4.72. ZOOM機能

本機能は、カメラの拡大率を調整する機能です。

4.73. カメラキャリブレーション初期化

本機能は、カメラキャリブレーションを初期化する機能です。

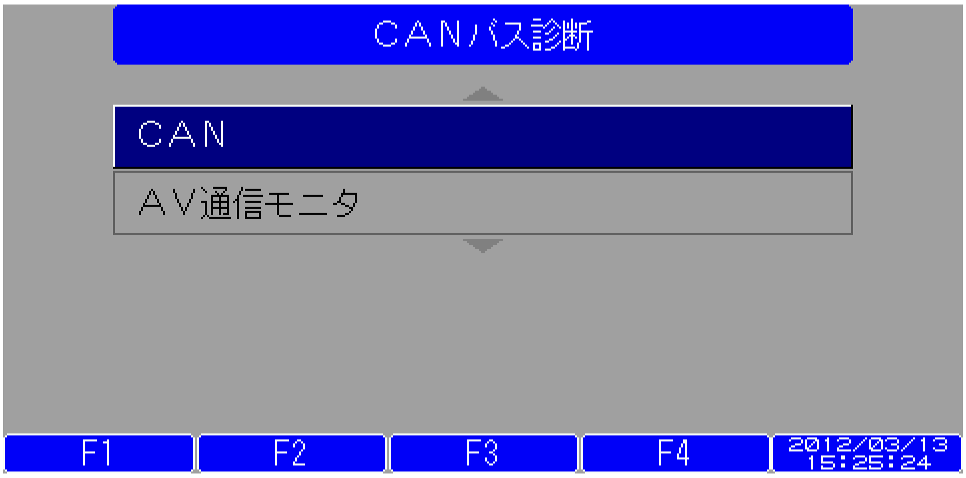
4.74. 舵角センサ中立点調整

本機能は、舵角センサの中立点調整を行う機能です。

4.75. CANバス診断

4.75.1. CANバス診断メニュー

診断システムがマルチAVの場合のみ選択メニューが表示されます。



メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
CAN	「4.75.2.CANバスモニタ画面」
AV通信	「4.75.3.AV通信モニタ画面」

4.75.2. CANバスモニタ画面

車両に搭載されているECUからCANバスデータを取得し表示します。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行います。 すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.75.3.AV通信モニタ画面

車両に搭載されているECUからAV通信データを取得し表示します。

項目	現在	過去
送信診断	OK	30
ﾊﾟﾈﾙｽｲｯﾁ	UNKWN	8
ｾｶﾝﾀﾞﾘｰｽｲｯﾁ	OK	0
ﾘﾔｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	OK	28
ｽﾃｱﾘﾝｸﾞｽｲｯﾁ	OK	OK
ｵｰﾃﾞｨｵ	OK	OK
ｽﾋﾟｰｶｰｱﾝﾌﾟ	OK	0
ｻｲﾄﾞｶﾒﾗ	OK	OK
ﾘﾔｶﾒﾗ	OK	OK
TVﾁｭｰﾅｰ	OK	OK
DVDﾌﾟﾚｰﾔｰ	OK	OK

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行います。 すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.76. キャリブレーションデータの表示

キャリブレーションデータを画面に表示します。

項目	値
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID1	04
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID2	07
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID3	59
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID4	8B
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID5	1F
UNITｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝID6	00
LUｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝｹﾞｲﾝ	386
PLｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝｹﾞｲﾝ	-119
Secｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝｹﾞｲﾝ	-95
LUｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝｵﾌｾｯﾄ	8558
PLｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝｵﾌｾｯﾄ	15085

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行います。 すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.77. メーター表示

データ表示項目「水温センサ」「車速センサ」「エンジン回転数」「バッテリ電圧」のモニタ値をメーター形式でリアルタイム表示します。

4.77.1. メーター表示項目選択メニュー

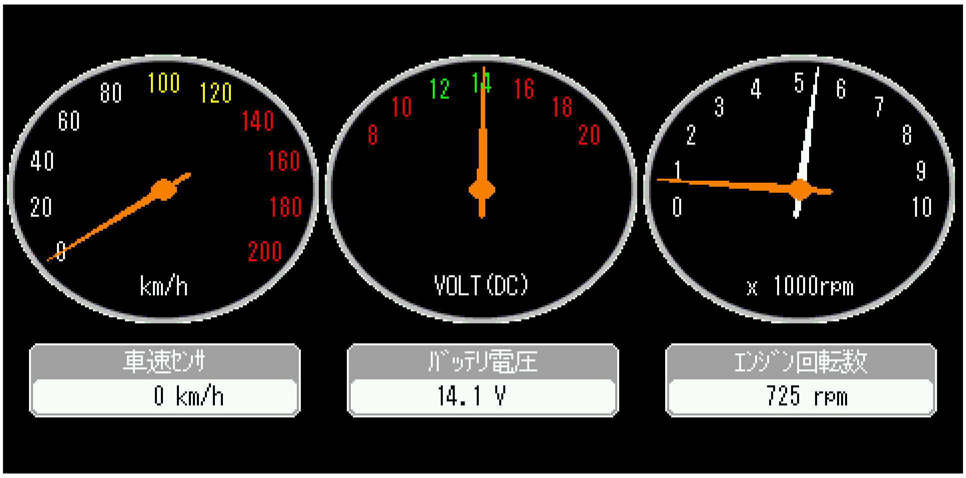
メーター表示は3つの項目を同時表示します。 表示する項目の組み合わせを一覧から選択してください。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の組み合わせで「4.77.2.メーター表示」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

4.77.2. メーター表示

「4.77.1.メーター表示項目選択メニュー」で選択された項目をメーター表示します。



<操作方法>

C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.78. 警告灯点灯要因

警告灯点灯要因データを画面に表示します。

項目	値
ABS W/L	5
VDC&TCSｵﾌ W/L	0
SLIP IND	3
ﾌﾞﾚｰｷ W/L	0
ﾄﾞｱ W/L	39
ﾄﾗﾝｸ/ｶﾞﾗｽﾊｯﾁ	0
ｵｲﾙ W/L	2
ｴﾝｼﾞﾝ W/L	点灯履歴無し
ｴﾝｼﾞﾝ2 W/L	0
CRUISE IND	0
SET IND	0

<操作方法>

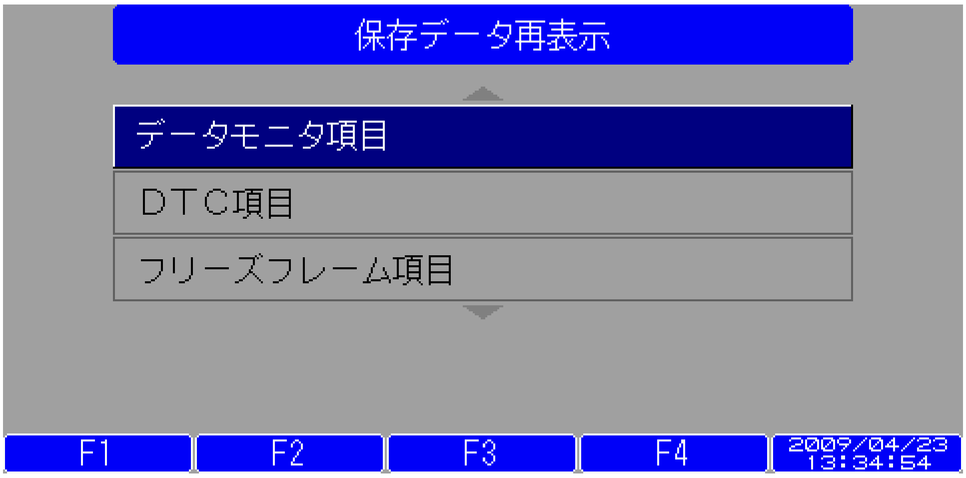
↑/↓	カーソルの移動を行います。 すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

4.79. 保存データの表示

「データ表示」「アクティブテスト」「ダイアグコードの点検」「フリーズフレームデータの点検」によって保存されたデータを再度表示する場合に実行します。

4.79.1. カテゴリー選択

カテゴリーで分けられている「データモニタ項目」「DTC項目」「フリーズフレーム項目」の何れかを選択した場合、選択したカテゴリーの保存データを表示します。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上のカテゴリー項目に絞込み、「保存データの表示」を表示します。
C	「4.4.システム診断メニュー」に戻ります。

4.79.2. 保存データの表示

選択したカテゴリー項目の保存データを表示します。
保存データがない場合、「保存データがありません」を表示します。
※日付の新しい保存データから順に上から表示されます。

［データモニタ項目］

データモニタ項目

No	システム	ファイル作成日時	区分
1	エンジン	2008/10/24 09:45:19	
2	エンジン	2008/10/17 09:38:25	
3	エンジン	2008/10/16 08:47:06	
4	エンジン	2008/10/16 08:45:04	
5	エンジン	2008/10/15 18:22:45	
6	エンジン	2008/10/15 18:20:07	
7	エンジン	2008/10/15 18:19:31	

F1 データ解析 | F2 削除 | F3 バックアップ | F4 リストア | 2008/11/10 09:24:58

「アクティブテスト」の保存データの場合、区分欄に「A」が表示されます。

［DTC項目］

DTC項目

No	システム	ファイル作成日時	区分
1	AT	2008/11/10 09:20:47	
2	エンジン	2008/11/10 09:10:12	
3	エンジン	2008/11/10 09:00:58	
4	ABS	2008/11/05 09:29:35	
5	エンジン	2008/11/04 17:38:41	
6	エンジン	2008/11/04 17:22:44	
7	エアバッグ	2008/10/30 16:08:31	
8	ABS	2008/10/30 16:08:19	
9	AT	2008/10/30 16:08:04	
10	エンジン	2008/10/30 16:07:47	

F1 データ解析 | F2 削除 | F3 バックアップ | F4 リストア | 2008/11/10 09:25:50

［フリーズフレーム項目］

フリーズフレーム項目

No	システム	ファイル作成日時	区分
1	エンジン	2008/11/05 12:00:45	
2	エンジン	2008/11/05 09:32:12	
3	エンジン	2008/11/04 15:45:47	
4	エンジン	2008/11/04 11:29:34	
5	エンジン	2008/11/04 11:18:15	
6	エンジン	2008/11/04 11:17:03	
7	エンジン	2008/11/04 11:15:55	

F1 データ解析 | F2 削除 | F3 バックアップ | F4 リストア | 2008/11/10 09:25:55

<操作方法>

<table>
<tr><td>↑/↓</td><td colspan="2">カーソルの移動を行ないます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">YES</td><td>データモニタ項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「4.6.3.ホールドモード」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」「トリガ」「スタート」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>DTC項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「4.5.3.ダイアグコードの点検」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「DTCクリア」「フリーズフレームデータ表示」「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>フリーズフレーム項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「4.5.5.フリーズフレームデータ表示」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>C</td><td colspan="2">保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>S</td><td colspan="2">カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。</td></tr>
<tr><td>F1</td><td colspan="2">データ解析対象選択画面を表示します。
「カーソル上のデータ」
「すべてのデータ」
「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。
選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」に解析用データとして転送します。</td></tr>
<tr><td>F2</td><td colspan="2">カーソル上のデータを削除します。
※ 削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。</td></tr>
<tr><td>F3</td><td colspan="2">バックアップ対象選択画面を表示します。
「カーソル上のデータ」
「すべてのデータ」
「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。
選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」にバックアップします。</td></tr>
<tr><td>F4</td><td colspan="2">パソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」でリストア対象に指定したデータをリストアします。</td></tr>
</table>

4.80. 画面保存データの表示

画面保存によって保存された画面のハードコピーデータを再度表示する場合に実行します。
※日付の新しい画面保存データから順に上から表示されます。

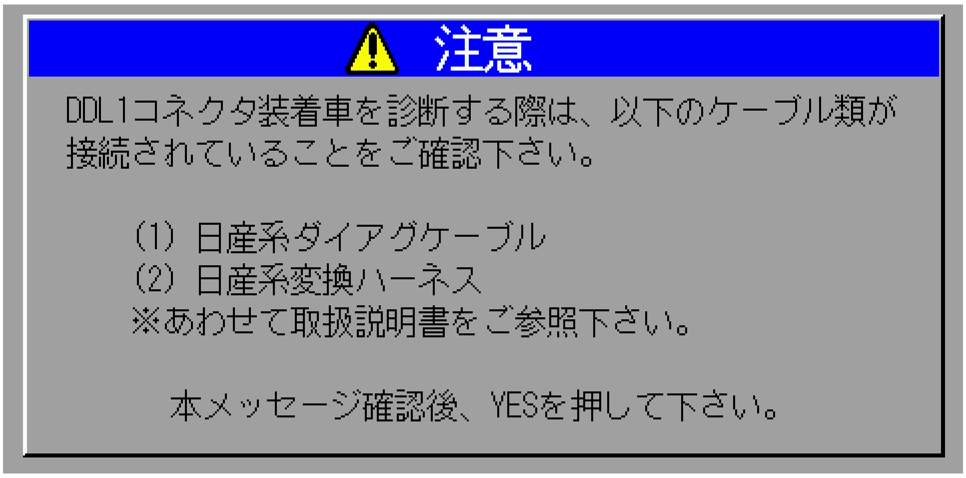
No	システム	ファイル作成日時
1	エンジン	2008/11/10 16:47:03
2	ABS	2008/11/10 16:46:10
3	AT	2008/11/10 09:20:40
4	エンジン	2008/11/10 09:10:33
5	エンジン	2008/11/10 09:01:26
6	エンジン	2008/11/05 12:00:17

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の画面保存データを再表示します。 再表示後YESを押すと、この画面に戻ります。
C	保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。
S	カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。
F2	カーソル上のデータを削除します。 ※ 削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。
F3	バックアップ対象選択画面を表示します。 「カーソル上のデータ」 「すべてのデータ」 「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。 選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」にバックアップします。
F4	パソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」でリストア対象に指定したデータをリストアします。

5.　レトロ対応

5.1.　ダイアグケーブル注記画面



※ DDL1コネクタ装着車の場合は、日産系ダイアグケーブル及び日産系変換ハーネスを使用していることを確認後、YESを押してしてください。

注意	DDL1コネクタ装着車を診断する場合は、拡張通信インターフェースキットに同梱されている、日産系ダイアグケーブル及び日産系変換ハーネスを使用してください。日産系ダイアグケーブル及び日産系変換ハーネス以外を使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

<操作方法>

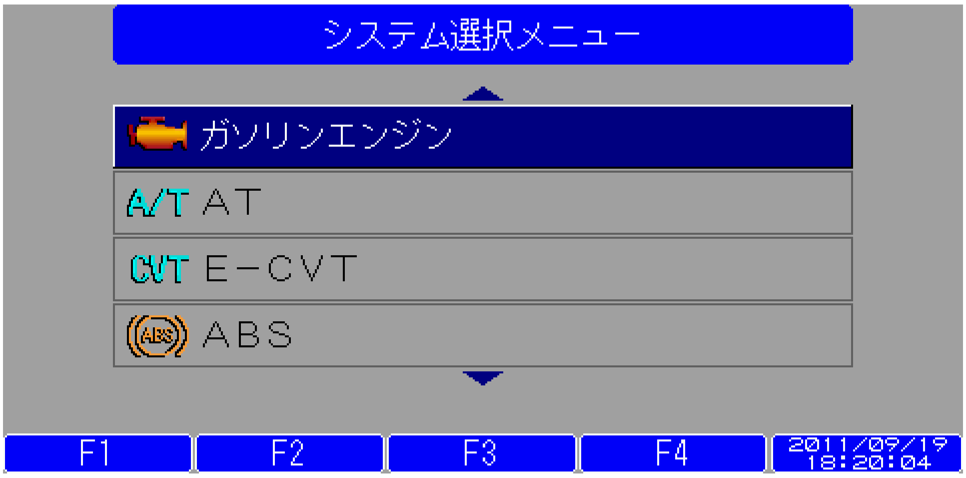
YES	車両故障診断メニューを表示します。
C/NO	「3.2.車両対応メニュー」に戻ります。

5.2. 車両故障診断メニュー

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
システム選択メニュー	「5.3.システム選択メニュー」
保存データを再表示する	「5.11.保存データの表示」
画面保存データを再表示する	「5.12.画面保存データの表示」

5.3.　システム選択メニュー



故障診断を行なうシステムをYESで選択してください。

システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両のシステムとの回線の接続を行ないます。
選択したシステムとの回線の接続に成功した場合、「5.4.システム診断メニュー」を表示します。

回線の接続の結果、対象車両が本アプリケーションでは診断できない場合、「5.5.システム診断不可」を表示します。

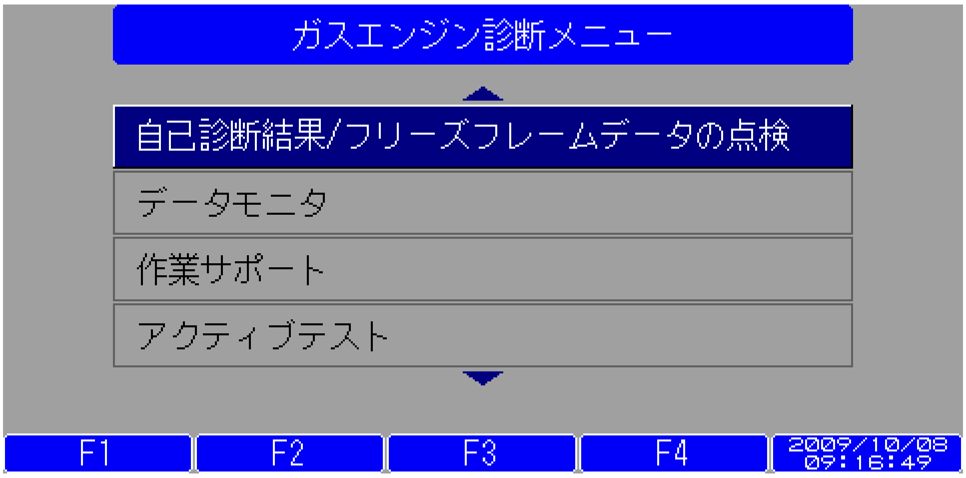
回線の接続でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

① 故障診断コネクタの接触不良およびケーブル断線の確認。
② ダイアグケーブルとの接続の確認。
③ 拡張通信ボード取付の確認。
④ 対象車種の確認。

5.4.　システム診断メニュー

「5.3.システム選択メニュー」で選択したシステムで診断が可能な機能を表示します。

※　各システムの診断機能は、「1.2.診断項目」をご参照ください。



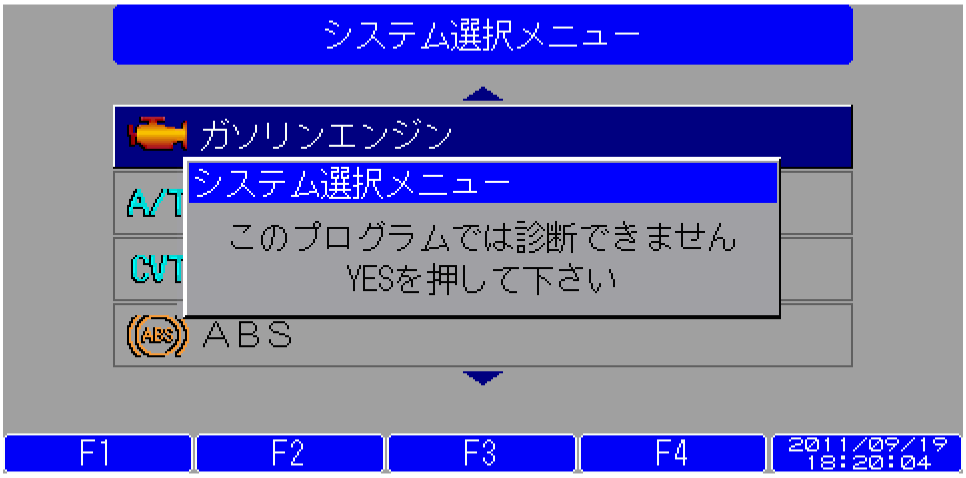
メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
自己診断結果/フリーズフレームデータの点検	「5.6.自己診断結果」
データモニタ	「5.7.データモニタ」
作業サポート	「5.8.作業サポート」
アクティブテスト	「5.9.アクティブテスト」
C/U部品番号	「5.10.C/U部品番号」
自己診断結果[記憶]	「5.13.自己診断結果[記憶]」
故障履歴	「5.14.故障履歴」
保存データを再表示する	「5.11.保存データの表示」

なお、車両側のシステムが選択した機能をサポートしていない場合は、「該当項目なし」画面を表示します。

5.5.　システム診断不可

診断車両が本アプリケーションでは診断できない場合は以下のメッセージが表示されます。



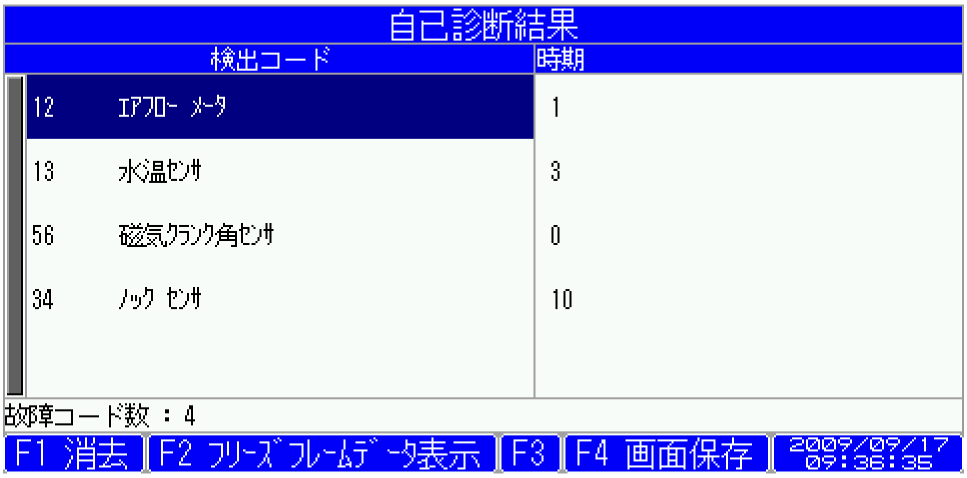
<操作方法>

YES	「5.3.システム選択メニュー」に戻ります。

5.6. 自己診断結果

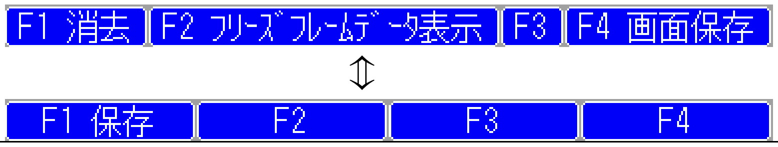
5.6.1. 自己診断結果

車両が記憶している自己診断結果を取得し表示します。「時期」の欄には、何回前の走行中に発生した故障コードかを示す値が表示されます。



※ システムがAT、E-CVTの場合、「時期」の欄に”－”が表示されます。

<操作方法>

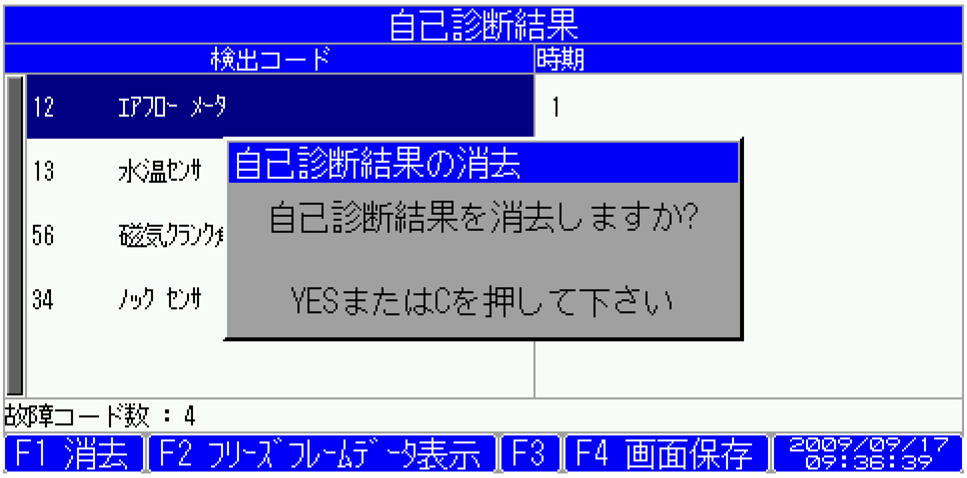
↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES/C	前の画面に戻ります。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

消去	「5.6.2.自己診断結果の消去」を実行します。
フリーズフレームデータ表示	「5.6.3.フリーズフレームデータ表示」を実行します。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
保存	「5.6.4.データ保存」を実行します。

5.6.2.　自己診断結果の消去

車両に記憶されている過去の自己診断結果、フリーズフレームデータを消去します。



<操作方法>

YES	自己診断結果の消去を実行します。
C	処理を中止し「5.6.1.自己診断結果」に戻ります。

5.6.3.　フリーズフレームデータ表示

故障が発生した時の車両の動作状態を保存したデータ(フリーズフレームデータ)を取得し表示します。

<操作方法>

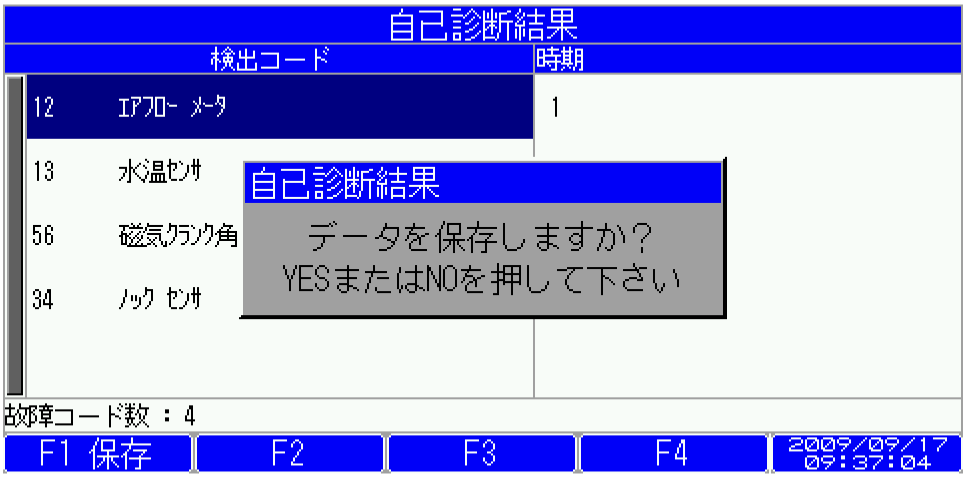
↑/↓	すべてのデータが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	前の画面に戻ります。
F1	「5.6.4.データ保存」を実行します。
F4	画面のハードコピーを保存します。

5.6.4. データ保存

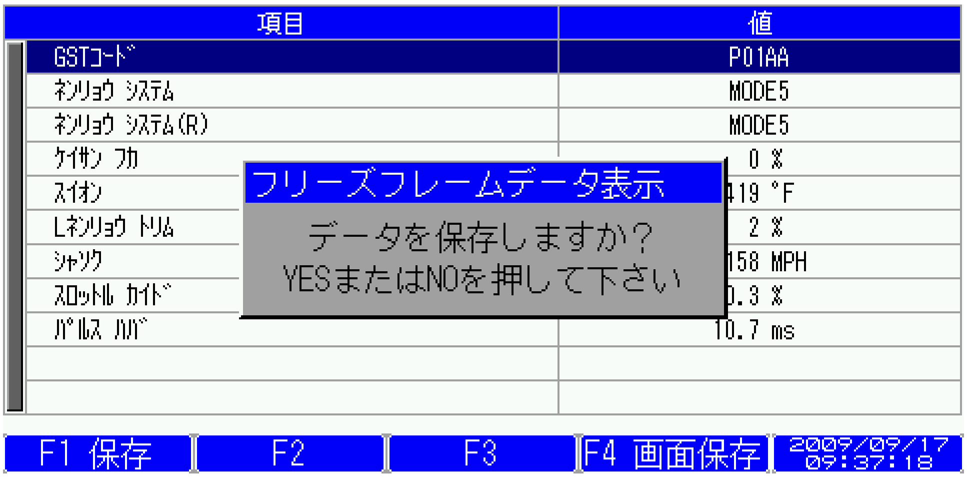
CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面

[自己診断結果]



[フリーズフレーム]



<操作方法>

YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、実行前の画面に戻ります。

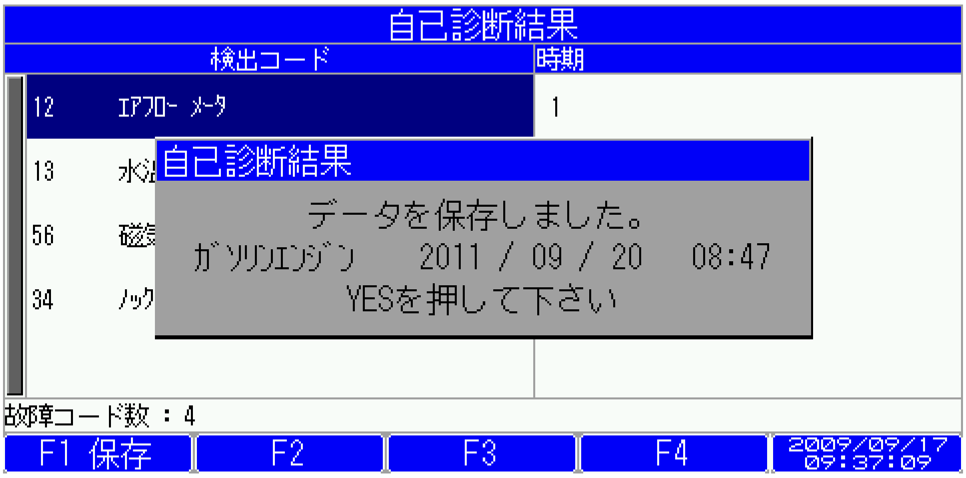
上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※ 保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面

[自己診断結果]



[フリーズフレーム]

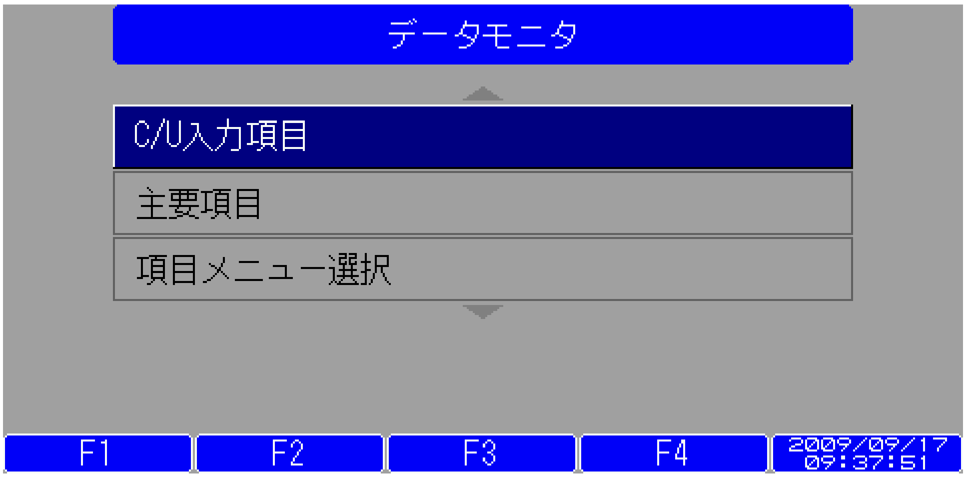
<操作方法>

YES	「データ保存」を実行した画面に戻ります。

5.7. データモニタ

5.7.1. カテゴリー選択

データモニタにカーソルをあわせてYESを押すと、カテゴリー選択メニューが表示されます。

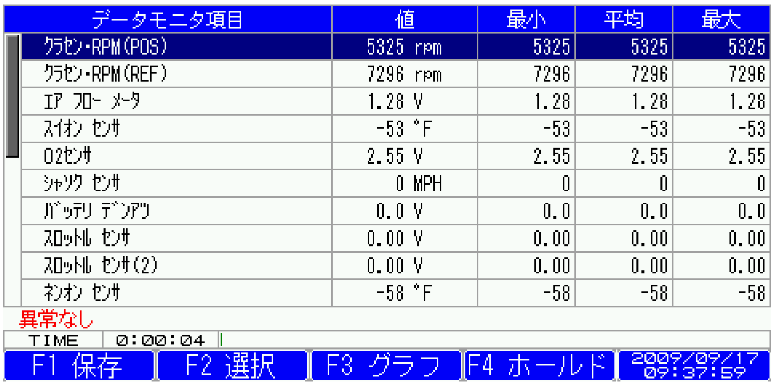


YESで選択した項目により、表示するデータモニタ項目が変わります。

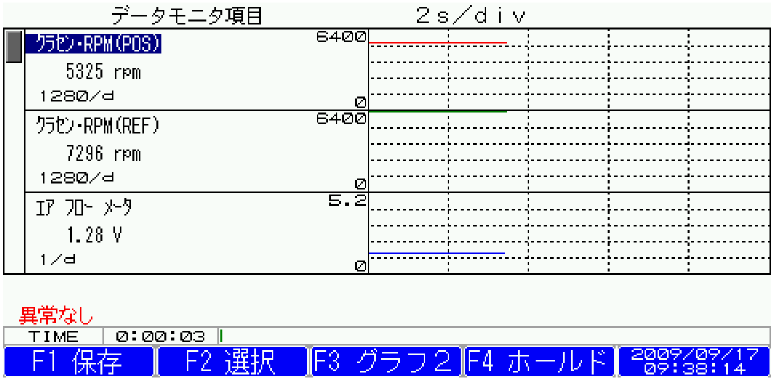
5.7.2. データ表示

データ表示には、下図のように数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の3種類の表示形式があります。

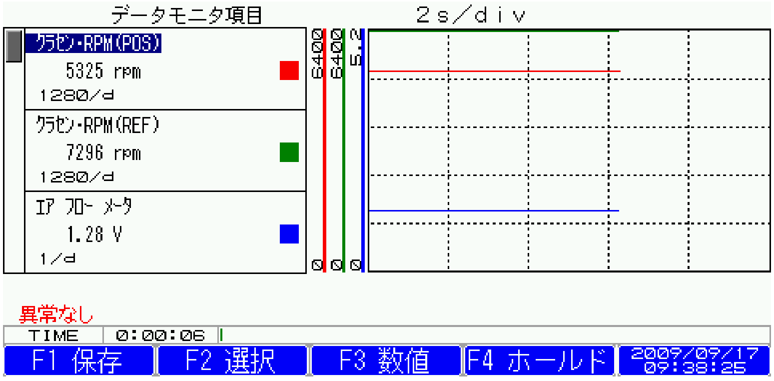
数値データ表示



グラフ1表示



グラフ2表示



また、データ表示には、「ランモード」、「ホールドモード」の2つの表示モードがあります。

ランモード	車両よりリアルタイムに取得したダイアグデータを表示するモードです。 故障コードが発生した場合は、取得した故障コードのうち、先頭の故障コードと名称を画面下部に表示します。故障コードが無い場合は「異常なし」を表示します。操作方法に関しては「5.7.3.ランモード」をご参照ください。
ホールドモード	ランモードによって取得し記憶されたデータを以前にさかのぼって表示することができるモードです。ホールドモード中に故障コードが発生しても表示は変わりません。操作方法に関しては「5.7.4.ホールドモード」をご参照ください。

5.7.3.　ランモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	選択の設定/解除を行ないます。※
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ / F4 ホールド ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 / F4 画面保存 グラフ1表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ2 / F4 ホールド ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存 グラフ2表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 数値 / F4 ホールド ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存
C	「5.4.システム診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

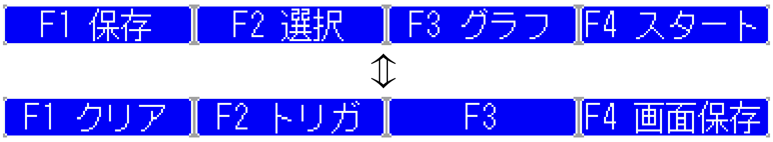
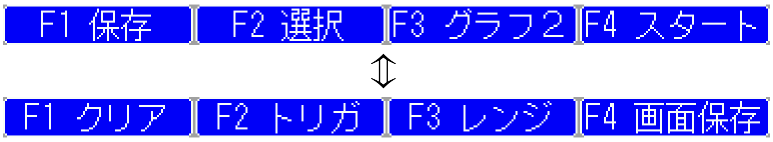
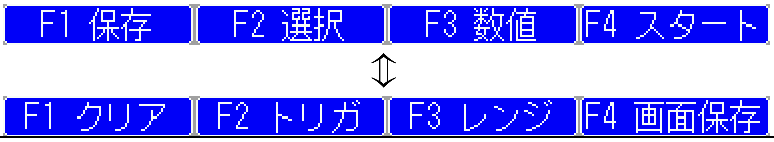
<ファンクションキー>

保存	ランモードで記憶されたデータを保存します。詳細は「5.7.7.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値	数値データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ1表示またはグラフ2表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「5.7.5.レンジ変更」をご参照ください。
ホールド	ホールドモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「5.7.6.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。

YESキーにより項目を選択すると、同時に取得できるデータモニタ項目を増やすことができますが、車両によってはECUの制限により通信エラーが発生する場合があります。
その場合は選択する項目数を減らしてご使用ください。

5.7.4. ホールドモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←	前(過去)のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが左に移動します。
→	次のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが右に移動します。
YES	選択の設定/解除を行ないます。※
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時  グラフ1表示時  グラフ2表示時 
C	「5.4.システム診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

保存	現在ホールド中のデータを保存します。詳細は「5.7.7.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値	数値データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「5.7.5.レンジ変更」をご参照ください。
スタート	ランモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「5.7.6.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。

YESキーにより項目を選択すると、同時に取得できるデータモニタ項目を増やすことができますが、車両によってはECUの制限により通信エラーが発生する場合があります。 その場合は選択する項目数を減らしてご使用ください。

5.7.5. レンジ変更

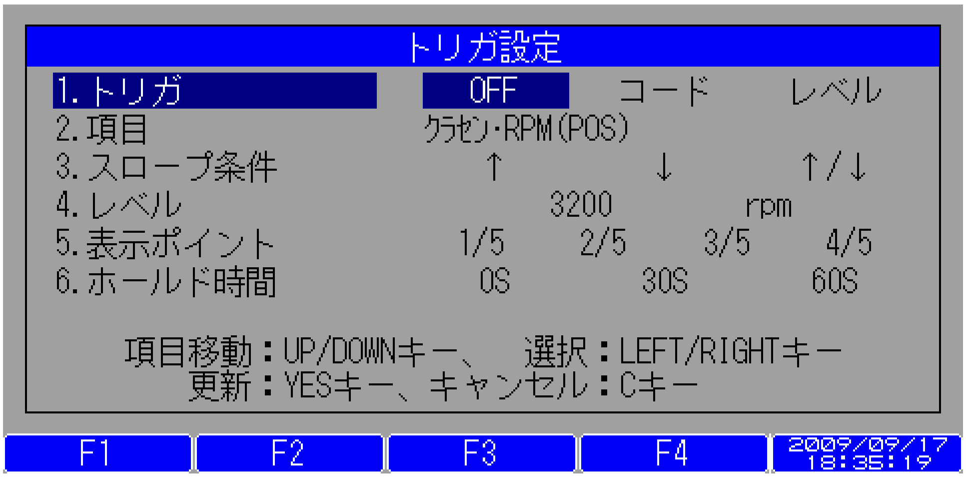
グラフ表示時、ファンクション「レンジ」を実行すると、時間軸を変更することができます。

<操作方法>

←/→	レンジの変更を行ないます。
F4	変更したレンジを確定し、ランモードを実行します。
YES	変更したレンジを確定し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
C	レンジ変更を中止し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。

5.7.6.　トリガ設定

　データ表示では、ランモード時「エンジン回転速度が何回転以上になった時」(レベルトリガ)や、「何らかの故障コードが発生した時」(コードトリガ)等の条件で自動的にデータをホールドすることができます。
　トリガを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「トリガ」を実行してください。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したトリガを確定し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。
C	トリガ設定を中止し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。

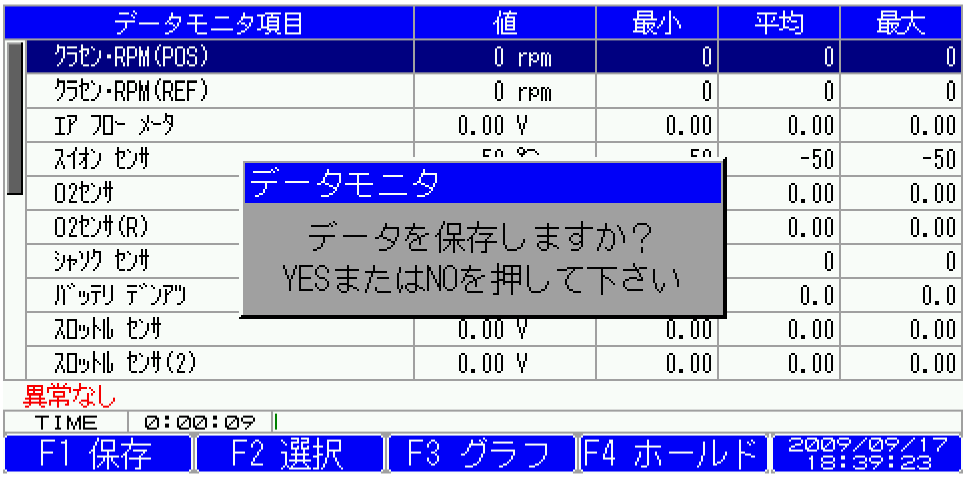
<トリガ設定値>

トリガ	OFF	トリガの設定を解除します。
	コード	コードトリガ。故障コード数に変化があった場合にトリガとします。
	レベル	レベルトリガ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にトリガとします。
項目	レベルトリガの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にトリガとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にトリガとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをトリガとします。
レベル	レベルトリガのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	トリガが発生したらすぐにホールドします。
	30s	トリガが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	トリガが発生してから60秒後にホールドします。

5.7.7.　データ保存

ランモードによって取得したデータを、CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面



<操作方法>

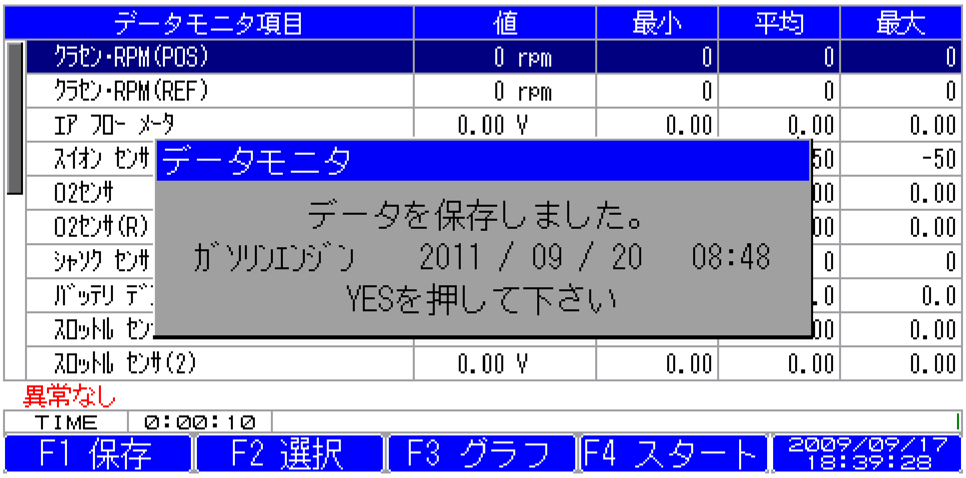
YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※　**保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。**

また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面



<操作方法>

YES	「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

5.8. 作業サポート

本機能は、データモニタの診断結果に基づき、センサ等の調整を行う為に活用する機能です。

警告	作業サポートは、対象車両の整備マニュアルにより作業内容を十分理解した上で行なってください。 使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。

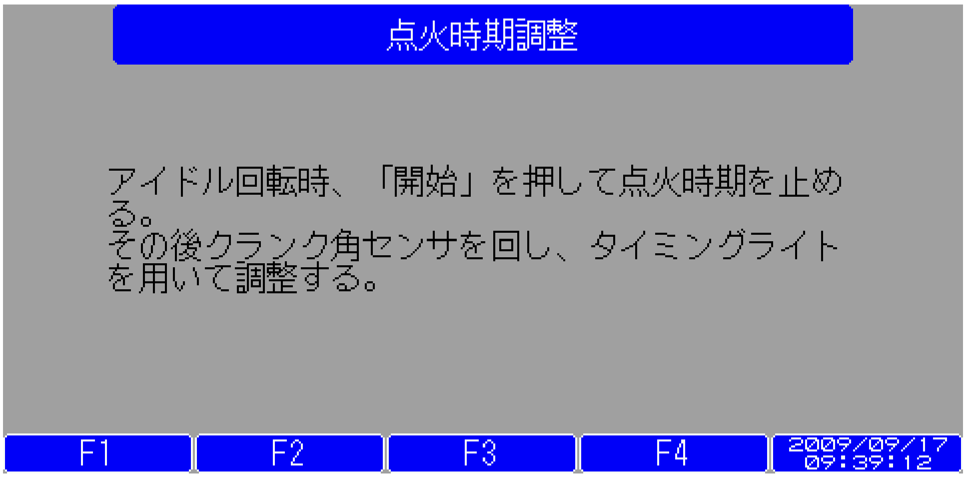
5.8.1. 作業サポートメニュー

診断車両がサポートしている作業サポート項目をメニュー表示します。本アプリケーションがサポートしている作業サポート項目は「7.作業サポート項目一覧」をご参照ください。

実行する項目をYESで選択してください。

5.8.2. 作業サポート指示画面

作業サポートメニューで実行したい項目を選択すると、作業サポート指示画面が表示されます。画面の指示に従い車両を操作してください。



＜操作方法＞

YES	「5.8.3.作業サポート実行」を実行します。 E-CVTの場合、「5.8.5.エンジンブレーキ調整」を実行します。
C	1つ前の画面に戻ります。

5.8.3. 作業サポート実行

各作業サポート項目の指示画面でYESを押すと、制御を開始して、作業サポート実行画面として「5.7.データモニタ」と同じような画面が表示されます。この画面で対象項目の値を確認しながら、センサ等の調整を行なってください。

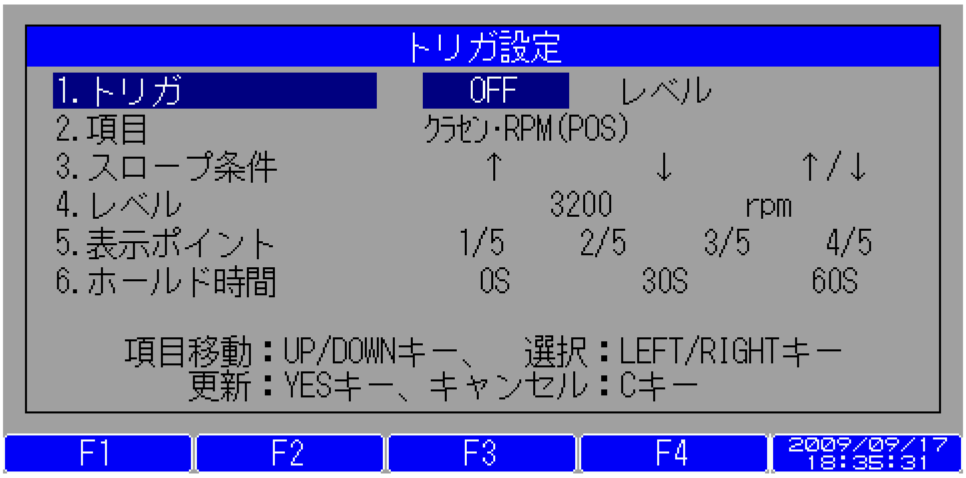
ファンクションの操作方法は「5.7.データモニタ」をご参照ください。なお、Cキー入力時は「5.8.2.作業サポート指示画面」に戻ります。

(1) 作業サポート実行中

作業サポート実行中はTIME表示が緑色に変わります。

5.8.4.　トリガ設定

作業サポート中は、コードトリガを設定することはできません。その他の機能については「5.7.6.トリガ設定」と同様となっています。トリガを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「トリガ」を実行してください。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したトリガを確定し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。
C	トリガ設定を中止し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。

<トリガ設定値>

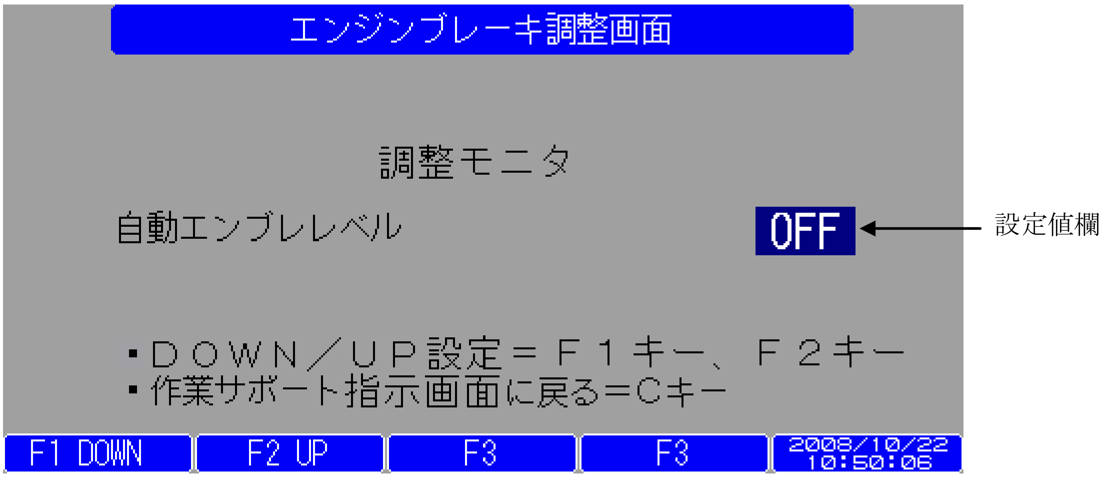
トリガ	OFF	トリガの設定を解除します。
	レベル	レベルトリガ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にトリガとします。
項目	レベルトリガの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にトリガとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にトリガとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをトリガとします。
レベル	レベルトリガのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	トリガが発生したらすぐにホールドします。
	30s	トリガが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	トリガが発生してから60秒後にホールドします。

5.8.5.　エンジンブレーキ調整

本機能は、車両のエンジンブレーキの効き具合を調整する為に活用する機能です。

5.8.5.1. エンジンブレーキレベル調整（実行前）

作業サポートメニューで、エンジンブレーキ調整を選択すると、エンジンブレーキレベルの設定画面に変わります。
設定値欄に現在のエンジンブレーキレベルを表示します。



<操作方法>

C	1つ前の画面に戻ります。
F1/F2	エンジンブレーキレベルを調整します。 「5.8.5.2.エンジンブレーキレベル調整（実行中）」を実行します。

5.8.5.2. エンジンブレーキレベル調整（実行中）

エンジンブレーキ調整中メッセージを表示します。1秒間経過後メッセージを消去し、「5.8.5.3.エンジンブレーキレベル調整（終了）」を実行します。

5.8.5.3. エンジンブレーキレベル調整(終了)

エンジンブレーキ調整終了メッセージを表示します。調整したエンジンブレーキレベルを設定値欄に表示し、メッセージを消去します。

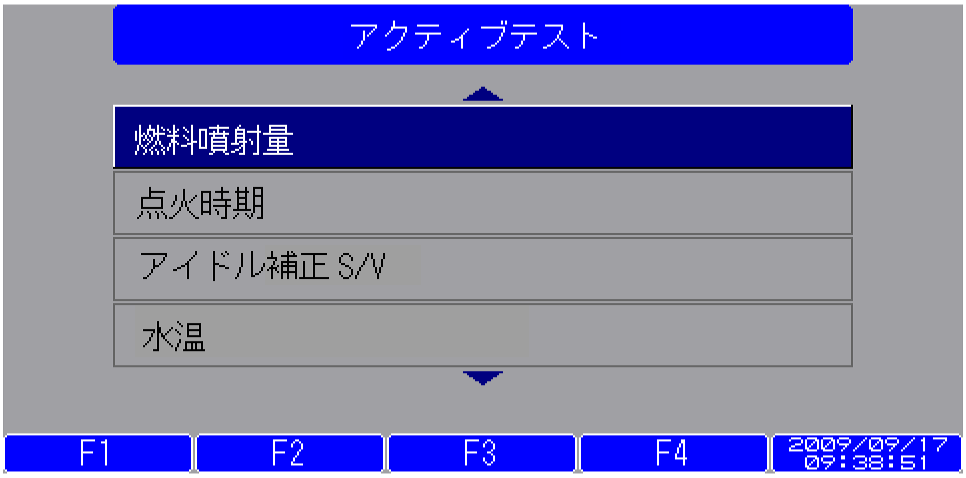
5.9.　アクティブテスト

本機能は、自己診断結果やデータモニタなどの診断結果に基づき、故障原因を追求する為に活用する機能です。テスト対象アクチュエータを車両ECUの指令（出力）から切り離し、診断機から強制的に駆動することで、作動良否点検などを行ないます。

警告	アクティブテストは、対象車両の整備マニュアルによりテスト対象アクチュエータの内容を十分理解した上で行なってください。 使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。

5.9.1.　アクティブテストメニュー

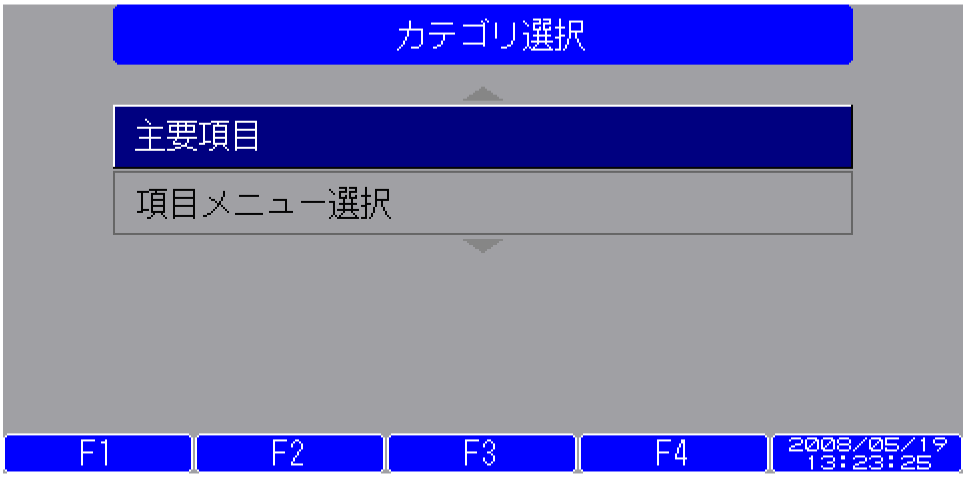
診断車両がサポートしているテスト項目をメニュー表示します。 本アプリケーションがサポートしているテスト項目は「6.アクティブテスト項目一覧」をご参照ください。



テストを行なう項目をYESで選択してください。

5.9.2.　カテゴリ選択

アクティブテストメニューで項目を選択後に、カテゴリ選択画面を表示します。

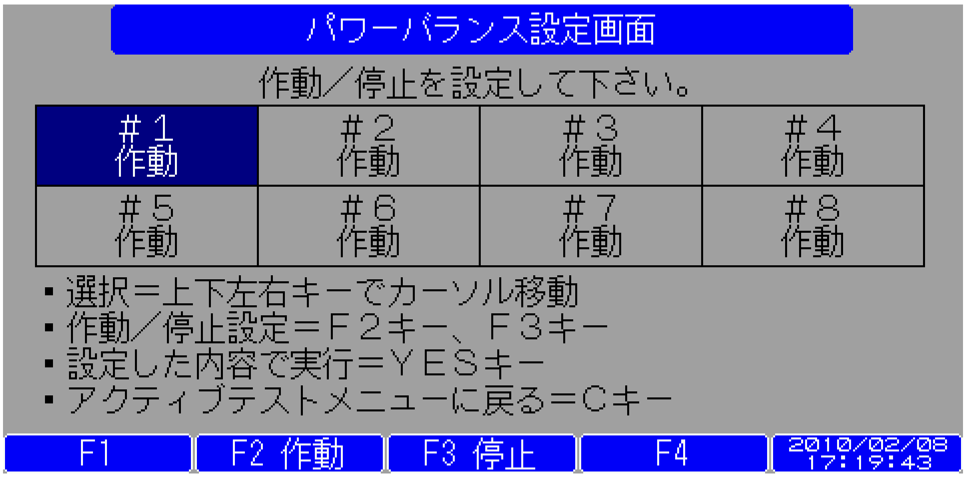


YESで選択した項目により、「5.9.4　アクティブテスト実行」で表示するデータモニタ項目が変わります。
パワーバランステストではパワーバランステスト値設定画面を表示します。

5.9.3.　パワーバランステスト値の設定

　パワーバランステストを選択するとテスト値設定画面に変わります。 この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値を設定してください。

テスト項目に関連する複数アクチュエータの状態を設定します。



<操作方法>

↑/↓ ←/→	カーソルを移動します。
F2	カーソル上の項目を作動に設定します。
F3	カーソル上の項目を停止に設定します。
YES	設定した値によりテストを実行します。 但し、本操作の段階では、まだアクチュエータの強制駆動は実行されません。
C	設定を中止し、「5.9.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

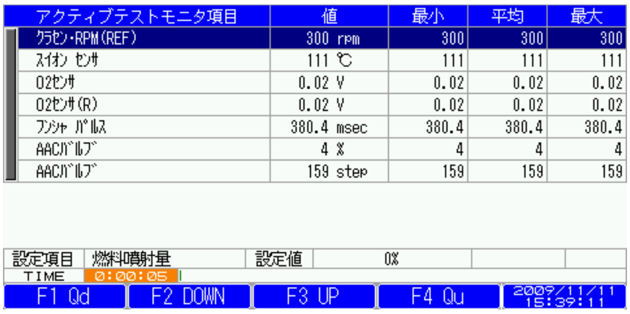
5.9.4.　アクティブテスト実行

　カテゴリ選択画面かパワーバランステスト値設定画面でYESを押すと、各項目でのテスト値入力画面として「5.7.データモニタ」と同じような画面が表示されます。 この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値を入力してください。
　デフォルトの状態で割り付けられているファンクションF1～F4以外は通常のデータ表示と同じです。操作方法は、「5.7.データモニタ」をご参照ください。 なお、Cキー入力時は1つ前の画面に戻ります。

① 強制駆動中
　強制駆動実行中はTIME表示がオレンジ色に変わります。設定値欄に現在実行中の設定値が表示されます。
　アクティブテストメニューの項目によって、次の9つの設定方法があります。
　設定タイプ3、9ではファンクションキーを実行しない限り強制駆動中になりません。実行前はTIME表示が白色となります。
　設定タイプ9では強制駆動実行後3秒間TIME表示がオレンジ色となり、設定値欄に設定値が表示されます。
　3秒間経過するとTIME表示が白色となり、設定値が消えます。

[設定タイプ1]

[設定タイプ2]



[設定タイプ3]

[設定タイプ4]

[設定タイプ5]

[設定タイプ6]

[設定タイプ7]

[設定タイプ8]

[設定タイプ9]

〈操作方法〉

[設定タイプ1]

F1/F2/F3	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ2]

F1/F2/F3/F4	テスト値を増減し、アクチュエータ強制駆動を開始します。 増減後のテスト値が上限/下限を超えてしまう場合は該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。 増減する値はテスト項目によって異なります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ3]

F1	「テスト開始」を実行すると、アクチュエータ強制駆動を開始します。 ファンクションの表示が「解除」になります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ4]

F1/F2/F3	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ5]

F1/F2/F3	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ6]

F1/F2	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ7]

F1/F2/F3	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

[設定タイプ8]

F1/F2/F3/F4	状態を切換えて、アクチュエータ強制駆動を開始します。 現在実行中の状態では、該当するファンクションの表示が番号のみになり、割り付けられた処理を実行できなくなります。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

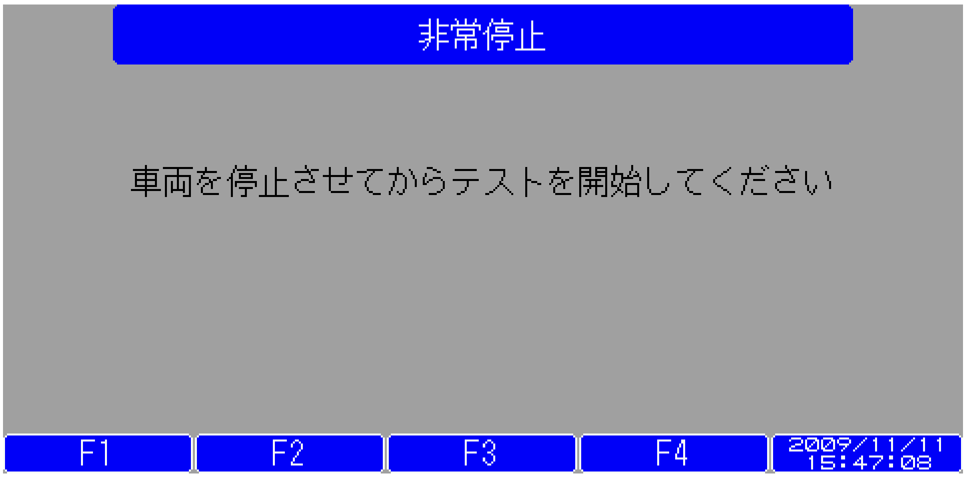
[設定タイプ9]

F1	「学習クリア」を実行すると、アクチュエータ強制駆動を開始します。
C	設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

5.9.5.　非常停止

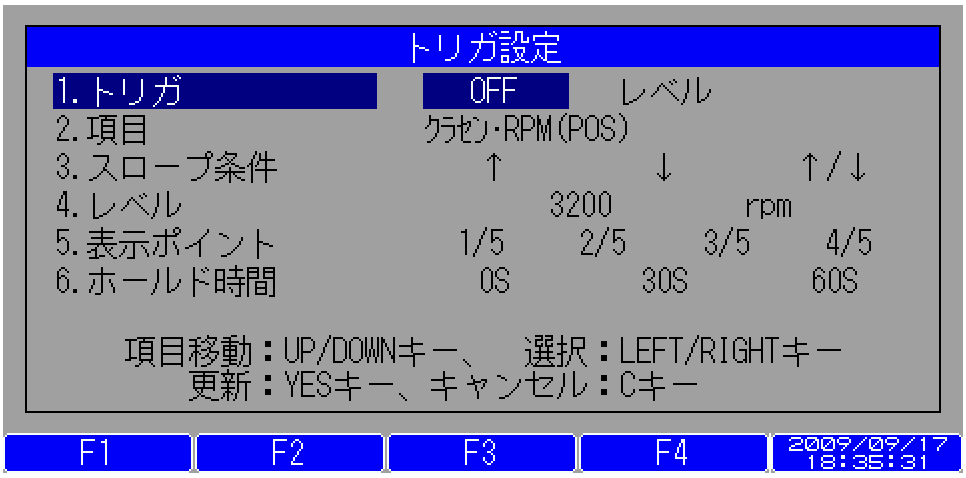
テスト項目の中には、車両状態が特定の状態でのみ実行できるものがあります。
この状態から外れた場合は、下図のような非常停止画面が表示されますので、表示コメントに従い車両を操作してから、再度アクティブテストを実行してください。

画面表示例



5.9.6. トリガ設定

アクティブテスト中は、コードトリガを設定することはできません。その他の機能については「5.7.6.トリガ設定」と同様となっています。トリガを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「トリガ」を実行してください。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したトリガを確定し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。
C	トリガ設定を中止し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。

<トリガ設定値>

トリガ	OFF	トリガの設定を解除します。
	レベル	レベルトリガ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にトリガとします。
項目	レベルトリガの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にトリガとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にトリガとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをトリガとします。
レベル	レベルトリガのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	トリガが発生したらすぐにホールドします。
	30s	トリガが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	トリガが発生してから60秒後にホールドします。

5.10. C/U部品番号

現在診断中のシステム(C/U)の部品番号を表示します。

<操作方法>

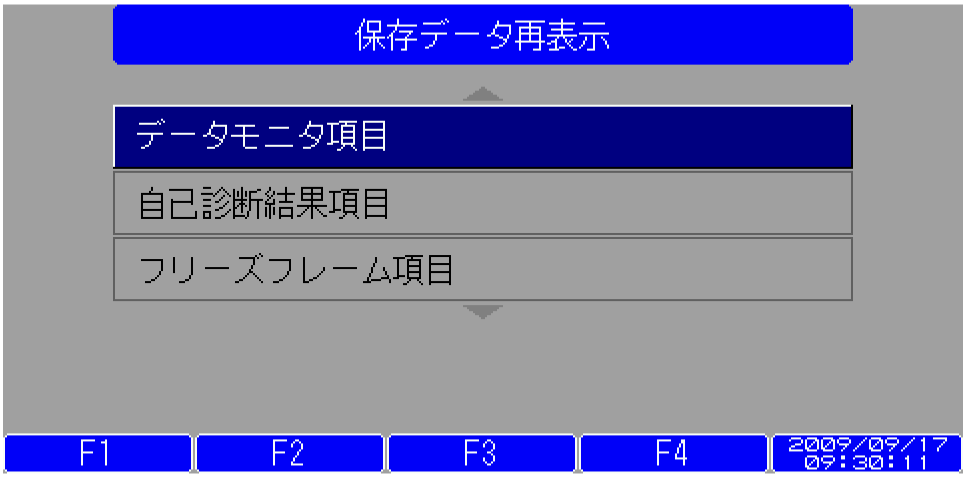
YES	前の画面に戻ります。

5.11. 保存データの表示

「データモニタ」「作業サポート」「アクティブテスト」「自己診断結果」「フリーズフレームデータの点検」によって保存されたデータを再度表示する場合に実行します。

5.11.1. カテゴリー選択

カテゴリーで分けられている「データモニタ項目」「自己診断結果項目」「フリーズフレーム項目」の何れかを選択した場合、選択したカテゴリーの保存データを表示します。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上のカテゴリー項目に絞込み、「5.11.2.保存データの表示」を表示します。
C	「5.4.システム診断メニュー」に戻ります。

5.11.2.保存データの表示

選択したカテゴリー項目の保存データを表示します。

保存データがない場合、「保存データがありません」を表示します。

※日付の新しい保存データから順に上から表示されます。

[データモニタ項目]

データモニタ項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:38:56	A
2	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:38:47	S
3	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:38:40	
4	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:29:35	A
5	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:29:25	S
6	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:29:08	
7	ＡＢＳ	2011/09/17 17:53:11	
8	ＩＶＭＳ	2011/08/24 09:34:33	
9	ＩＶＭＳ	2011/08/22 15:35:02	
10	ＡＢＳ	2011/08/21 08:49:48	A

F1	F2 削除	F3	F4	2011/09/19 18:22:51

「作業サポート」の保存データの場合は、区分欄に「S」が表示されます。

「アクティブテスト」の保存データの場合は、区分欄に「A」が表示されます。

[自己診断結果項目]

自己診断結果項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	エアバッグ	2011/09/19 17:15:35	
2	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:38:19	
3	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:28:43	
4	ＩＶＭＳ	2011/09/18 11:31:15	
5	ＩＶＭＳ	2011/09/18 11:30:53	
6	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:57:18	
7	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:57:07	
8	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:56:02	
9	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:51:44	
10	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:13:08	

F1	F2 削除	F3	F4	2011/09/19 18:22:57

[フリーズフレーム項目]

フリーズフレーム項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:38:28	
2	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:28:50	
3	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/05 09:48:44	
4	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	2011/08/09 10:43:55	
5	AT	2011/04/13 16:18:40	
6	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/04/13 13:40:16	
7	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/04/13 13:39:59	
8	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/04/12 12:56:53	
9	AT	2011/04/12 12:49:29	
10	AT	2011/04/12 12:48:19	

F1	F2 削除	F3	F4	2011/09/19 18:23:01

<操作方法>

<table>
<tr><td>↑/↓</td><td colspan="2">カーソルの移動を行ないます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">YES</td><td>データモニタ項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「5.7.4.ホールドモード」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」「トリガ」「スタート」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>自己診断結果項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「5.6.1　自己診断結果」へ移行します。但し、保存データ表示時は自己診断結果の「消去」「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>フリーズフレーム項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「5.6.3.フリーズフレームデータ表示」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>C</td><td colspan="2">保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>F2</td><td colspan="2">カーソル上のデータを削除します。
※　削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。</td></tr>
</table>

5.12. 画面保存データの表示

画面保存によって保存された画面のハードコピーデータを再度表示する場合に実行します。
※日付の新しい保存データから順に上から表示されます。

No	システム	ファイル作成日時
1	エアバッグ	2011/09/19 17:26:10
2	エアバッグ	2011/09/19 17:26:04
3	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:29:00
4	ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	2011/09/19 13:28:56
5	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:40:01
6	ＩＶＭＳ	2011/09/18 10:18:16
7	ＩＶＭＳ	2011/09/18 08:23:53
8	エアバッグ	2011/09/12 10:05:55
9	ＩＶＭＳ	2011/08/09 13:41:59
10	ＩＶＭＳ	2011/08/09 13:41:49
11	エアバッグ	2011/08/09 13:25:46

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の画面保存データを再表示します。 再表示後YESを押すと、この画面に戻ります。
C	保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。
S	カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。
F2	カーソル上のデータを削除します。 ※　削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

5.13. 自己診断結果[記憶]

車両が記憶しているエアバックの自己診断結果(記憶)を取得し表示します。

<操作方法>

↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES/C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

5.14. 故障履歴

車両が記憶しているエアバックの故障履歴を取得し表示します。

<操作方法>

↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES/C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

6.　アクティブテスト項目一覧

本アプリケーションがサポートしているアクティブテスト項目の一覧を以下に示します。 テスト内容詳細は、アクティブテストメニューのテスト内容説明ならびに対象車両の整備マニュアルをご参照ください。車種によってサポートしている項目は異なります。

6.1.　１９９８年以降対応

(1) エンジン(Kライン)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	燃料噴射量	21	燃料温度
2	点火時期	22	キャニスタドレインカットＳ/Ｖ
3	点火時期モード１	23	燃料バイパスＳ/Ｖ
4	点火時期モード３	24	絶対圧/大気圧Ｓ/Ｖ
5	ＡＡＣバルブ開度	25	ＦＰＣＭ
6	パワーバランス	26	ＶＶＬ Ｓ/Ｖ
7	パワーバランスモード１	27	ＶＶＬ Ｓ/Ｖ(吸排気同時駆動)
8	パワーバランスモード３	28	プレッシャレギュレータ
9	ラジエータファン	29	ＥＴＣ学習クリア
10	水温	30	燃料噴射時期
11	燃料ポンプリレー	31	Ｖ/Ｔ指示角度・Ｖ/Ｔ角度(吸気側)
12	ＥＧＲ制御Ｓ/Ｖ	32	Ｖ/Ｔ角度(排気側)
13	ＥＧＲ制御バルブ	33	スワール制御バルブ(バンク１)
14	ＥＧＲ制御モード１	34	スワール制御バルブ(バンク２)
15	ＥＧＲ制御モード３	35	目標ファン回転数
16	燃圧制御Ｓ/Ｖ	36	燃料遮断弁
17	可変吸気Ｓ/Ｖ	37	エアコンリレー
18	スワール制御Ｓ/Ｖ	38	吸気ダクトＳ/Ｖ
19	エンジンマウンティング	39	エアバイパスバルブ
20	キャニスタ制御Ｓ/Ｖ		

(2) エンジン(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	水温	33	フューエルポンプリレー
2	燃料噴射量	34	燃圧制御　Ｓ／Ｖ
3	点火時期	35	ＳＣＶソレノイド
4	アイドル目標回転数	36	ＶＴＣソレノイド
5	ＡＡＣ/Ｖ出力デューティ	37	ＶＩＡＳソレノイド
6	ＡＡＣ/Ｖ出力ステップ	38	アイドル目標回転調整
7	ＥＶＡＰパージＳ／Ｖ	39	キャニスタドレインカット/Ｖ
8	タンク内燃温/Ｓ	40	サードＯ２/Ｓ診断
9	電制ＥＧＲ目標ステップ位置	41	チェックバルブバイパス/Ｖ
10	パワーバランス	42	リアＯ２センサヒータ
11	パワーバランスモード１	43	サードＯ２センサヒータ
12	パワーバランスモード３	44	エアポンプリレー
13	ラジエータファン	45	２次空気カットソレノイド
14	可変プレッシャレギュレータ	46	ＶＶＬ　Ｓ／Ｖ（吸気側）
15	均質最終点火時期	47	ＶＶＬ　Ｓ／Ｖ（排気側）
16	成層最終点火時期	48	燃料遮断弁（シリンダ側）
17	成層最終噴射時期	49	燃料遮断弁（エンジン側）
18	ストイキ電制ＥＧＲ目標ステップ位置	50	エアコンリレー出力
19	成層電制ＥＧＲ目標ステップ位置	51	可変ダクトソレノイド出力
20	ＶＴＣ目標角度/電磁ＶＴＣ目標角度(吸気)	52	スーパチャージャクラッチリレー
21	ＶＴＣ目標角度	53	ＡＢＶコントロールソレノイド
22	油圧駆動ファン最終回転数	54	ラジファン駆動デューティ
23	電磁ＶＴＣ目標角度(排気)	55	オルタネータデューティ指令値
24	ＥＧＲカットソレノイド	56	タンブルコントロールバルブ開閉
25	ＥＧＲ許可ソレノイド	57	ＶＩＡＳ２
26	ＡＤＶ　Ｆ/Ｂ固定	58	ＤＣモータ駆動空気流量(インライン)
27	電制エンマンモータ制御	59	Ｃ-ＳＣＶ目標ステップ位置バンク１
28	インマニ圧/大気圧ソレノイド	60	Ｃ-ＳＣＶ目標ステップ位置バンク２
29	ＦＰＣＭ	61	ＥＴＣ低応答分補正流量
30	エバポリーク診断	62	オルタネータ電圧
31	リアＯ２/Ｓ診断	63	ＴＣ／ＳＣバイパスバルブ
32	０．０２インチエバポリーク診断	64	アイドリングストップ

(3) ABS(Kライン)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ＳＯＬ駆動ＦＲ－ＲＨ	12	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動ＲＲ－ＬＨ
2	ＳＯＬ駆動ＦＲ－ＬＨ	13	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動 前２輪
3	ＳＯＬ駆動ＲＲ－ＲＨ	14	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動 後２輪
4	ＳＯＬ駆動ＲＲ－ＬＨ	15	ＳＬＩＰ　ＬＡＭＰ
5	ＳＯＬ駆動Ｒｒ	16	ＡＢＳ警告灯
6	油圧発生源	17	ＶＤＣ警告灯
7	ＳＯＬ駆動 前２輪	18	ＴＣＳ　ＦＡＩＬ信号
8	ＳＯＬ駆動 後２輪	19	ＴＣＳ　ＯＦＦランプ
9	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動ＦＲ－ＲＨ	20	ＡＳＣＤ信号
10	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動ＦＲ－ＬＨ	21	ＡＢＳ制御信号
11	ＳＯＬ　ＡＣＴ駆動ＲＲ－ＲＨ	22	ブースタソレノイド駆動

(4) ABS(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	前右ＡＢＳ Ｓ／Ｖ	6	前右ＡＢＳ Ｓ／Ｖ（ＡＣＴ）
2	前左ＡＢＳ Ｓ／Ｖ	7	前左ＡＢＳ Ｓ／Ｖ（ＡＣＴ）
3	後右ＡＢＳ Ｓ／Ｖ	8	後右ＡＢＳ Ｓ／Ｖ（ＡＣＴ）
4	後左ＡＢＳ Ｓ／Ｖ	9	後左ＡＢＳ Ｓ／Ｖ（ＡＣＴ）
5	ＡＢＳモータ		

(5) 4WD(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ＥＴＳソレノイドテスト		

(6) ボディ(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ドアロックインジケータ	24	シートベルト警報
2	ドアロック	25	ＴＰＭＳ ＩＤトウロク警報
3	リヤデフ	26	リバース警報
4	ライト消し忘れ警報	27	パンク警報ブザー点検
5	キー抜き忘れ警報	28	ステップランプ
6	キー封じ込め警報	29	ラゲッジランプ
7	ルームランプ	30	コーナリングランプ
8	トランク／ガラスハッチ	31	照度判定出力
9	フラッシャー	32	ヘッドランプ（ＨＩ）
10	テールランプ	33	カーアラーム
11	ヘッドランプ	34	ＴＰＭＳ ケイコクトウ
12	フロントフォグランプ	35	車外ブザー
13	リヤフォグランプ	36	室内ブザー
14	ＤＴＲＬ	37	警告灯
15	フロントワイパ	38	ＬＣＤ
16	リヤワイパ	39	キーレスパワーウィンドウアップ／ダウン
17	ヘッドランプウォッシャ	40	Ｐ レンジ
18	防盗インジケータ	41	エンジンスイッチショウメイ
19	バッテリーセイバー	42	ＬＯＣＫ インジケータ
20	防盗ホーン	43	ＡＣＣ インジケータ
21	オイルプレッシャ ＳＷ	44	ＩＧＮ ＯＮ インジケータ
22	ＰＴＣヒーター	45	キースロットショウメイ
23	トランク／バックドア	46	キーレスパワーウィンドダウン

(7) オートレベライザ(Kライン)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ランプテスト		

(8) IPDM E/R(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	リヤ デフォッガ	5	エクスターナル ランプ
2	フロント ワイパ	6	コーナリング ランプ
3	クーリングファン	7	ホーン
4	ヘッドランプ ウォッシャ		

(9) HVAC(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	エアコンインジケータ	2	ＨＶＡＣテスト

(10) ドライブポジショナ(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	シート スライド	6	テレスコ モータ
2	シート リクライニング	7	ミラー モータ 右
3	シート リフタ前	8	ミラー モータ 左
4	シート リフタ後	9	メモリーＳＷ インジケータ
5	チルト モータ		

(11) インテリジェントキー(CAN)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ドアロック／アンロック	4	室内ブザー
2	アンテナ	5	警告灯
3	車外ブザー		

(12) ソナー(Kライン)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	ブザー	3	ソナー センサ
2	キャンセル ＳＷ ＩＮＤ		

6.2. レトロ対応

(1) ガソリンエンジン

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	燃料噴射量	20	可変吸気Ｓ／Ｖ
2	点火時期	21	Ｖ／Ｔ制御Ｓ／Ｖ
3	点火時期（モード１）	22	スワール制御Ｓ／Ｖ
4	点火時期（モード３）	23	エンジンマウンティング
5	ＡＡＣバルブ開度	24	キャニスタ制御Ｓ／Ｖ
6	アイドル補正Ｓ／Ｖ	25	燃料温度
7	パワーバランス	26	キャニスタドレインカットＳ／Ｖ
8	パワーバランス（モード１）	27	キャニスタパージカットＳ／Ｖ
9	パワーバランス（モード３）	28	燃料バイパスＳ／Ｖ
10	ラジエータファン	29	キャニスタパージ許可Ｓ／Ｖ
11	水温	30	絶対圧／大気圧Ｓ／Ｖ
12	ＦＩＣＤ　Ｓ／Ｖ	31	ＦＰＣＭ
13	燃料ポンプリレー	32	ＶＶＬ　Ｓ／Ｖ
14	ＥＧＲ制御Ｓ／Ｖ	33	可変プレッシャレギュレータ
15	ＥＧＲ制御バルブ	34	ＥＴＣ－ＩＳＣ補正量
16	ＥＧＲ制御（モード１）	35	ＥＴＣ学習クリア
17	ＥＧＲ制御（モード３）	36	通常ＴＡＳ学習クリア
18	燃圧制御Ｓ／Ｖ	37	燃料噴射時期
19	ＥＡＩ制御Ｓ／Ｖ		

(2) ABS

ABS FR

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	前右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ	6	後ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ
2	前左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ	7	後両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ
3	前両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		
4	後右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		
5	後左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		

ABS FF

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	前右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ	5	ＡＢＳモータ
2	前左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		
3	後右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		
4	後左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ		

(3) VDC

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	前右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	12	前左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）
2	前左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	13	後右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）
3	後右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	14	後左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）
4	後左ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	15	前両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）
5	前両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	16	後両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）
6	後両ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト１）	17	ＡＳＣＤ出力信号
7	ＡＢＳモータ		
8	ＳＬＩＰランプ		
9	ＡＢＳワーニングランプ		
10	ＯＦＦランプ		
11	前右ＡＢＳ　Ｓ／Ｖ（テスト２）		

(4) IVMS

No.	アクティブテスト項目		No.	アクティブテスト項目	
1	ドアロック	ドアロック モータＡＬＬ	22	キーレスエントリ	トランク オープナＳ／Ｖ
2	ドライブポジショナ	チルトモータ	23		４ウェイ フラッシャー
3		テレスコモータ	24		キーレスブザー
4		シートスライド	25		足元照明
5		シートリクライニング	26	オートライト	ヘッドランプリレー
6		シートリフタ前	27		テールランプリレー
7		シートリフタ後	28		夜間減光信号
8		メモリーＳＷ インジケータ	29	室内照明	マップランプ前
9	ワイパー	ワイパーモータ	30		コンソールランプ
10		ワイパーモータ（ＨＩＧＨ）	31		パーソナルランプ後
11	リヤデフォッガー	リヤ デフォッガー リレー	32		キーリング照明
12	キー抜き忘れ	キー抜き忘れ警報	33	キーリング照	キーリング照明
13	ライト消し忘れ	ライト消し忘れ警報	34	ドア開放警報	ドアワーニングランプ
14	シートベルト	シートベルト警報	35	トランクオープン	トランク オープナＳ／Ｖ
15	防盗	アラームリレー			
16		インジケータランプ			
17		フラッシャーリレー			
18	ステップランプ	ステップランプ前右			
19		ステップランプ前左			
20		ステップランプ後右			
21		ステップランプ後左			

7.　作業サポート項目一覧

本アプリケーションがサポートしている作業サポート項目の一覧を以下に示します。作業サポート内容詳細は、対象車両の整備マニュアルをご参照ください。車種によってサポートしている項目は異なります。

7.1.　１９９８年以降対応

(1) エンジン(Kライン)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	急速ＴＡＳ学習クリア	5	燃圧除去
2	スロットルセンサ調整	6	アイドル目標回転数調整
3	空燃比学習	7	点火時期補正
4	点火時期調整	8	アイドル回転補正

(2) エンジン(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	急速ＴＡＳ学習クリア	13	アイドル目標回転数調整
2	空燃比学習	14	点火時期調整
3	燃圧除去	15	Ｖ／Ｔ調整
4	点火時期補正	16	燃料系点検
5	アイドル回転補正	17	点火時期固定
6	排気側V/T調整	18	エバポ系統点検
7	アクセル全閉位置クリア	19	ＣＯ調整
8	スロットル全閉位置学習	20	エタノール推定混合比調整
9	ＶＶＥＬポジションセンサ調整準備	21	燃料学習値書き込み
10	M/Tニュートラル位置学習	22	Ｇセンサキャリブレーション
11	スタータ作動回数クリア	23	ＳＣマグネットクラッチ締結回数クリア
12	バッテリ放電電流積算クリア		

(3) オートマチックトランスミッション(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	ＣＶＴフルード劣化度確認	3	Ｇセンサ調整
2	エンジンブレーキ調整	4	エコモードリセット機能

(4) ABS(Kライン)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	舵角センサ調整		

(5) ABS(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	舵角センサ調整	2	前後Ｇセンサキャリブレーション

(6) ボディ(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	防盗設定	36	アンサーバックキーロック機能
2	セレクトアンロック設定	37	アンサーバックキーアンロック機能
3	オートドアロック機能選択	38	ショートクランキング出力機能
4	オートドアアンロック機能選択	39	インテリジェントキーＩＤ確認
5	オートドアロック／アンロック機能選択	40	リモコンＩＤ確認
6	ドアロック解除連動設定	41	アンサーバックハザード設定
7	ルームランプタイマ設定	42	３フラッシュターンシグナル設定
8	ルームランプＯＮ時間設定	43	ドアリクエストＳＷアンサバック設定
9	ルームランプＯＦＦ時間設定	44	ＩＧＮ　ＯＦＦ連動設定
10	ルームランプタイマ点灯条件設定	45	ＩＧバッテリセイバ機能設定
11	ルームランプバッテリセイバ設定	46	Ｉ－ＫＥＹアンサバック機能設定
12	ヘッドランプバッテリセイバ設定	47	ＲＡＰ設定
13	設定値リセット	48	Ｒレンジ連動設定
14	車速検知ワイパ設定	49	アンサーバック複数設定
15	アンサーバックハザード機能	50	アンサーバックブザー機能
16	ヘッドランプオートライト設定	51	アンサバック機能設定
17	ヘッドライトタイマ	52	インテリジェントキー連動設定
18	ヘッドランプ残照設定	53	ウエルカムライト作動設定
19	防盗アラーム設定	54	ウエルカムライト選択
20	防盗アラームトリガ設定(作動履歴)	55	オートドアアンロック機能設定
21	カーアラーム設定	56	オートドアアンロック作動設定
22	ＩＤ読出し	57	オートドアロック機能設定
23	ＩＤ登録	58	オートライトロジック設定
24	室内アンテナ診断	59	シグネチャライト設定
25	ロック/アンロック機能	60	デイライト設定
26	エンジンスタート機能	61	ドロップワイプ機能設定
27	トランク／ガラスハッチオープン機能	62	ドングルＩＤ確認
28	アンサーバックホーン機能	63	フォグランプ連動オートライト設定
29	オートロック制御設定	64	ヘッドランプウオッシャオート設定
30	パニックアラーム設定	65	リヤデフォッガータイマ設定
31	窓から持ち出し警報	66	ワイパ連動オートライティング設定
32	パワーウィンドダウン設定	67	雨滴感知ワイパ機能設定
33	トランクオープン設定	68	電動格納ミラー設定
34	電池切れ警報	69	薄暮れ感知設定
35	キー閉じ込め防止設定	70	防盗アラーム設定（サイレン）

(7) IPDM E/R

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	ハイトセンサ初期化	2	バッテリ放電電流積算クリア

(8) オートレベライザ(Kライン)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	ハイトセンサ初期化		

(9) HVAC(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	設定温度補正	4	ＦＯＯＴモード配風設定
2	ＲＥＣメモリ設定	5	アクチュエータ原点リセット
3	ＦＲＥメモリ設定		

(10) ドライブポジショナ(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	設定温度補正	3	ＦＲＥメモリ設定
2	ＲＥＣメモリ設定	4	ＦＯＯＴモード配風設定

(11) インテリジェントキー(CAN)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	インテリジェントキーＩＤ確認	11	エンジンスタート機能
2	窓から持ち出し警報	12	ロック／アンロック機能
3	電池切れ警報	13	キー閉じ込め防止機能
4	キーレス機能	14	アンサーバックホーン機能
5	アンサーバックブザー機能	15	パニックアラーム機能
6	セレクトアンロック機能	16	トランク／ガラスハッチオープン機能
7	アンサーバックハザード機能	17	トランクオープン機能
8	アンサーバックキーロック機能	18	パワーウインドウ機能
9	アンサーバックキーアンロック機能	19	ラゲッジルームエンジンスタート機能
10	オートリロックタイマー機能	20	インテリジェントキー機能

(12) オートバックドア

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	オートバックドア位置初期化		

(13) ソナー(Kライン)

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	コーナセンサ警報距離設定	3	音量設定
2	センタセンサ警報距離設定	4	トレーラヒッチモード

(14) AFS

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	舵角センサ調整	2	レベライザ調整

(15) AVM

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	トップビュー境目の強調表示	11	ドアミラー部品有無設定変更
2	カメラキャリブレ（フロント）	12	ソナーＯｆｆポップアップ表示設定
3	カメラキャリブレ（助手席サイド）	13	フロントワイドビュー目安線補正
4	カメラキャリブレ（運転席サイド）	14	ＺＯＯＭ機能
5	カメラキャリブレ（リヤ）	15	カメラキャリブレーション初期化
6	トップビュー微調整	16	舵角センサ中立点調整
7	リヤワイドビュー目安線補正	17	キャンセル要因（ＬＤＷ）
8	警告文言語切替	18	キャンセル要因（ＢＳＷ）
9	予想進路線表示	19	自動キャンセル要因（ＰＳＲ）
10	回転半径補正		

(16) ブレーキ

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	ストロークセンサ0点学習		

7.2. レトロ対応

(1) ガソリンエンジン

No.	作業サポート項目
1	アイドルＳＷ調整
2	スロットルセンサ調整
3	点火時期調整
4	ＡＡＣバルブ調整
5	アイドル回転調整
6	燃圧除去

(2) E-CVT

No.	作業サポート項目
1	エンジンブレーキ調整

(3)ABS

No.	作業サポート項目	No.	作業サポート項目
1	ＥＴＳエア抜き	3	ＥＴＳロック点検
2	ＥＴＳ油圧値点検		

(4)VDC

No.	作業サポート項目
1	舵角センサ調整

(5)IVMS

No.	作業サポート項目		No.	作業サポート項目	
1	ドアロック	ドアロック車速制御設定	5	ワイパー	ワイパー車速制御設定
2		Ｐレンジ連動アンロック設定	6		雨滴ワイパー制御設定
3	ドライブポジショナ	降車時シートスライド作動量設	7	リヤデフォッガー	リヤデフォッガー設定
4		降車時退避作動部位設定	8		リヤデフォッガーＥｎｇ始動時連動制御設定

8.　アナログ−ECU同時計測

本アプリケーションは、診断機本体に拡張計測ボードを装着することにより、電圧計測データ(アナログデータ) と車両データ(ECUデータ) を同時表示することができます。(アナログ−ECU同時計測)

アナログ−ECU同時計測について以下に示します。

※アナログ−ECU同時計測については1998年以降対応のみで実行できます。

8.1.　対応機能

アナログ−ECU同時計測で対応する機能を以下に示します。

<アナログ−ECU同時計測対応機能>

診断機能	参照項
車両故障診断メニュー	8.3.1
計測設定	8.3.2
現在のデータ表示/保存	8.3.3
アクティブテスト	8.3.3
保存データの再表示	8.3.3

※　上記以外の機能についてはアナログ−ECU同時計測の対応はありません。

8.2.　接続

(1) 診断機本体に拡張計測ボードが装着されていない場合は、診断機の電源がOFFであることを確認し、装着してください。

拡張計測ボード　形式　　　:Measure KIT

品名コード　:51400391

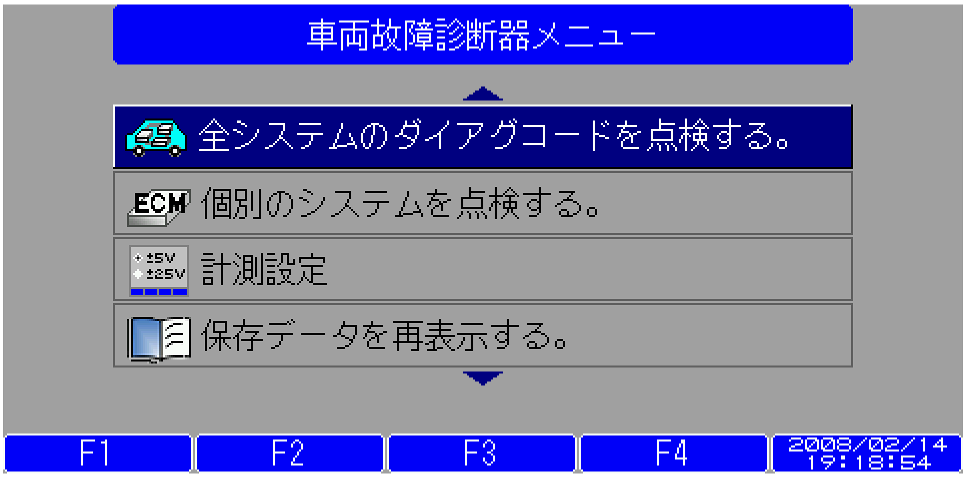
(2) 計測用プローブ、プローブボックス、診断機を接続してください。

(3) 診断機の電源をONにします。

8.3. 操作

8.3.1. 車両故障診断メニュー

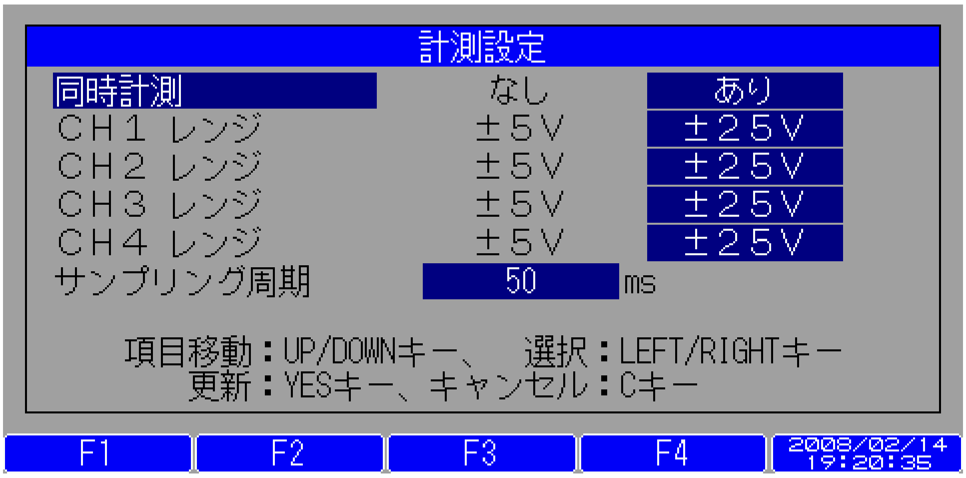
診断機本体に拡張計測ボードが装着されている場合のみ「計測設定」メニューを表示します。
車両故障診断メニューの操作方法につきましては「4.1.車両故障診断メニュー」をご参照ください。



「計測設定」メニューをYESで選択すると、「8.3.2.計測設定」を実行します。

8.3.2.　計測設定

計測設定では、同時計測あり/なし、アナログハードレンジ(拡張計測ボードの電圧計測レンジ)、サンプリング周期の設定を行ないます。



<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定を確定し、「8.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。
C	設定を中止し、「8.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。

<計測設定値>

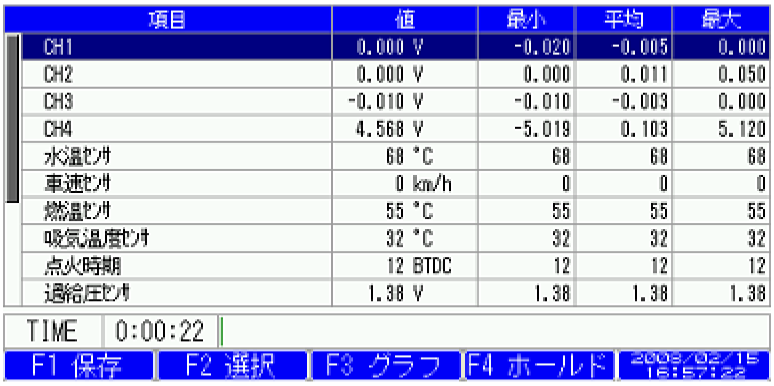
同時計測	なし	アナログ-ECU同時計測を行ないません。
	あり	アナログ-ECU同時計測を行ないます。
CH1 レンジ	チャンネル1のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH2 レンジ	チャンネル2のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH3 レンジ	チャンネル3のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH4 レンジ	チャンネル4のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
サンプリング周期	アナログ計測のサンプリング周期を50～100ミリ秒(10ミリ秒きざみ)で設定します。	

※ 「CH1 レンジ」～「サンプリング周期」は同時計測ありの場合のみ設定できます。

8.3.3. 同時計測表示例

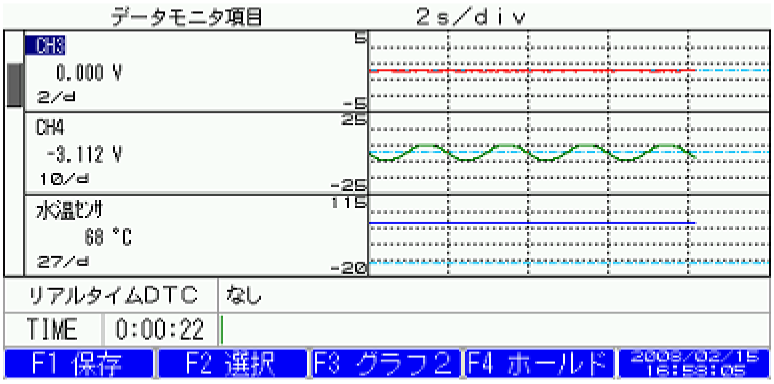
同時計測ありの場合、データ表示において項目の先頭にアナログデータを表示します。
アナログデータは「CH1」、「CH2」、「CH3」、「CH4」で表示します。
以下に同時計測の数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の例を示します。
現在のデータ表示/保存、アクティブテスト、保存データの表示において同様の画面を表示します。
操作方法につきましては同時計測なしの場合と同じです。

数値データ表示



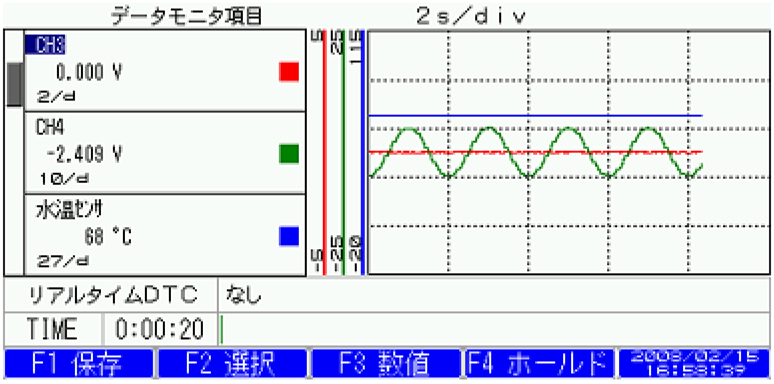
アナログデータ

グラフ1表示



アナログデータ

グラフ2表示



アナログデータ

「トリガ設定」ではアナログデータをトリガ設定できます。アナログデータは「CH1」、「CH2」、「CH3」、「CH4」で表示します。

【注意】 データ表示において非測定チャンネルに信号が表示されることがありますが故障ではありません。 非測定チャンネルにも信号を入力すると正確に表示されます。

9. 排気ガス-ECU同時計測

本アプリケーションは、診断機本体と排気ガス測定器(株式会社堀場製作所製 排気ガス測定器 MEXA-584L)を、RS232Cカードを介して接続することにより、排気ガス測定器の計測データ(通信データ) と車両データ(ECUデータ)を同時表示することができます。(排気ガス-ECU同時計測)

排気ガス-ECU同時計測について以下に示します。

※排気ガス-ECU同時計測については1998年以降対応のみで実行できます。

9.1. 対応機能

排気ガス-ECU同時計測で対応する機能を以下に示します。

<排気ガス-ECU同時計測対応機能>

診断機能	参照項
車両故障診断メニュー	9.3.1
計測設定	9.3.2
現在のデータ表示/保存	9.3.3
アクティブテスト	9.3.3
保存データの再表示	9.3.3

※ 上記以外の機能については排気ガス-ECU同時計測の対応はありません。

9.2. 接続

(1) 排気ガス測定器が対象排気ガス測定器(下記「サポート機器」参照)であることを確認してください。
(2) RS232Cカードが対象RS232Cカード(下記「サポート機器」参照)であることを確認してください。
(3) 診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。
(4) 診断機の電源がOFFであることを確認し、空いているドライブにRS232Cカードを挿入してください。
(5) 排気ガス測定器の電源がOFFであることを確認し、診断機と排気ガス測定器をRS232Cケーブルで接続してください。(排気ガス測定器側の接続方法は排気ガス測定器の取扱説明書に従ってください)
(6) 排気ガス測定器の電源をONにします。
(7) 診断機の電源をONにします。

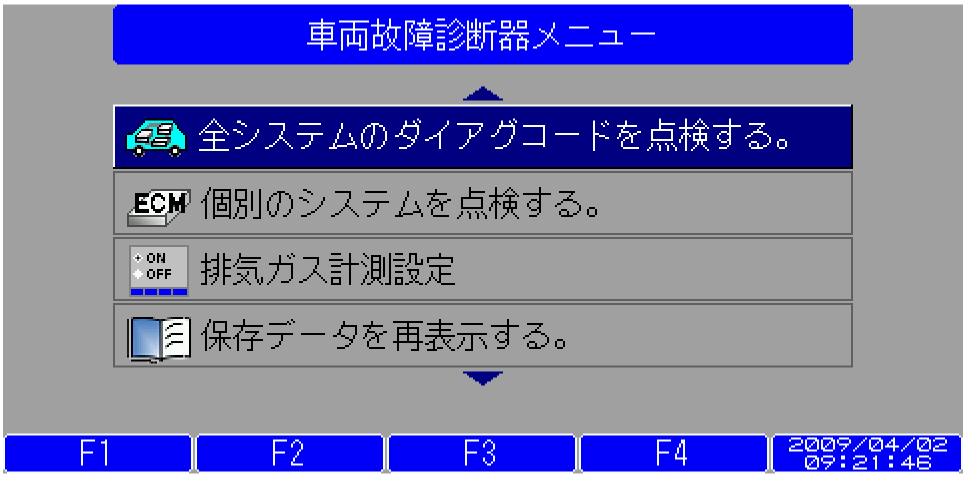
＜サポート機器＞

(1) 排気ガス測定器
株式会社堀場製作所製 排ガス測定器 MEXA-584L
(2) RS232Cカード
キット同梱のRS232Cカード

9.3. 操作

9.3.1. 車両故障診断メニュー

診断機本体にRS232Cカードが挿入されている場合のみ「排気ガス計測設定」を表示します。
車両故障診断メニューの操作方法につきましては「4.1.車両故障診断メニュー」をご参照ください。



「排気ガス計測設定」をYESで選択すると、「9.3.2.排気ガス計測設定」を実行します。

※拡張計測ボードを装着している場合は、アナログ計測の「計測設定」メニューの下に、「排気ガス計測設定」を表示します。

9.3.2. 排気ガス計測設定

排気ガス計測設定では、排気ガス同時計測あり/なしの設定を行ないます。

<操作方法>

←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定を確定し、「9.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。
C	設定を中止し、「9.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。

<計測設定値>

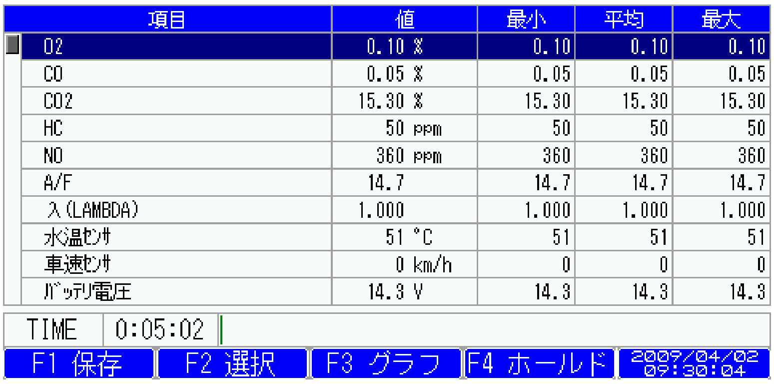
同時計測	なし	排気ガス-ECU同時計測を行ないません。
	あり	排気ガス-ECU同時計測を行ないます。

9.3.3.　排気ガス同時計測表示例

排気ガス同時計測ありの場合、データ表示において項目の先頭に排気ガスデータを表示します。
以下に排気ガス同時計測の数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の例を示します。
現在のデータ表示/保存、アクティブテスト、保存データの表示において同様の画面を表示します。
操作方法につきましては排気ガス同時計測なしの場合と同じです。

※アナログ同時計測ありの場合は、アナログ計測表示の下に排気ガス計測データを表示します。

数値データ表示



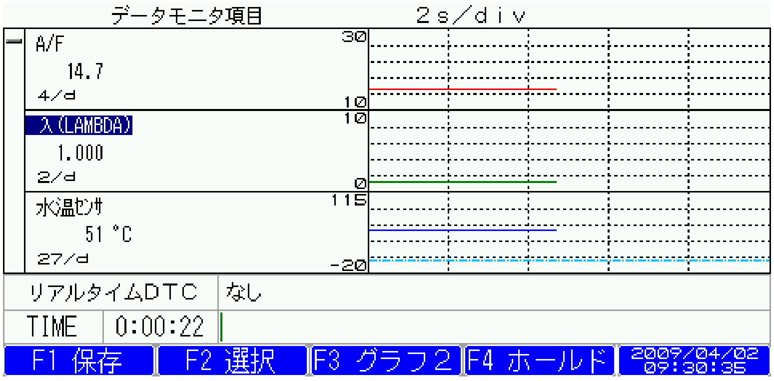
項目	値	最小	平均	最大
O2	0.10 %	0.10	0.10	0.10
CO	0.05 %	0.05	0.05	0.05
CO2	15.30 %	15.30	15.30	15.30
HC	50 ppm	50	50	50
NO	360 ppm	360	360	360
A/F	14.7	14.7	14.7	14.7
λ(LAMBDA)	1.000	1.000	1.000	1.000
水温ｾﾝｻ	51 ℃	51	51	51
車速ｾﾝｻ	0 km/h	0	0	0
ﾊﾞｯﾃﾘ電圧	14.3 V	14.3	14.3	14.3

TIME 0:05:02

F1 保存　F2 選択　F3 グラフ　F4 ホールド　2009/04/02 09:30:04

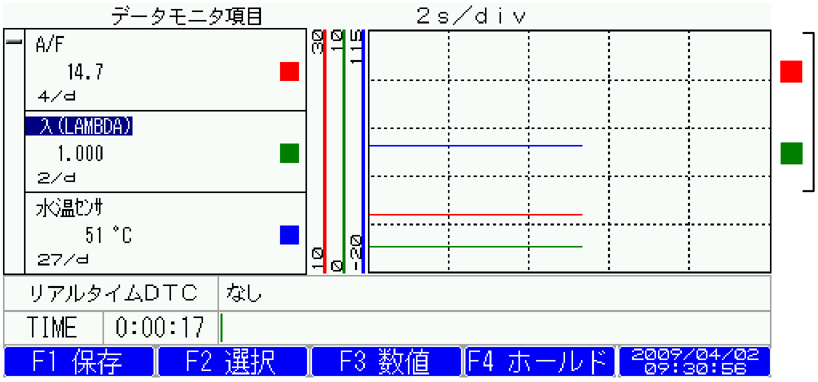
排気ガスデータ

グラフ1表示



排気ガスデータ

グラフ2表示



排気ガスデータ

「トリガ設定」では排気ガスデータをトリガ設定できます。
排気ガスデータは「O2」、「CO」、「CO2」、「HC」、「NO」、「A/F」、「λ(LAMBDA)」で表示します。

■お問い合わせについて

この製品について不明な点がある場合や故障と思われる場合には、故障診断機キットに同梱されています故障診断機本体取扱説明書のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

日産車故障診断アプリケーション Version 10.1.5

取扱説明書

2015年 1月　　初版発行

本書の内容の一部、または全部を販売元の許可なく複写、複製、転載することを禁じます。